

## 《 Ⅱ 結婚、出産、子育てに関する市民意識調査 》



## Ⅱ－1 結果概要

### 1 あなたご自身について

資料「1 回答者の属性」参照

### 2 結婚について

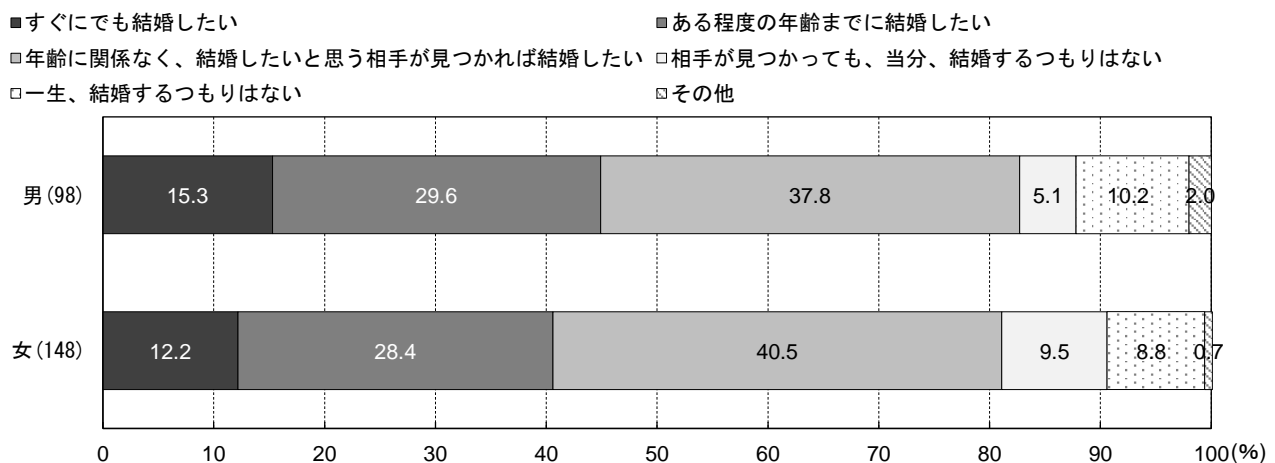
問4 すべての方にお聞きします。

あなたご自身の結婚についてどのように考えられますか。結婚されたことがある方は、未婚のときを思い出してご回答ください。

未婚者に自身の結婚についての考えを聞いたところ（図Ⅱ－1）、「すぐにでも結婚したい」（男性15.3%、女性12.2%）、「ある程度の年齢までに結婚したい」（男性29.6%、女性28.4%）、又は「年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい」（男性37.8%、女性40.5%）という回答の合計は、男性82.7%、女性81.1%で、男女とも8割以上に「結婚意思」がある。

一方で、未婚男性の10.2%、未婚女性の8.8%が「一生、結婚するつもりはない」と回答しており、未婚男性の5.1%、未婚女性の9.5%は、「相手が見つかって、当分、結婚するつもりはない」と回答している。

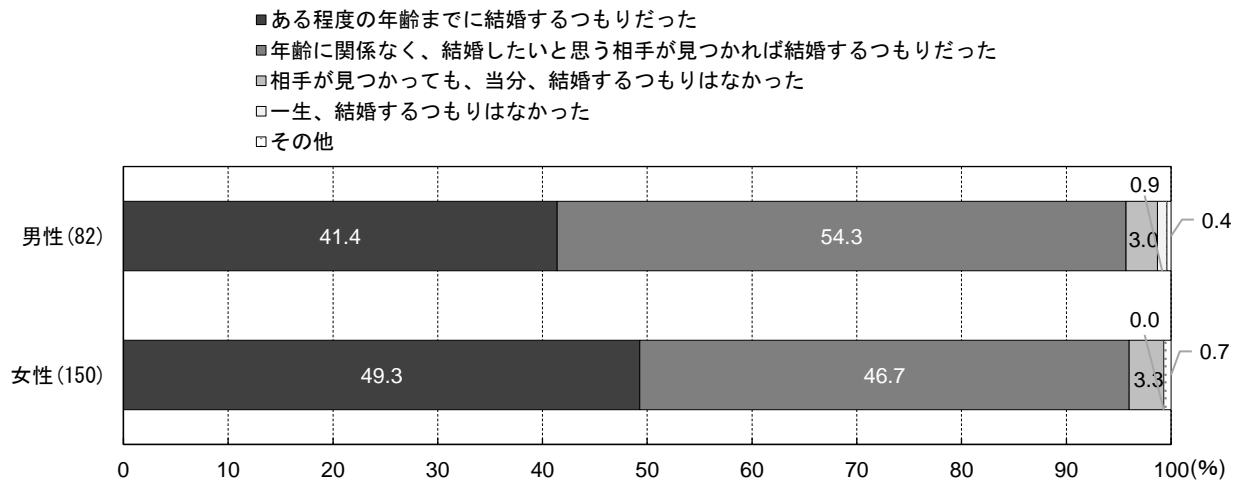
図Ⅱ－1 自身の結婚についての考え（未婚の方）（単数）



既婚者に自身の結婚についての考えを聞いたところ（図Ⅱ－２）、「ある程度の年齢までに結婚するつもりだった」（男性 41.4%、女性 49.3%）又は「年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚するつもりだった」（男性 54.3%、女性 46.7%）という回答の合計は、男性 95.7%、女性 96.0%で、男女とも高い「結婚意思」がある。

また、「相手が見つかって、当分、結婚するつもりはなかった」（男性 3.0%、女性 3.3%）又は「一生、結婚するつもりはなかった」（男性 0.9%、女性 0.0%）という回答の合計は、男性 3.9%、女性 3.3%で、未婚者の回答の合計（男性 15.3%、女性 18.3%）を大きく下回っている。

図Ⅱ－２ 自身の結婚についての考え（結婚されたことがある方）（単数）



問5 問4の回答の理由はどのようなことでしょうか。(○印は3つまで)

【結婚したいと思う(思った)理由】・未婚の方のうち、問4で「1.」～「3.」を選んだ方

・結婚されたことがある方のうち、問4で「1.」または「2.」を選んだ方

【結婚するつもりはない(なかった)理由】・未婚の方のうち、問4で「4.」または「5.」を選んだ方

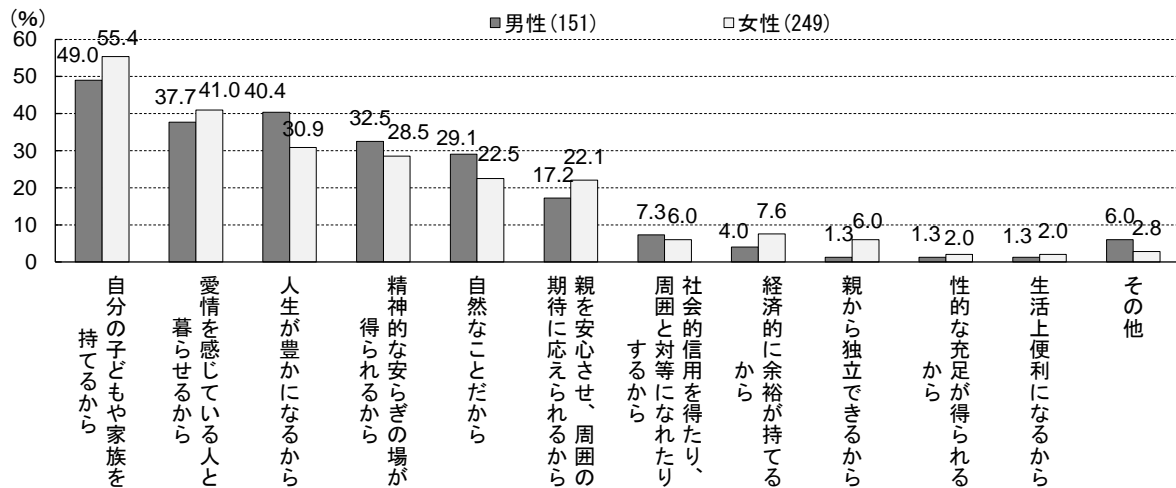
・結婚されたことがある方のうち、問4で「3.」または「4.」を選んだ方

結婚したいと思う(思った)理由(図Ⅱ-3)では、男女とも「自分の子どもや家族を持てるから」(男性49.0%、女性55.4%)という回答が最も多い。

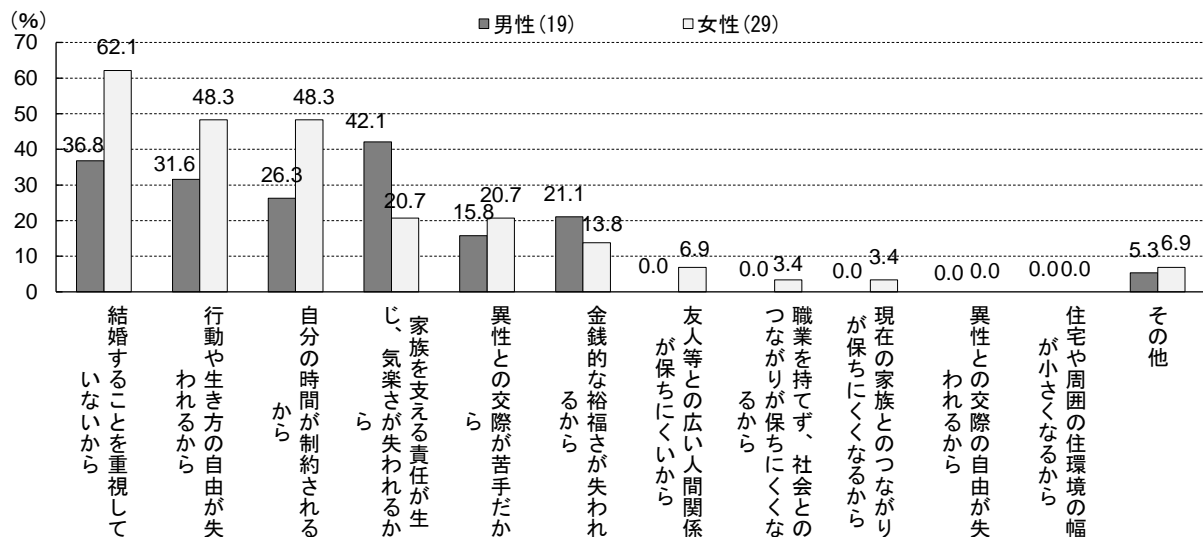
結婚するつもりはない(なかった)理由(図Ⅱ-4)では、男性は、「家族を支える責任が生じ、気楽さが失われるから」(42.1%)、女性は、「結婚することを重視していないから」(62.1%)という回答が最も多い。

男女を合わせると、「結婚することを重視していないから」(男性36.8%、女性62.1%)という回答が最も多く、特に女性は6割を超える。

図Ⅱ-3 結婚したいと思う(思った)理由(複数)



図Ⅱ-4 結婚するつもりはない(なかった)理由(複数)



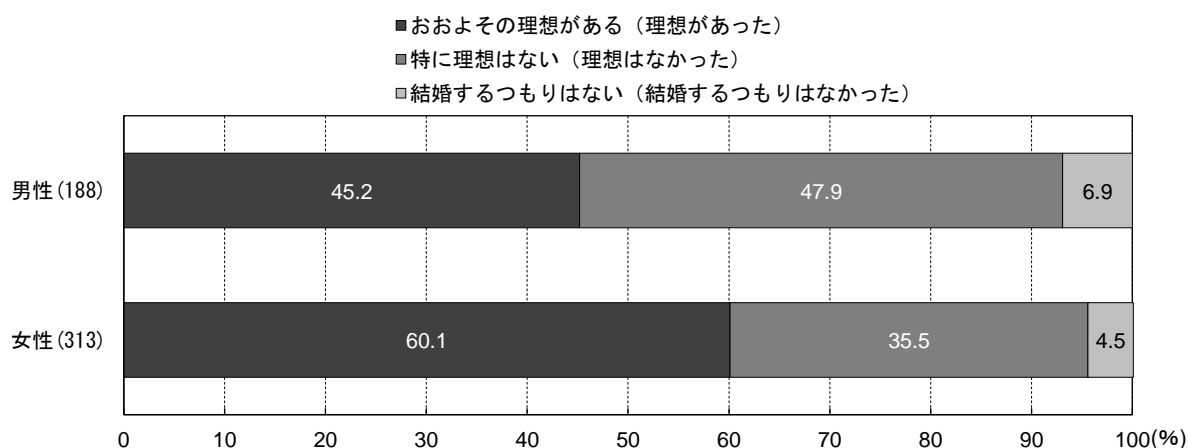
問6 すべての方にお聞きます。

ご自身の結婚について理想とする年齢がありますか。理想とする年齢を過ぎた方や結婚されたことがある方は、理想があったかどうかをお聞かせください。

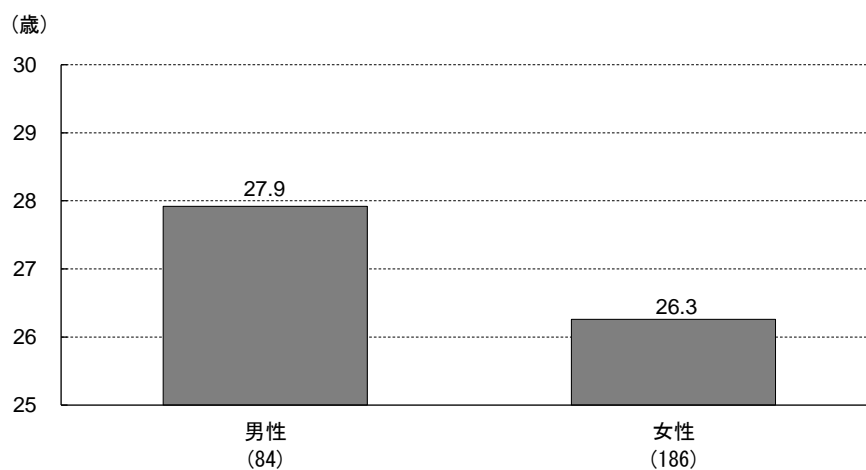
自身の結婚について理想とする年齢について聞いたところ（図Ⅱ－5）、男性の45.2%、女性の60.1%が、「おおよその理想がある（理想があった）」と回答しており、男性に比べ、女性が約15ポイント高い。

また、理想の結婚年齢の平均値（図Ⅱ－6）は、男性27.9歳、女性26.3歳と算出された。

図Ⅱ－5 自身の結婚について理想とする年齢（単数）

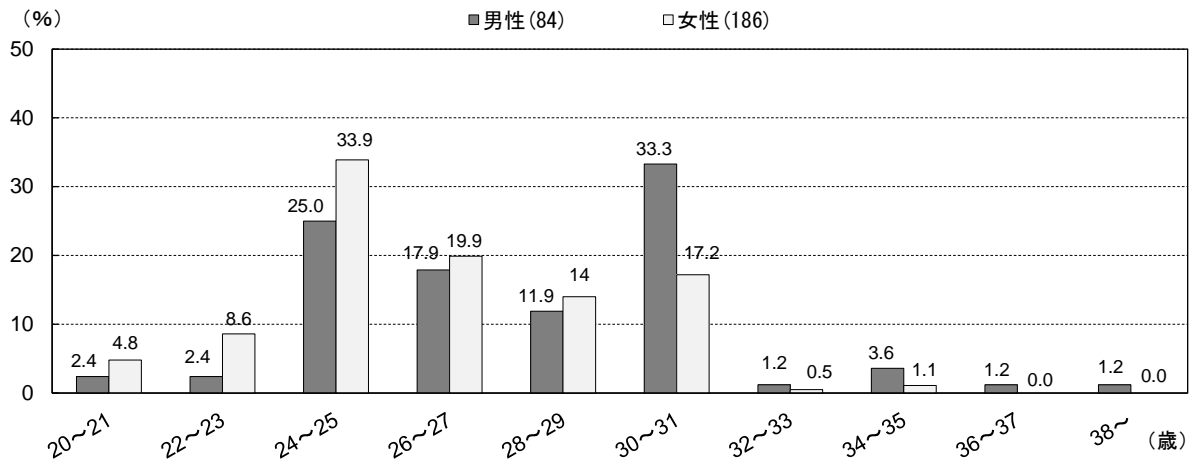


図Ⅱ－6 理想の結婚年齢の平均値（結婚年齢に理想がある者）



理想の結婚年齢の分布（図Ⅱ－７）を見ると、男性は「30～31歳」（33.3%）、女性は「24～25歳」（33.9%）が最も多く、男女で差がある。

図Ⅱ－７ 理想の結婚年齢の分布（結婚年齢に理想がある者）（数量）



問7 すべての方にお聞きます。

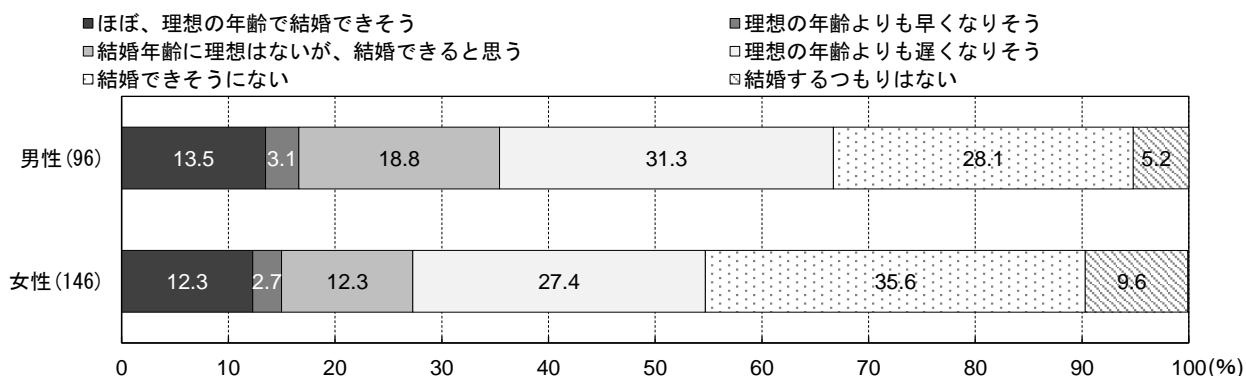
ご自身の結婚の見通し（結婚されたことがある方は実現状況）をご回答ください。

未婚者に自身の結婚の見通しについて聞いたところ（図Ⅱ－8）、男性の28.1%、女性の35.6%が「結婚できそうにない」と回答し、男性の31.3%、女性の27.4%が「理想の年齢よりも遅くなりそう」と回答している。

「結婚できそうにない」（男性28.1%、女性35.6%）又は「理想の年齢よりも遅くなりそう」（男性31.3%、女性27.4%）という回答を「結婚希望の実現困難」としてまとめると、2つの回答の合計は、男性59.4%、女性63.0%となり、男女とも約6割ある。

一方で、男性の13.5%、女性の12.3%が、「ほぼ、理想の年齢で結婚できそう」と回答している。

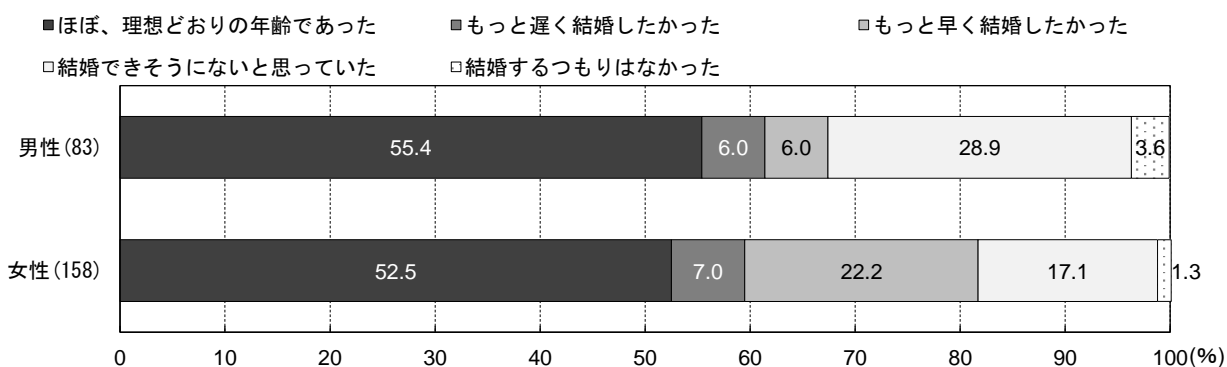
図Ⅱ－8 自身の結婚の見通し（未婚の方）（単数）



既婚者に自身の結婚の実現状況について聞いたところ（図Ⅱ－9）、男性の55.4%、女性の52.5%が、「ほぼ、理想どおりの年齢であった」と回答しており、男女とも半数を超える。

一方で、女性の22.2%が「もっと早く結婚したかった」と回答している。

図Ⅱ－9 自身の結婚の実現状況（結婚されたことがある方）（単数）





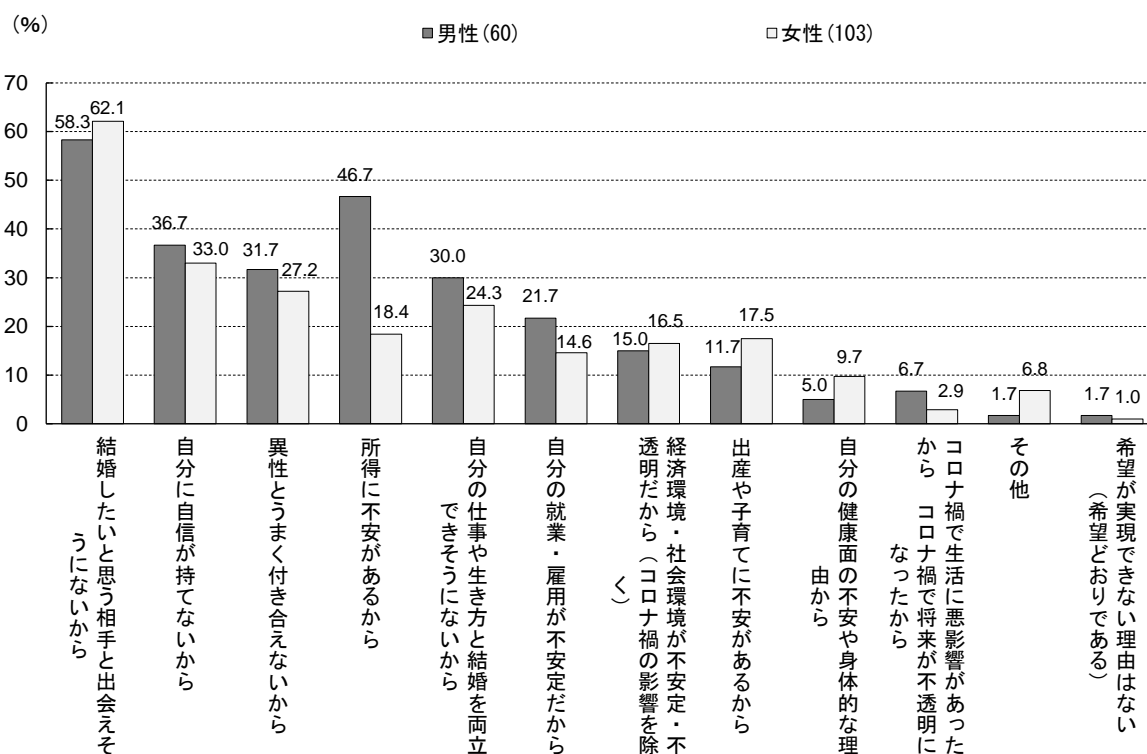
問8 次の方にお聞きます。

- ・問7で、未婚の方のうち、「4.」～「6.」に○印を付けられた方
  - ・問7で、結婚されたことがある方のうち、「3.」～「5.」に○印を付けられた方
- 「理想の結婚年齢よりも遅くなりそう」「もっと早く結婚したかった」「結婚できそうにない（と思っていた）」「結婚するつもりはない（なかった）」と思う理由をご回答ください。（○印はいくつでも）

未婚者の「理想の結婚年齢よりも遅くなりそう」、「結婚できそうにない」、又は「結婚するつもりはない」と思う理由（図Ⅱ－10）では、男女とも「結婚したいと思う相手と出会えそうにないから」（男性58.3%、女性62.1%）という回答が最も多い。

次いで、男性は、「所得に不安があるから」（46.7%）という回答が半数近くに達し、女性（18.4%）に比べてもかなり多い。次いで、女性は、「自分に自信が持てないから」（33.0%）という回答が多い。

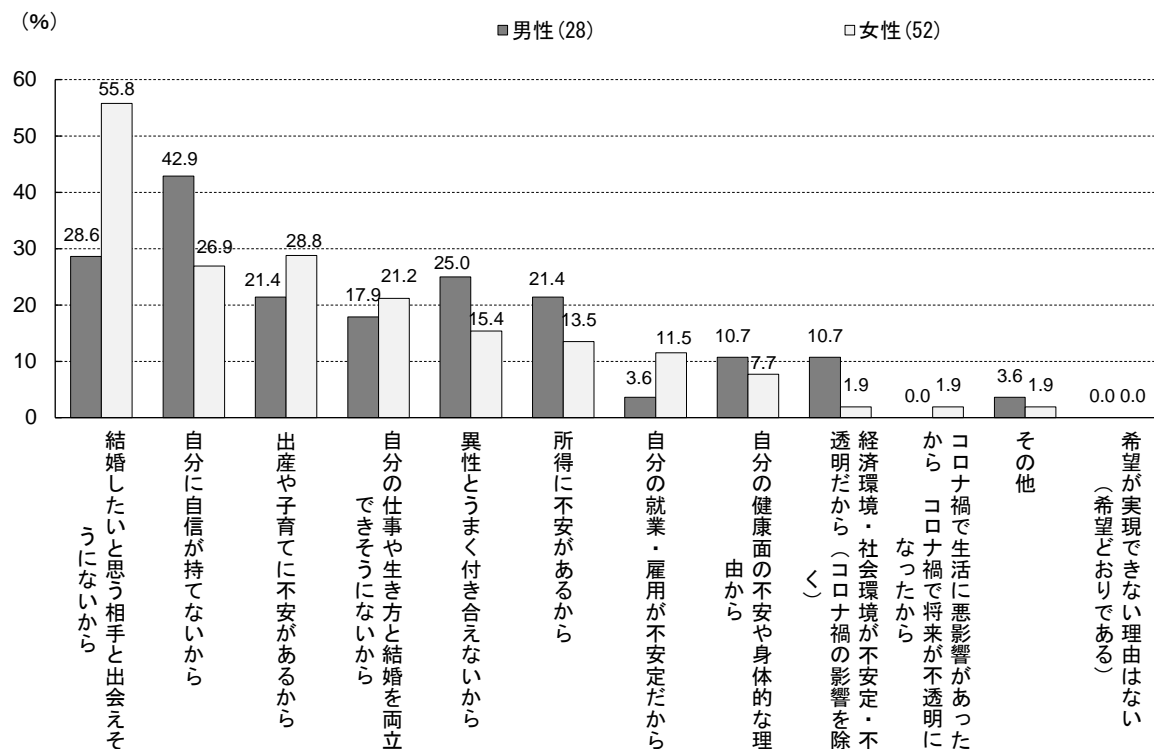
図Ⅱ－10 「理想の結婚年齢よりも遅くなりそう」等の理由（未婚の方）（複数）



既婚者の「もっと早く結婚したかった」、「結婚できそうにないと思っていた」又は「結婚するつもりはなかった」と思う理由(図Ⅱ-11)では、男性は、「自分に自信がもてないから」(42.9%)、女性は、「結婚したいと思う相手と出会えそうにないから」(55.8%)という回答が最も多い。

男女を合わせると、「結婚したいと思う相手と出会えそうにないから」(男性28.6%、女性55.8%)という回答が最も多い。

図Ⅱ-11 「理想の結婚年齢よりも遅くなりそう」等の理由(結婚されたことがある方)(複数)



### 3 子どもを持つことについて

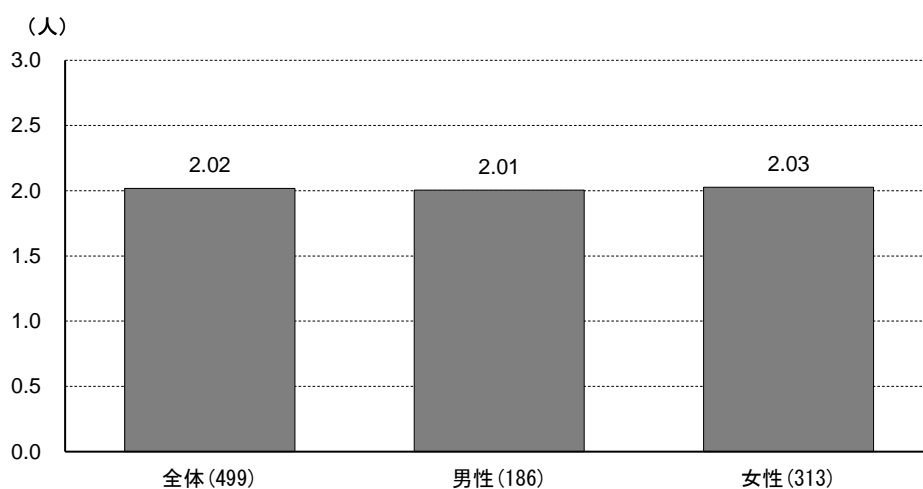
問9 すべての方にお聞きします。  
希望する子どもの数は何人ですか。

希望する子どもの数について聞いたところ、希望する子どもの数の平均値（図Ⅱ－12）は、男性2.01人、女性2.03人、全体では2.02人と算出された。

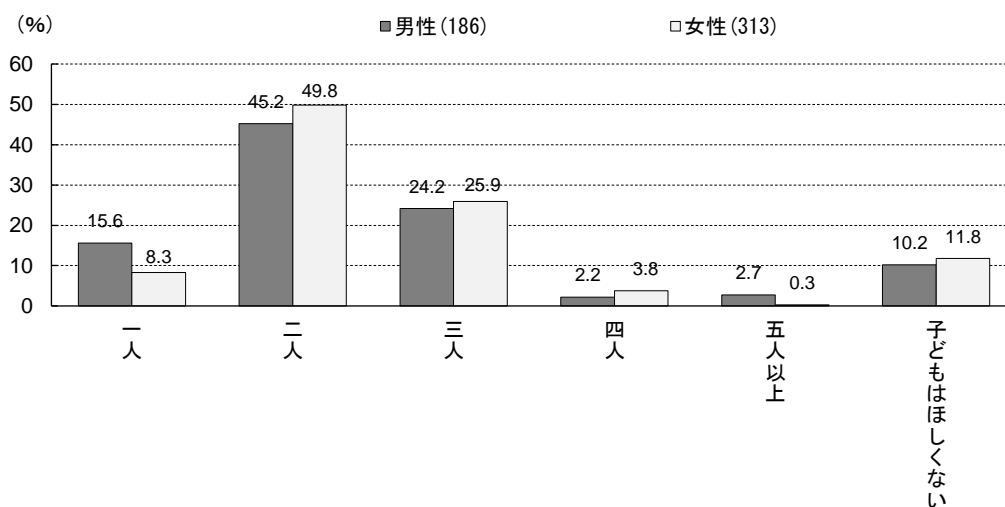
希望する子どもの数（図Ⅱ－13）は、男女とも「二人」（男性45.2%、女性49.8%）という回答が最も多く、次いで、「三人」（男性24.2%、女性25.9%）という回答が多い。

一方で、「子どもはほしくない」という回答が、男性10.2%、女性11.8%で、男女とも1割を超える。

図Ⅱ－12 希望する子どもの数の平均値



図Ⅱ－13 希望する子どもの数（単数）

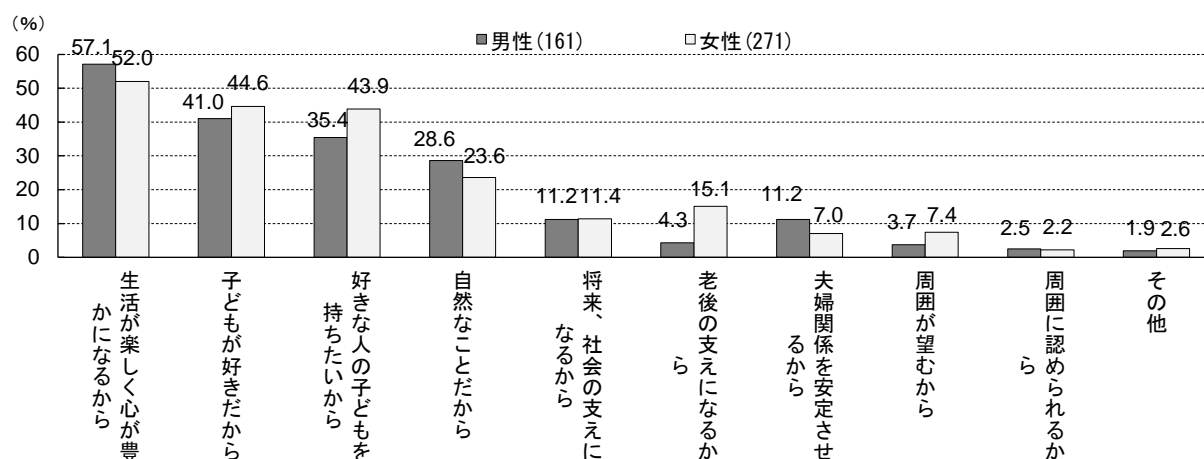


問 1 0 問 9 で「 1 .」～「 5 .」に○印を付けられた方にお聞きます。

子どもが欲しいと思う（思った）理由をご回答ください。（○印は 3 つまで）

子どもが欲しいと思う（思った）理由（図Ⅱ－ 1 4）では、男女とも「生活が楽しく心が豊になるから」（男性 57.1%、女性 52.0%）という回答が最も多く、次いで、「子どもが好きだから」（男性 41.0%、女性 44.6%）という回答が多い。

図Ⅱ－ 1 4 子どもが欲しいと思う（思った）理由（複数）

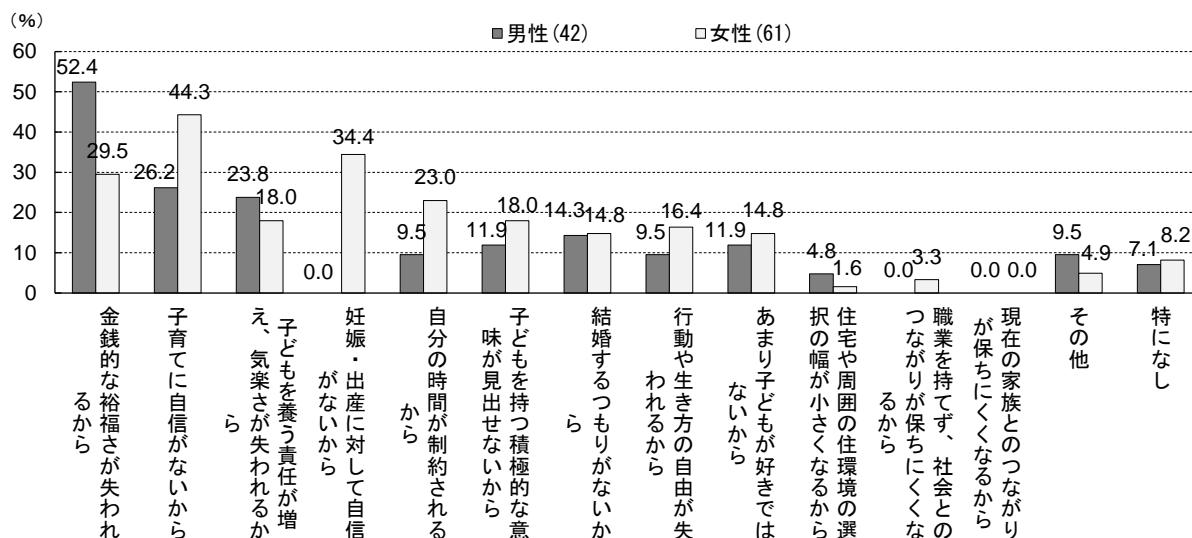


問 1 1 問 9 で「 1 .」または「 6 .」に○印を付けられた方にお聞きます。

「希望する子どもの数は一人」「子どもはほしくない」という理由をご回答ください。（○印は 3 つまで）

「希望する子どもの数は一人」又は「子どもはほしくない」という理由（図Ⅱ－ 1 5）では、男性は、「金銭的な裕福さが失われるから」（52.4%）という回答が最も多い。女性は、「子育てに自信がないから」（44.3%）という回答が最も多く、次いで、「妊娠・出産に対して自信がないから」（34.4%）という回答が多い。

図Ⅱ－ 1 5 「希望する子どもの数は一人」、「子どもはほしくない」という理由（複数）



問 1 2 すべての方にお聞きます。

希望とは別に、現実に持てると思う子どもの数は何人ですか。

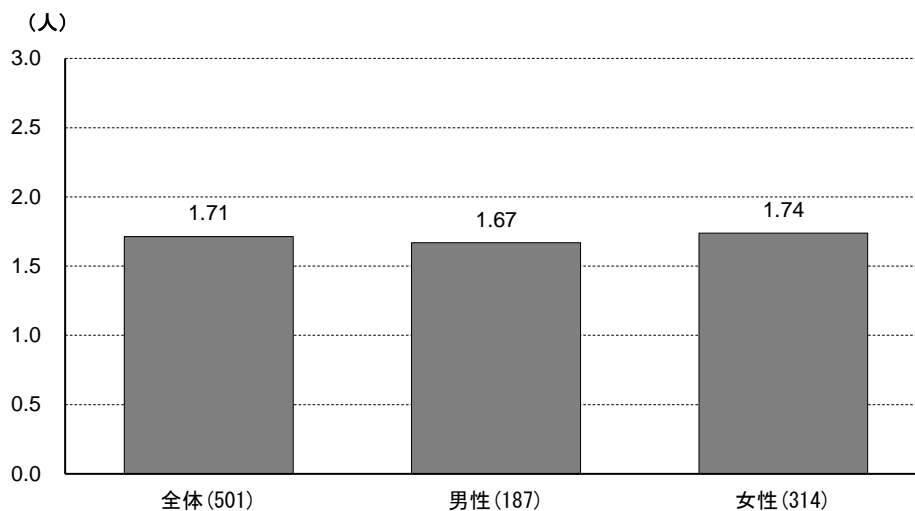
現実に持てると思う子どもの数について聞いたところ、現実に持てると思う子どもの数の平均値（図Ⅱ－16）は、男性 1.67 人、女性 1.74 人、全体では 1.71 人と算出された。希望に比べ、男性は 0.34 ポイント、女性は 0.29 ポイント、全体では 0.31 ポイント減少した。

現実に持てると思う子どもの数（図Ⅱ－17）は、男女とも「二人」（男性 41.7%、女性 49.4%）という回答が最も多い。

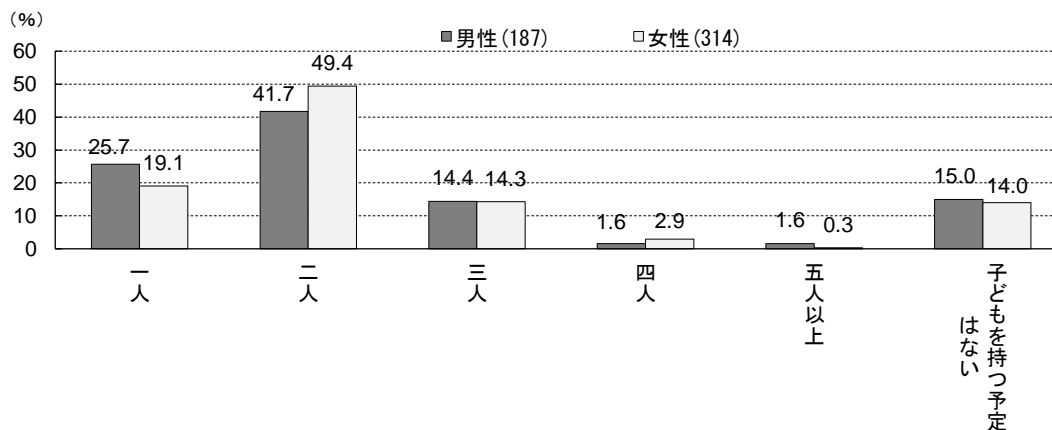
また、「三人」（男性 14.4%、女性 14.3%）という回答は、男女とも、希望に比べ、約 10 ポイント減少した。

一方で、「一人」（男性 25.7%、女性 19.1%）又は「子どもを持つ予定はない」（男性 15.0%、女性 14.0%）という回答は、男女とも、希望に比べ増加し、「一人」という回答は、10 ポイント以上増加した。

図Ⅱ－16 現実に持てると思う子どもの数の平均値



図Ⅱ－17 現実に持てると思う子どもの数（単数）



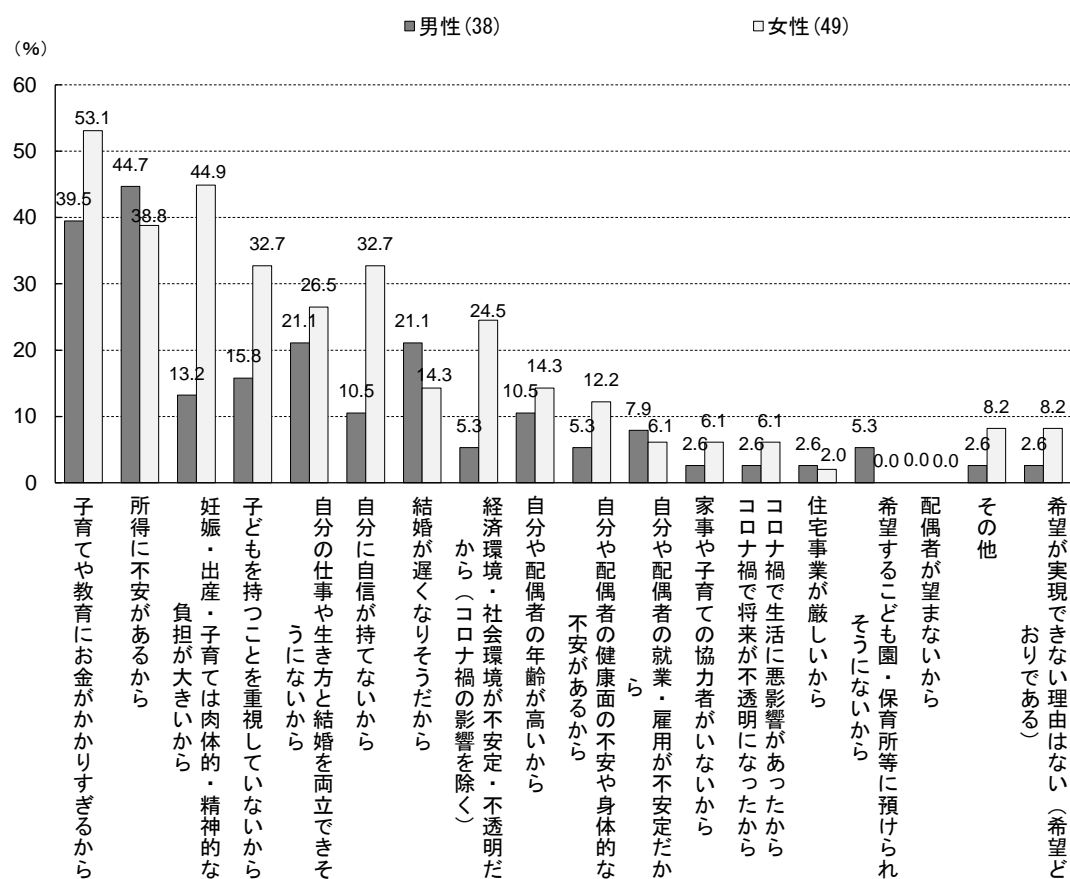
問 1 3 次の方にお聞きします。

- ・問 9 で「 1 .希望する子どもの数は一人」または「 6 .子どもはほしくない」に○印を付けられた方
  - ・問 1 2 で回答した「現実に持てると思う子どもの数」が、問 9 の「希望する子どもの数」より少ない方
- 「希望する子どもの数は一人」「子どもはほしくない」という理由、または、「現実に持てると思う子どもの数が希望する子どもの数より少ない」理由をご回答ください。（○印はいくつでも）

「希望する子どもの数は一人」、「子どもはほしくない」、又は「現実に持てると思う子どもの数が希望する子どもの数より少ない」という理由（図Ⅱ－18）では、男女を合わせると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（男性 39.5%、女性 53.1%）という回答が最も多く、次いで、「所得に不安があるから」（男性 44.7%、女性 38.8%）という回答が多い。

また、女性は、「妊娠・出産・子育ては肉体的・精神的な負担が大きいから」（44.9%）という回答が 2 番目に多く、男性（13.2%）に比べ、30 ポイント以上高い。

図Ⅱ－18 希望する子どもの数を持たない理由（複数）



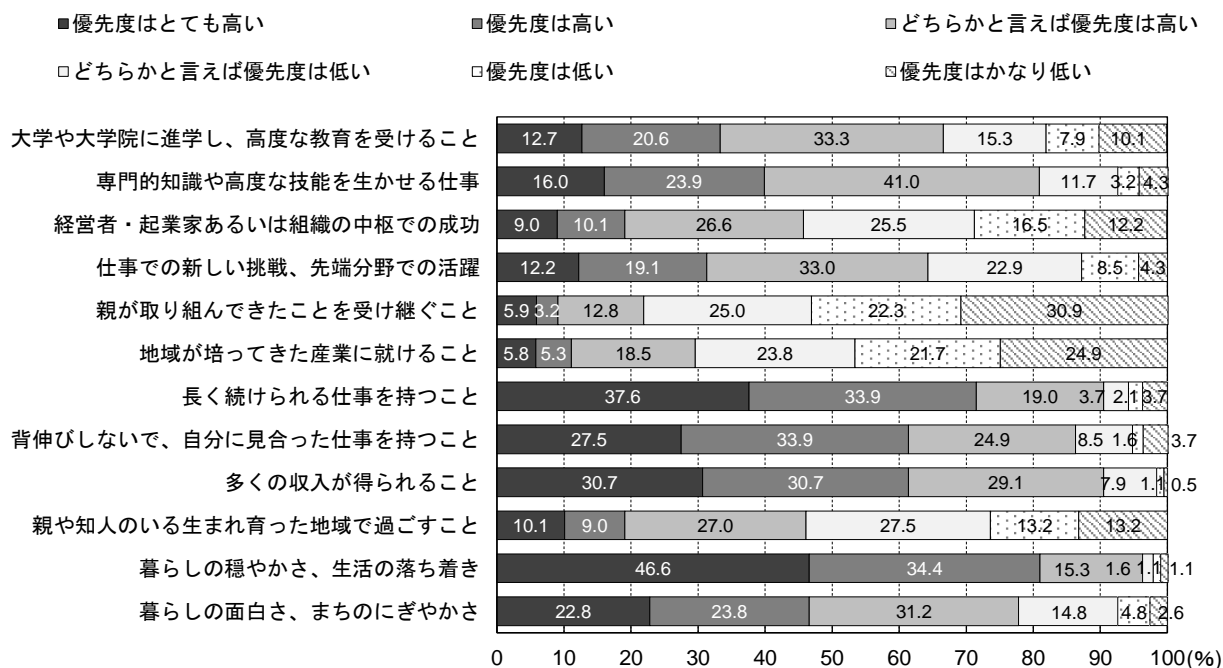
#### 4 あなたのたどるライフコース（一生の間にたどる道筋）について

問14 すべての方にお聞きます。  
 あなたが希望するライフコースでは、どのようなことを重視されますか。次の①～⑫のそれぞれの項目について、選択肢からご回答ください。（○印はそれぞれ1つだけ）

希望するライフコースで重視することについて聞いたところ（図Ⅱ－19）、「優先度はとても高い」、「優先度は高い」、「又は「どちらかと言えば優先度は高い」という回答の合計は、男女とも「暮らしの穏やかさ、生活の落ち着き」（男性96.3%、女性96.5%）が最も多く、95%を超える。  
 次いで、男性は、「長く続けられる仕事を持つこと」（90.5%）、「多くの収入が得られること」（90.5%）、女性は、「背伸びしないで、自分に見合った仕事を持つこと」（93.9%）、「多くの収入が得られること」（91.4%）が多い。

図Ⅱ－19 希望するライフコースで重視すること（単数）

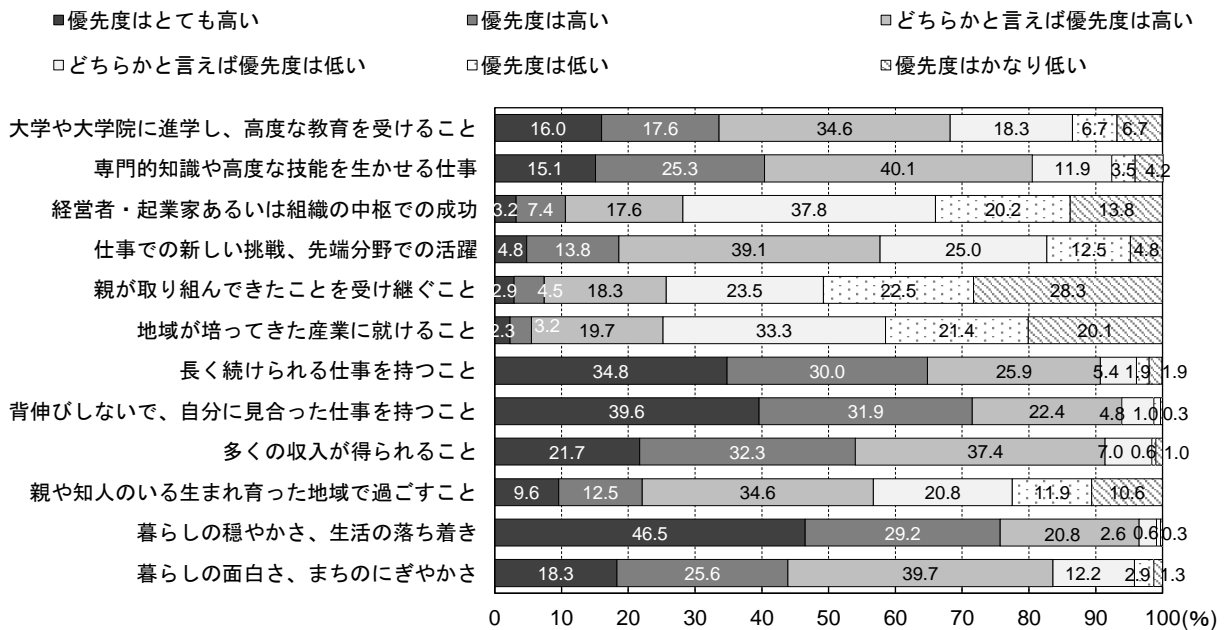
（男性）



N=188~189

図Ⅱ－１９（続き） 希望するライフコースで重視すること（単数）

（女性）



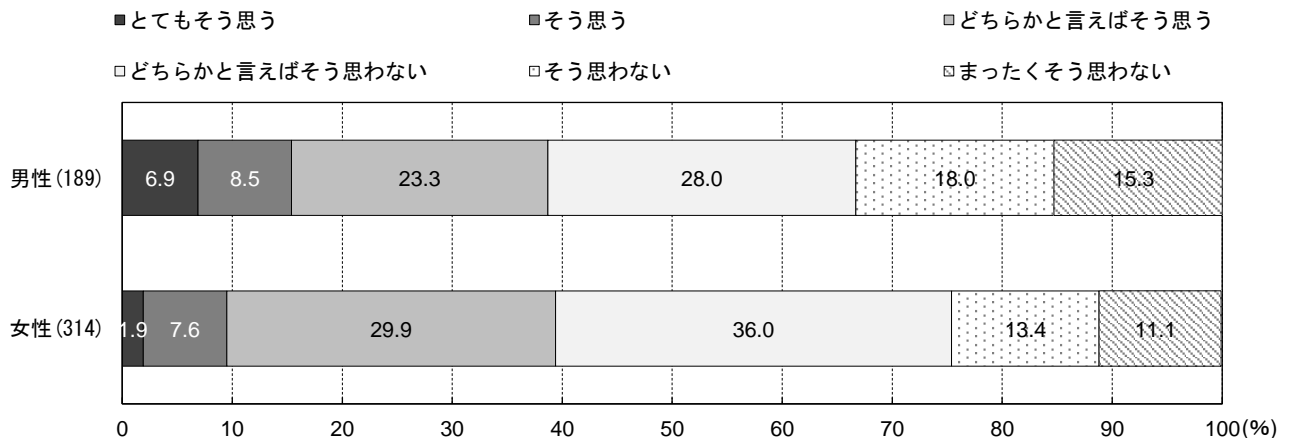
N=309~313

問 1 5 すべての方にお聞きます。

竹原市であなたが希望するライフコースを実現できると考えられますか。

竹原市で希望するライフコースを実現できると考えられるかについて聞いたところ（図Ⅱ－２０）、「まったくそう思わない」（男性 15.3%、女性 11.1%）、「そう思わない」（男性 18.0%、女性 13.4%）、又は「どちらかと言えばそう思わない」（男性 28.0%、女性 36.0%）という回答の合計は、男性 61.3%、女性 60.5%で、本市での実現可能性に否定的な回答が、男女とも 6 割を超える。

図Ⅱ－２０ 竹原市で希望するライフコースを実現できると考えられるか（単数）





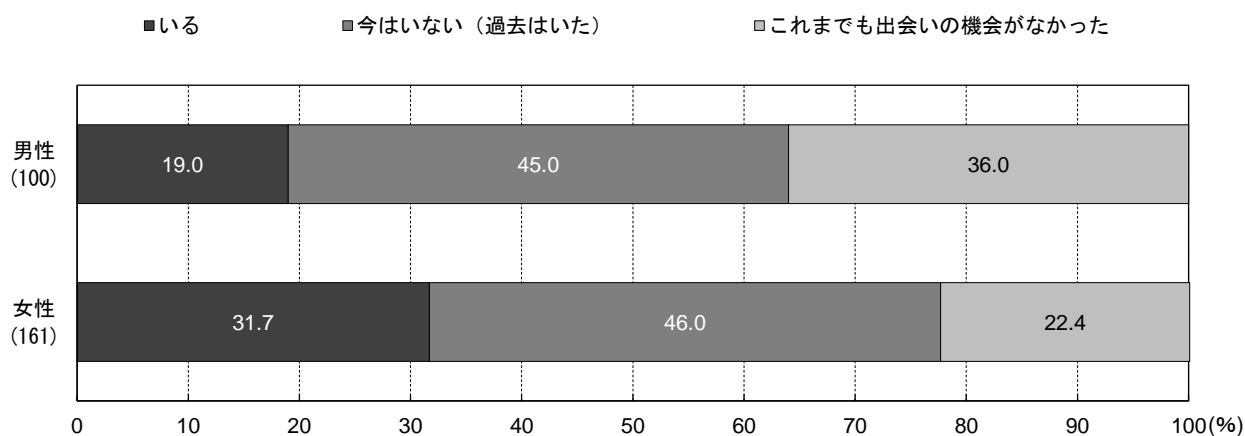
## 5 男女の出会いについて

問16 現在独身の方にお聞きます。  
現在、交際している方はいますか。

独身者に、現在、交際相手がいるかを聞いたところ（図Ⅱ－21）、「いる」という回答は、男性19.0%、女性31.7%にとどまり、男性の約8割、女性の約7割に、現在、交際相手がいない。

また、「これまでも出会いの機会がなかった」と回答している男性は36.0%で、女性（22.4%）に比べ、10ポイント以上高い。

図Ⅱ－21 現在、交際相手がいるか（単数）

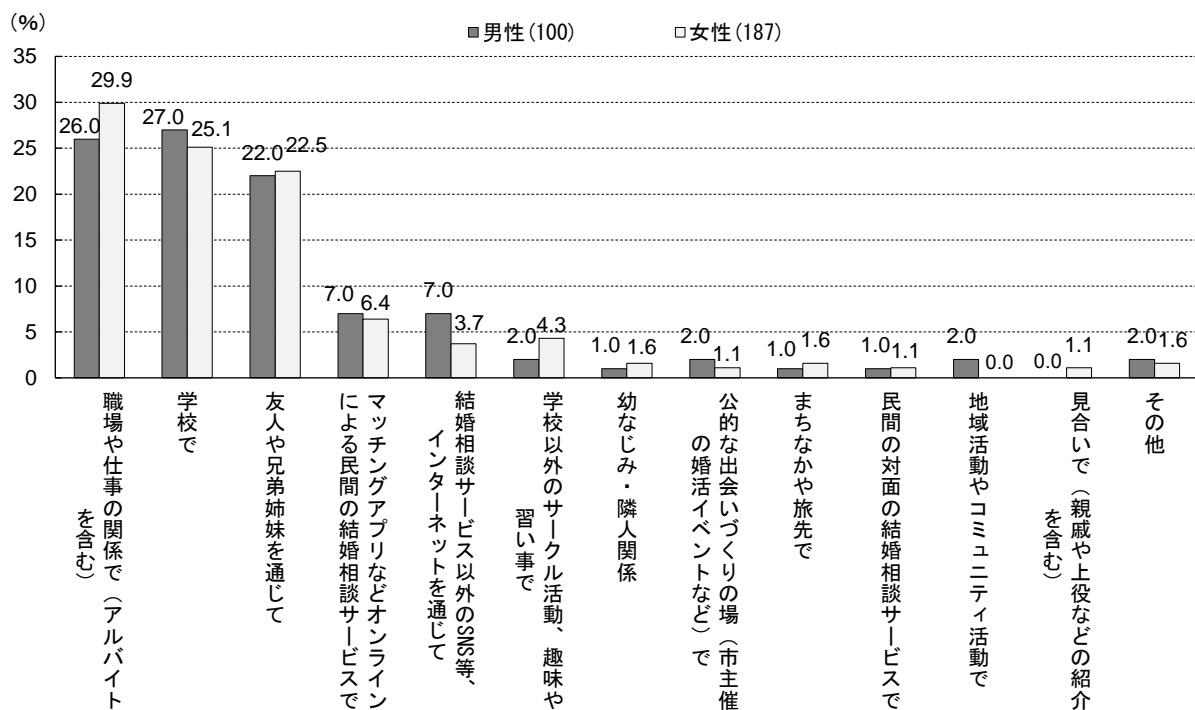


問 1 7 現在結婚されている方と、現在交際中の方（問 1 6 で「1 .」に○印を付けられた方）にお聞きします。

現在の配偶者とはどのように出会われましたか。現在交際中の方は、交際している方との出会いについてご回答下さい。

現在の配偶者又は交際相手との出会いについて聞いたところ（図Ⅱ－2 2）、男女を合わせると、「職場や仕事の関係で（アルバイトを含む）」（男性 26.0%、女性 29.9%）という回答が最も多く、次いで、「学校で」（男性 27.0%、女性 25.1%）、「友人や兄弟姉妹を通じて」（男性 22.0%、女性 22.5%）という回答が多い。

図Ⅱ－2 2 現在の配偶者/交際相手との出会いについて（単数）



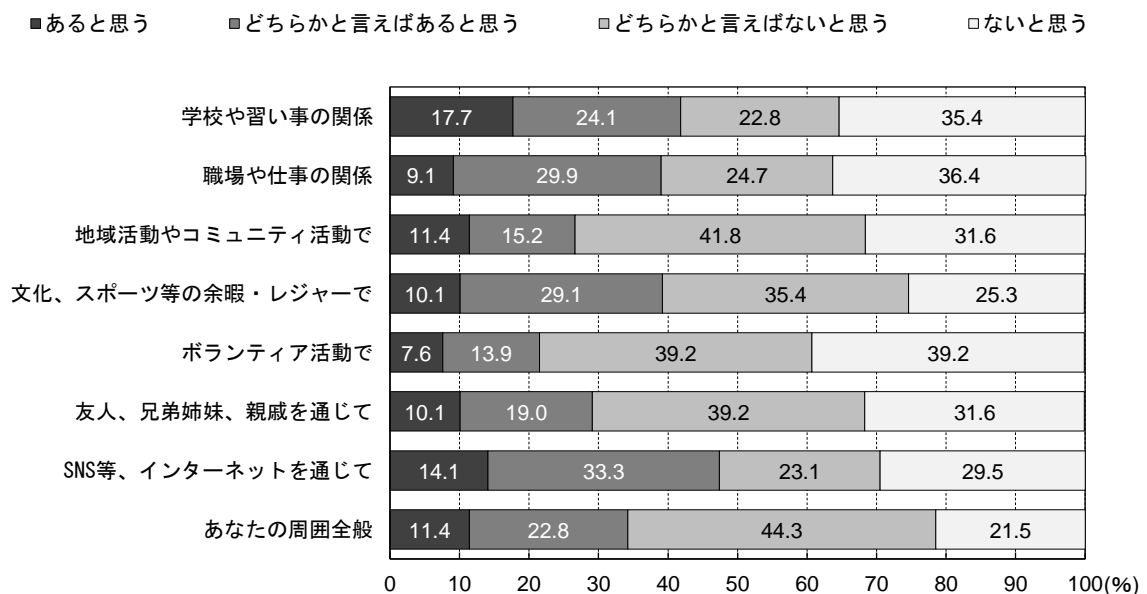
問 1 8 現在独身で交際中でない方にお聞きます。(問 1 6 で「 2 .」または「 3 .」に○印を付けられた方)  
 あなたの周囲では、交際や結婚につながるような相手との出会いはありますか。次の①～⑧のそれぞれの項目について、選択肢からご回答ください。(○印はそれぞれ 1 つだけ)

現在独身で交際中でない方に、交際や結婚につながるような異性との出会いについて聞いたところ(図Ⅱ-23)、男女とも、全ての項目において、「ないと思う」又は「どちらかと言えないと思う」という回答の合計が、「あると思う」又は「どちらかと言えばあると思う」という回答の合計を上回る。

また、「あると思う」又は「どちらかと言えばあると思う」という回答の合計は、男女とも「SNS等、インターネットを通じて」(男性 47.4%、女性 46.8%) が最も多く、次いで、男性は、「学校や習い事の関係」(41.8%)、「文化、スポーツ等の余暇・レジャーで」(39.2%)、「職場や仕事の関係」(39.0%)、女性は、「職場や仕事の関係」(45.9%)、「友人、兄弟姉妹、親戚を通じて」(42.2%)が多い。

図Ⅱ-23 交際や結婚につながるような異性との出会い(単数)

(男性)

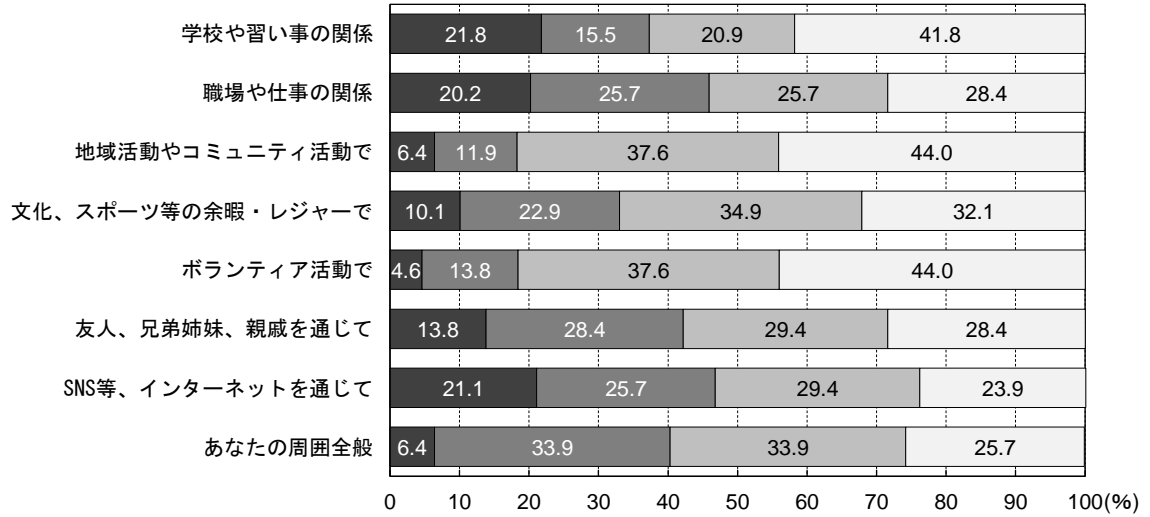


N=77~79

図Ⅱ－２３（続き） 交際や結婚につながるような異性との出会い（単数）

（女性）

■あると思う    ■どちらかと言えばあると思う    □どちらかと言えばないと思う    □ないと思う



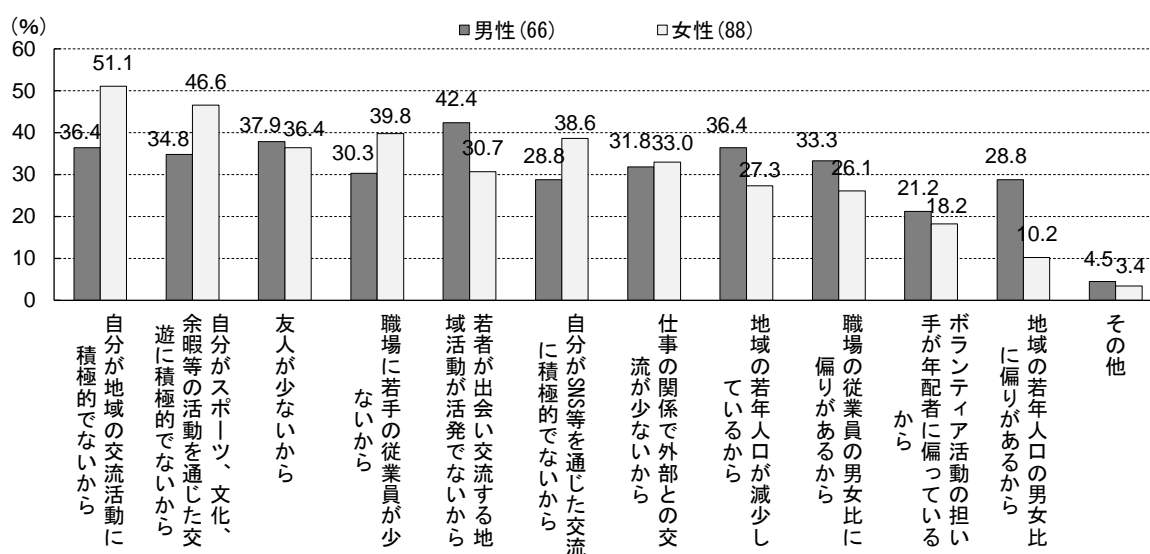
N=109~110

問 1 9 問 1 8 で「3」または「4」に1つでも○印を付けられた方にお聞きます。

「ないと思う」理由をご回答ください。(○印はいくつでも)

交際や結婚につながるような異性との出会いが「ないと思う」理由(図Ⅱ-24)では、男女を合わせると、「自分が地域の交流活動に積極的でないから」(男性36.4%、女性51.1%)という回答が最も多く、次いで、「自分がスポーツ、文化、余暇等の活動を通じた交遊に積極的でないから」(男性34.8%、女性46.6%)、「友人が少ないから」(男性37.9%、女性36.4%)、「職場に若手の従業員が少ないから」(男性30.3%、女性39.8%)、「若者が出会い交流する地域活動が活発でないから」(男性42.4%、女性30.7%)という回答が多い。

図Ⅱ-24 交際や結婚につながるような異性との出会いが「ないと思う」理由(複数)



問20 すべての方にお聞きます。

民間の結婚相談、マッチングアプリ、公的な出会いづくりといった機会を利用したいと思われますか。結婚されている方は結婚前を思い出してご回答下さい。(○印はそれぞれ1つだけ)

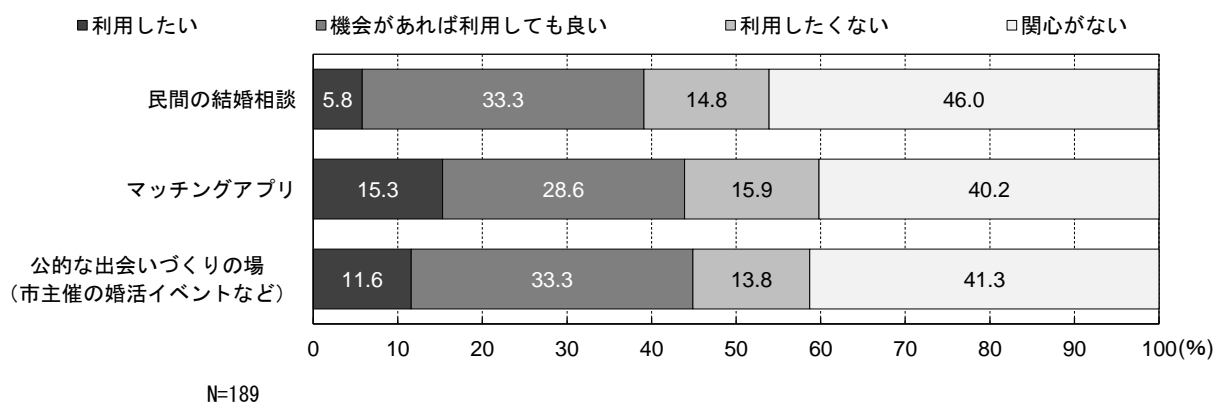
出会いづくりの機会の利用希望について聞いたところ(図Ⅱ-25)、いずれの項目においても、男女とも「関心がない」という回答が最も多い。

ただし、「関心がない」という回答を除くと、「利用したい」又は「機会があれば利用しても良い」という回答の合計は、「利用したくない」という回答を上回る。

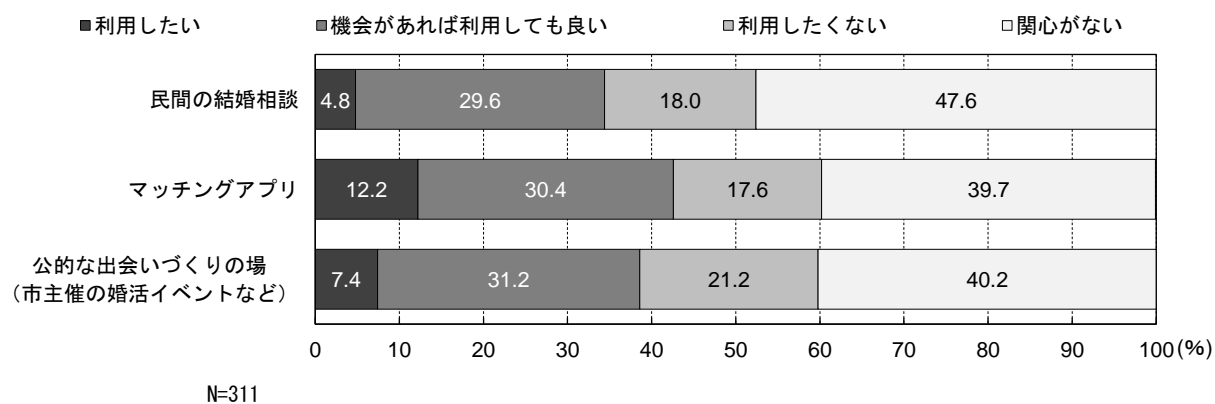
「利用したい」又は「機会があれば利用したい」という回答の合計は、男性では、「公的な出会いづくりの場(市主催の婚活イベントなど)」(44.9%)、女性では、「マッチングアプリ」(42.6%)が最も多い。次いで、男性は、「マッチングアプリ」(43.9%)、女性は、「公的な出会いづくりの場(市主催の婚活イベントなど)」(38.6%)が多い。

図Ⅱ-25 出会いづくりの機会の利用希望(単数)

(男性)



(女性)

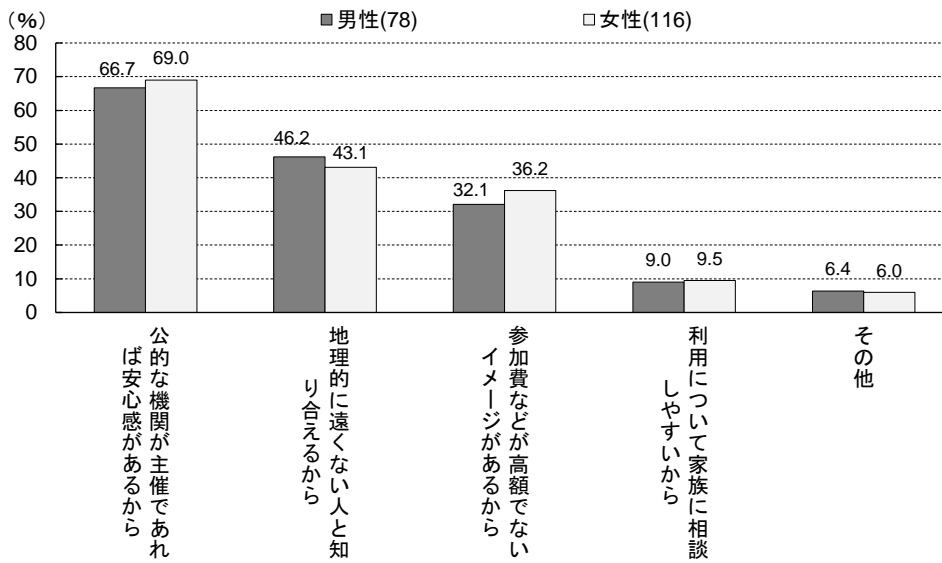


問2 1 問2 0 ③で「1」または「2」に○印を付けられた方にお聞きます。

市主催の婚活イベントなどの「公的な出会いづくりの場」を「利用したい」と思う理由をご回答ください。（○印はいくつでも）

「公的な出会いづくりの場」を「利用したい」と思う理由（図Ⅱ－2 6）では、男女とも「公的な機関が主催であれば安心感があるから」（男性 66.7%、女性 69.0%）という回答が最も多く、次いで、「地理的に遠くない人と知り合えるから」（男性 46.2%、女性 43.1%）という回答が多い。

図Ⅱ－2 6 「公的な出会いづくりの場」を「利用したい」と思う理由（複数）



## 6 ワークライフバランスについて

問2 2 会社・団体等で働かれている方にお聞きます。

あなたが働いている職場では、出産・子育てと仕事の両立に対して十分な配慮があると考えられますか。(○印はそれぞれ1つだけ)

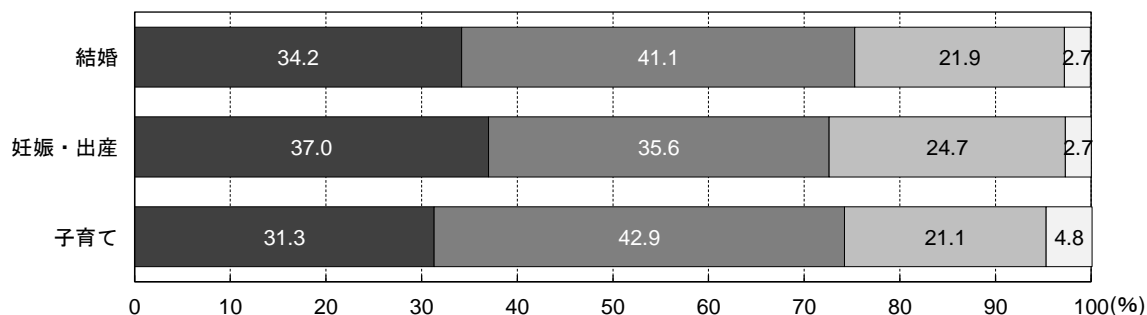
職場での結婚、妊娠・出産、子育てと仕事の両立に対しての配慮について聞いたところ(図Ⅱ-27)、「十分な配慮がある」又は「どちらかと言えば配慮がある」という回答の合計は、「結婚」では、男性75.3%、女性84.5%、「妊娠・出産」では、男性72.6%、女性81.4%、「子育て」では、男性74.2%、女性81.8%で、男性の7割以上、また、女性の8割以上が、職場においてワークライフバランスに対する「配慮がある」と考えている。

一方で、男性の2割以上、また、女性の2割近くが、「妊娠・出産」(男性27.4%、女性18.6%)及び「子育て」(男性25.9%、女性18.1%)について、「どちらかと言えば配慮が不足している」又は「まったく配慮がない」と回答している。

図Ⅱ-27 職場での結婚、妊娠・出産、子育てと仕事の両立に対しての配慮(単数)

(男性)

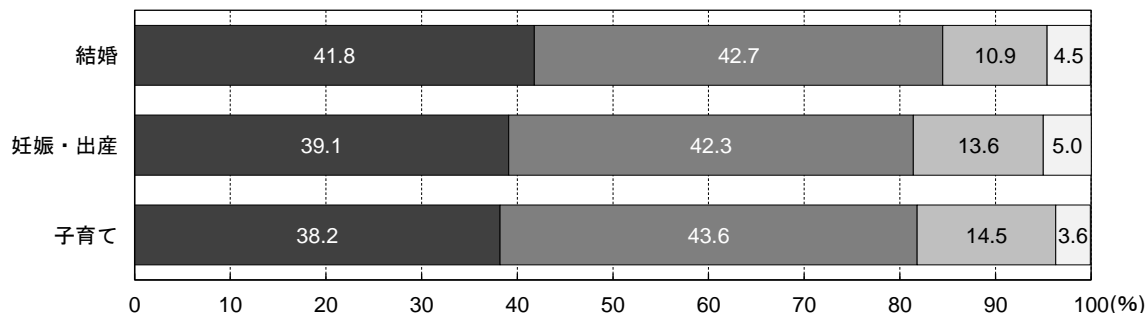
■十分な配慮がある ■どちらかと言えば配慮がある □どちらかと言えば配慮が不足している □まったく配慮がない



N=146

(女性)

■十分な配慮がある ■どちらかと言えば配慮がある □どちらかと言えば配慮が不足している □まったく配慮がない



N=220



## 7 就業と地域選択について

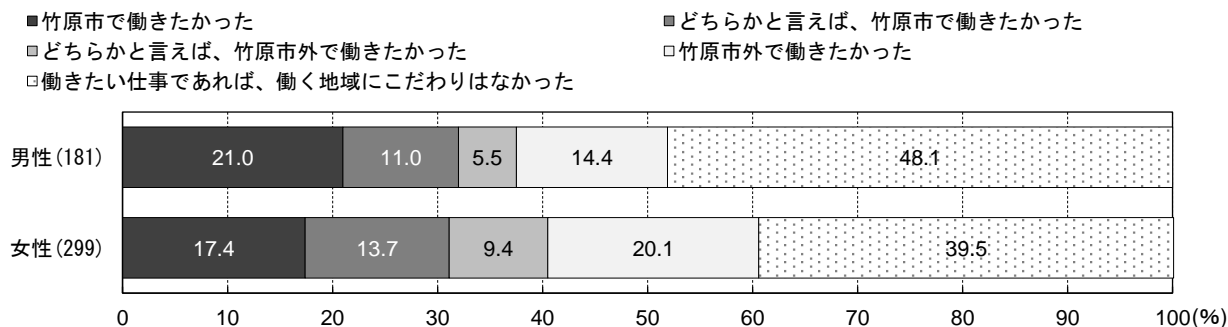
問 2 3 現在働いている方、これまで働いたことがある方、また、これから就業希望がある方にお聞きします。  
 高校や大学等の卒業後、初めて就業する地域について、あなたは、「竹原市」と「竹原市外」で希望はありましたか。これから就業を希望される方は、現在の希望をご回答ください。

初めて就業する地域の希望について聞いたところ（図Ⅱ－28）、男女とも「働きたい仕事であれば、働く地域にこだわりはなかった」（男性 48.1%、女性 39.5%）という回答が最も多く、男性は約半数を占める。

「竹原市で働きたかった」（男性 21.0%、女性 17.4%）又は「どちらかと言えば、竹原市で働きたかった」（男性 11.0%、女性 13.7%）という回答の合計は、男性 32.0%、女性 31.1%で、男女とも 3 割を超える。

一方で、「竹原市外で働きたかった」（男性 14.4%、女性 20.1%）又は「どちらかと言えば、竹原市外で働きたかった」（男性 5.5%、女性 9.4%）という回答の合計は、男性 19.9%、女性 29.5%で、女性は約 3 割あり、男性に比べ、約 10 ポイント高い。

図Ⅱ－28 初めて就業する地域の希望（単数）

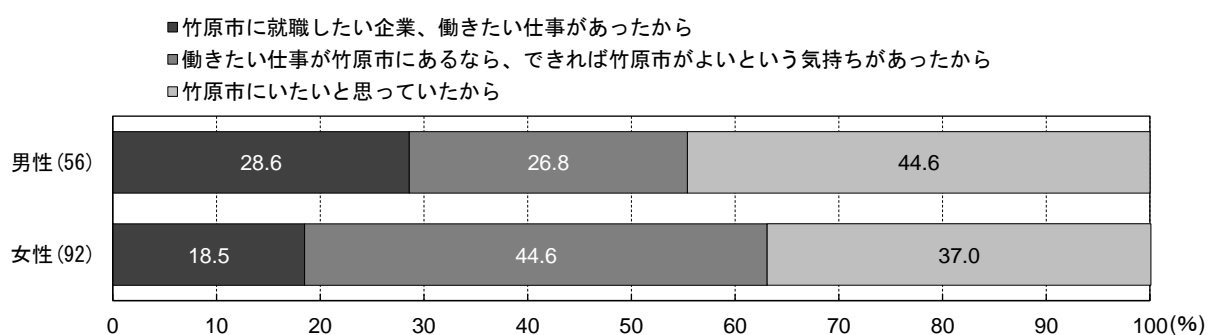


問 2 4 問 2 3 で「 1 .」または「 2 .」に○印を付けられた方にお聞きます。

竹原市で働きたかった理由についてご回答ください。

竹原市で働きたかった理由（図Ⅱ－２９）では、男性は、「竹原市にいたいと思っていたから」（44.6%）、女性は、「働きたい仕事があるなら、できれば竹原市がよいという気持ちがあったから」（44.6%）という回答が最も多く、男女とも「竹原市に就職したい企業、働きたい仕事があったから」（男性 28.6%、女性 18.5%）という回答を大きく上回る。

図Ⅱ－２９ 竹原市で働きたかった理由（単数）



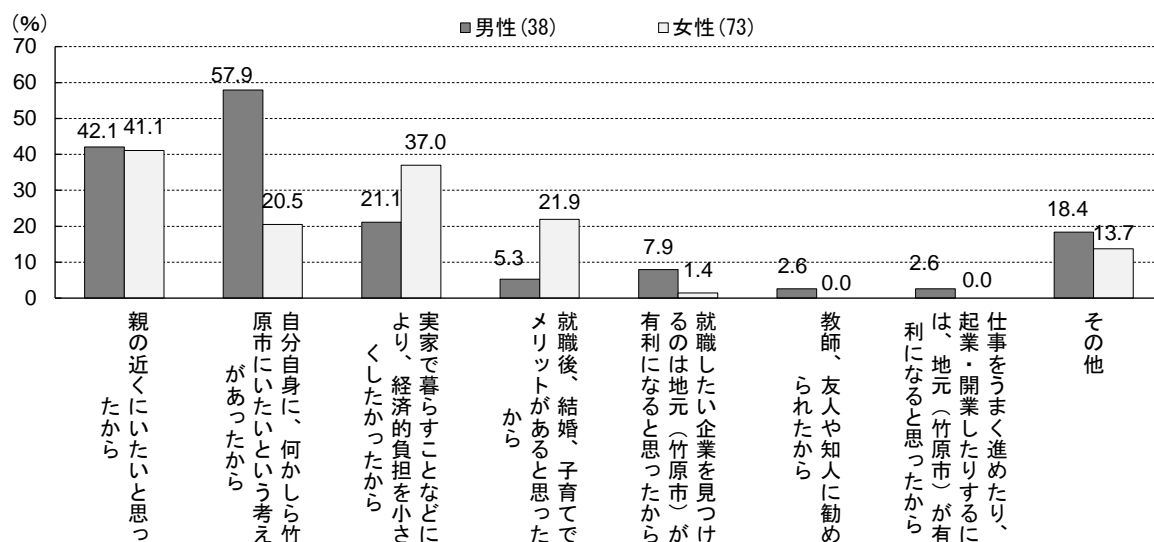
問2 5 問2 4で「2.」または「3.」に○印を付けられた方にお聞きます。

「竹原市がよい」「竹原市にいたい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。（○印はいくつでも）

「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」と思った理由（図Ⅱ－30）では、男性は、「自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから」（57.9%）という回答が最も多く、次いで、「親の近くにいたいと思ったから」（42.1%）、「実家で暮らすことにより、経済的負担を小さくしたかったから」（21.1%）という回答が多い。

女性は、「親の近くにいたいと思ったから」（41.1%）という回答が最も多く、次いで、「実家で暮らすことにより、経済的負担を小さくしたかったから」（37.0%）、「就職後、結婚、子育てでメリットがあると思ったから」（21.9%）という回答が多い。

図Ⅱ－30 「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」と思った理由（複数）

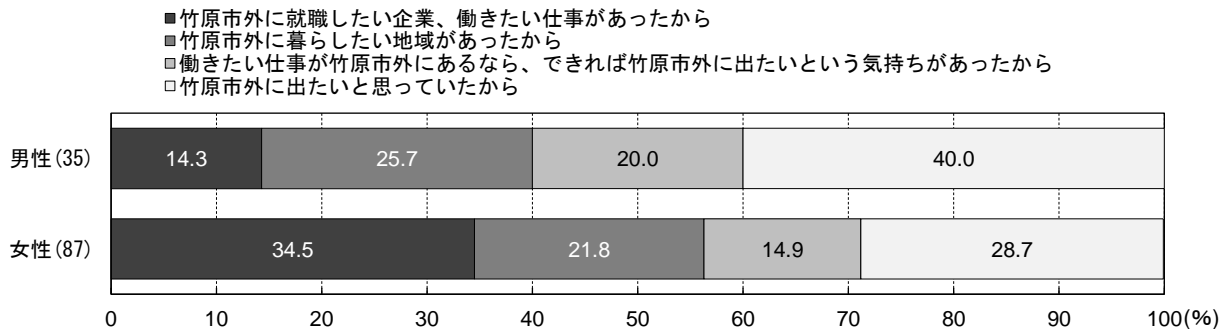


問 2 6 問 2 3 で「 3 .」または「 4 .」に○印を付けられた方にお聞きします。  
竹原市外で働きたかった理由についてご回答ください。

竹原市外で働きたかった理由（図Ⅱ－3 1）では、男性は、「竹原市外に出たいと思っていたから」（40.0%）という回答が最も多い。

女性は、「竹原市外に就職したい企業、働きたい仕事があったから」（34.5%）という回答が最も多く、男性（14.3%）に比べ、20 ポイント以上高い。

図Ⅱ－3 1 竹原市外で働きたかった理由（単数）

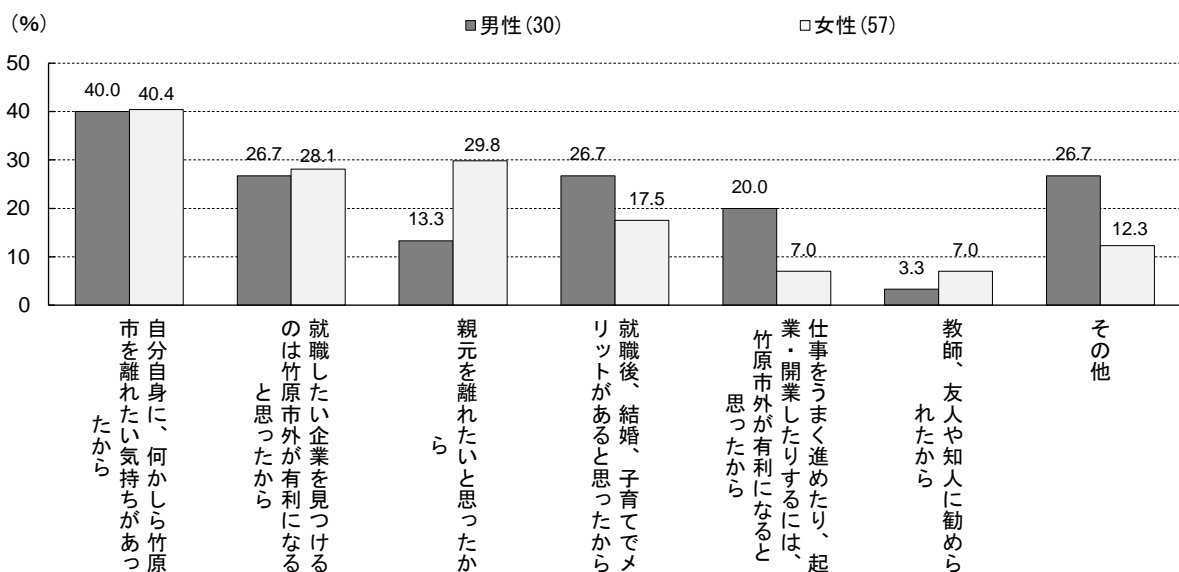


問 2 7 問 2 6 で「 2 .」～「 4 .」に○印を付けられた方にお聞きします。

「竹原市外に出たい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。（○印はいくつでも）

「竹原市外に出たい」と思った理由（図Ⅱ－3 2）では、男女とも「自分自身に、何かしら竹原市を離れたい気持ちがあったから」（男性 40.0%、女性 40.4%）という回答が最も多く、4 割ある。

図Ⅱ－3 2 「竹原市外に出たい」と思った理由（複数）



問 2 8 現在働いている方、これまで働いたことがある方にお聞きます。

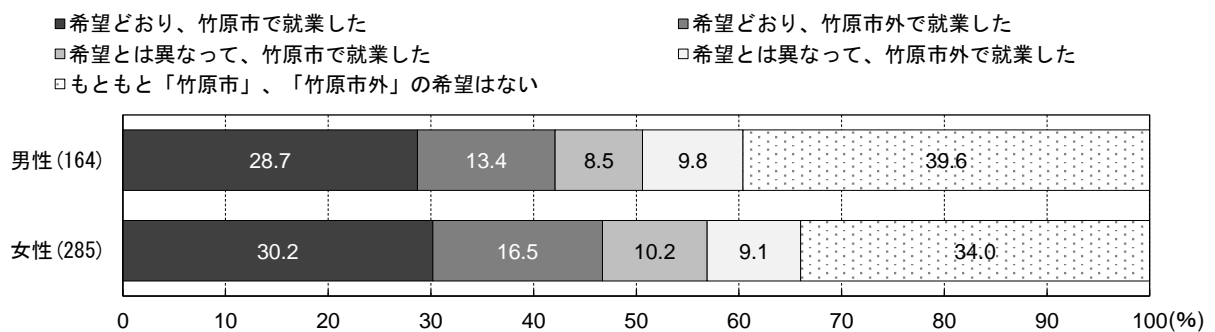
「竹原市」、「竹原市外」という見方をすると、就業した地域は希望どおりでしたか。

就業した地域の希望の実現について聞いたところ(図Ⅱ-33)、男女とも「もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない」(男性 39.6%、女性 34.0%)という回答が最も多い。

希望の実現状況で見ると、「希望どおり、竹原市で就業した」(男性 28.7%、女性 30.2%)又は「希望どおり、竹原市外で就業した」(男性 13.4%、女性 16.5%)という回答の合計は、男性 42.1%、女性 46.7%で、男女とも4割を超える。

また、「希望とは異なって、竹原市外で就業した」という回答は、男性 9.8%、女性 9.1%で、約1割ある。

図Ⅱ-33 就業した地域の希望の実現(単数)

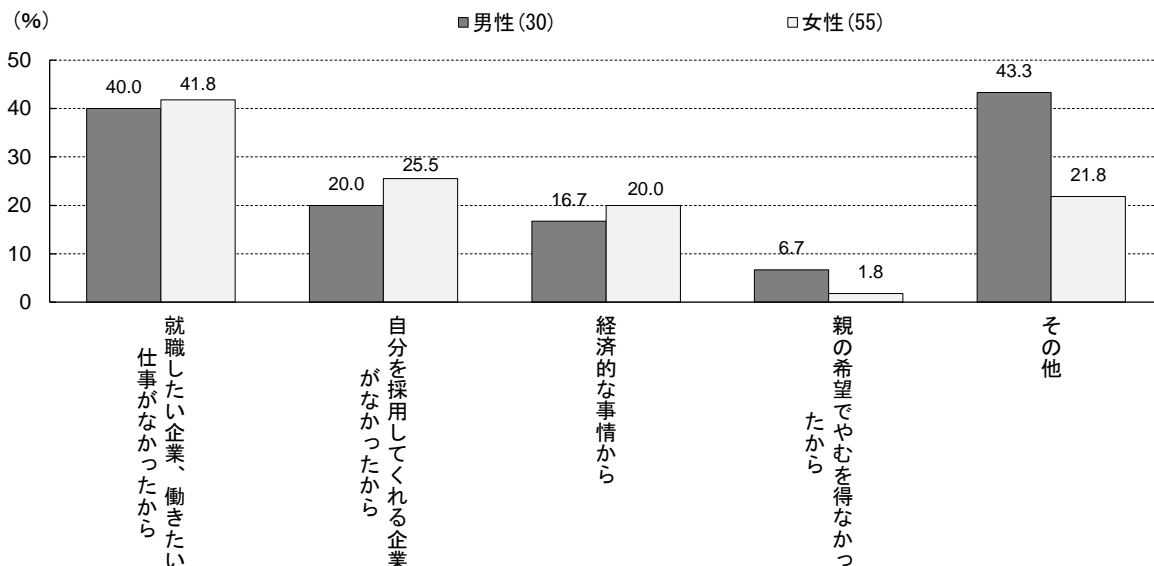


問 2 9 問 2 8 で「3.」または「4.」に○印を付けられた方にお聞きます。

希望どおりにならなかった理由をご回答ください。(○印はいくつでも)

就業した地域が希望どおりにならなかった理由(図Ⅱ-34)では、「その他」(男性 43.3%、女性 21.8%)という回答を除くと、男女とも「就職したい企業、働きたい仕事が多かったから」(男性 40.0%、女性 41.8%)という回答が最も多い。

図Ⅱ-34 就業した地域が希望どおりにならなかった理由(複数)



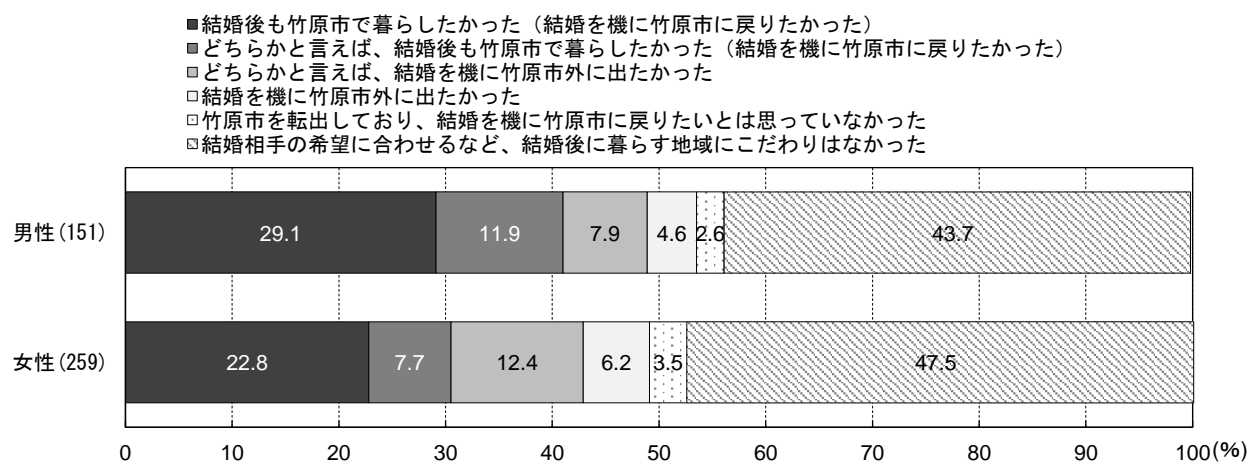
## 8 結婚と地域選択について

問30 現在結婚している方、結婚経験のある方、また、これから結婚希望がある方にお聞きます。  
結婚後に暮らし始める地域について、あなたは、「竹原市」と「竹原市外」で希望はありましたか。これから結婚を希望される方は、現在の希望をご回答ください。

結婚後に暮らし始める地域の希望について聞いたところ（図Ⅱ－35）、男女とも「結婚相手の希望に合わせるなど、結婚後に暮らす地域にこだわりはなかった」（男性43.7%、女性47.5%）という回答が最も多く、4割を超える。

「結婚後も竹原市で暮らしたかった（結婚を機に竹原市に戻りたかった）」（男性29.1%、女性22.8%）又は「どちらかと言えば、結婚後も竹原市で暮らしたかった（結婚を機に竹原市に戻りたかった）」（男性11.9%、女性7.7%）という回答の合計は、男性41.0%、女性30.5%で、男性は4割、女性は3割を超える。

図Ⅱ－35 結婚後に暮らし始める地域の希望（単数）



問3 1 問3 0で「1.」または「2.」に○印を付けられた方にお聞きします。

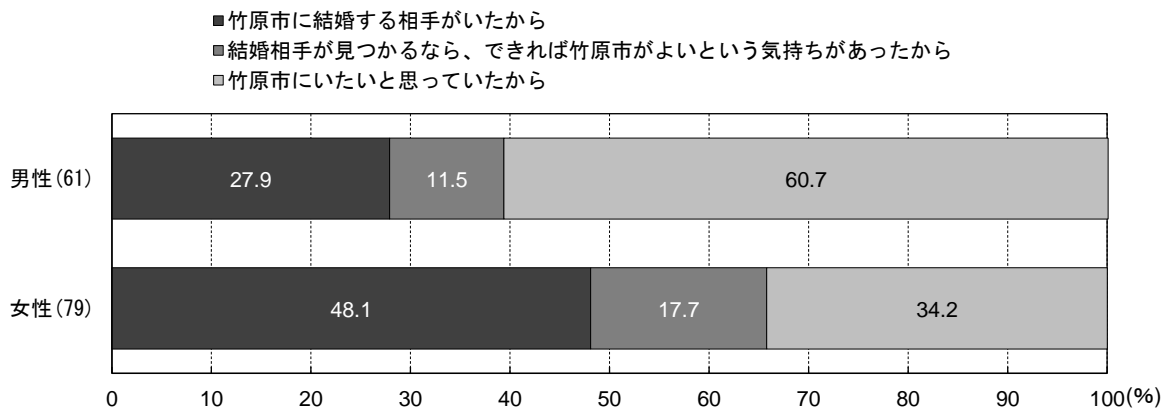
「結婚後も竹原市で暮らしたかった（結婚を機に竹原市に戻りたかった）」理由についてご回答ください。

結婚後も竹原市で暮らしたかった（結婚を機に竹原市に戻りたかった）理由（図Ⅱ－3 6）では、男性は、「竹原市にいたいと思っていたから」（60.7%）という回答が最も多い。

女性は、「竹原市に結婚する相手がいたから」（48.1%）という回答が最も多く、次いで、「竹原市にいたいと思っていたから」（34.2%）という回答が多い。

「竹原市に結婚する相手がいたから」（男性 27.9%、女性 48.1%）という回答は、女性は半数近くあり、男性に比べ、20 ポイント以上高い。

図Ⅱ－3 6 結婚後も竹原市で暮らしたかった（結婚を機に竹原市に戻りたかった）理由（単数）



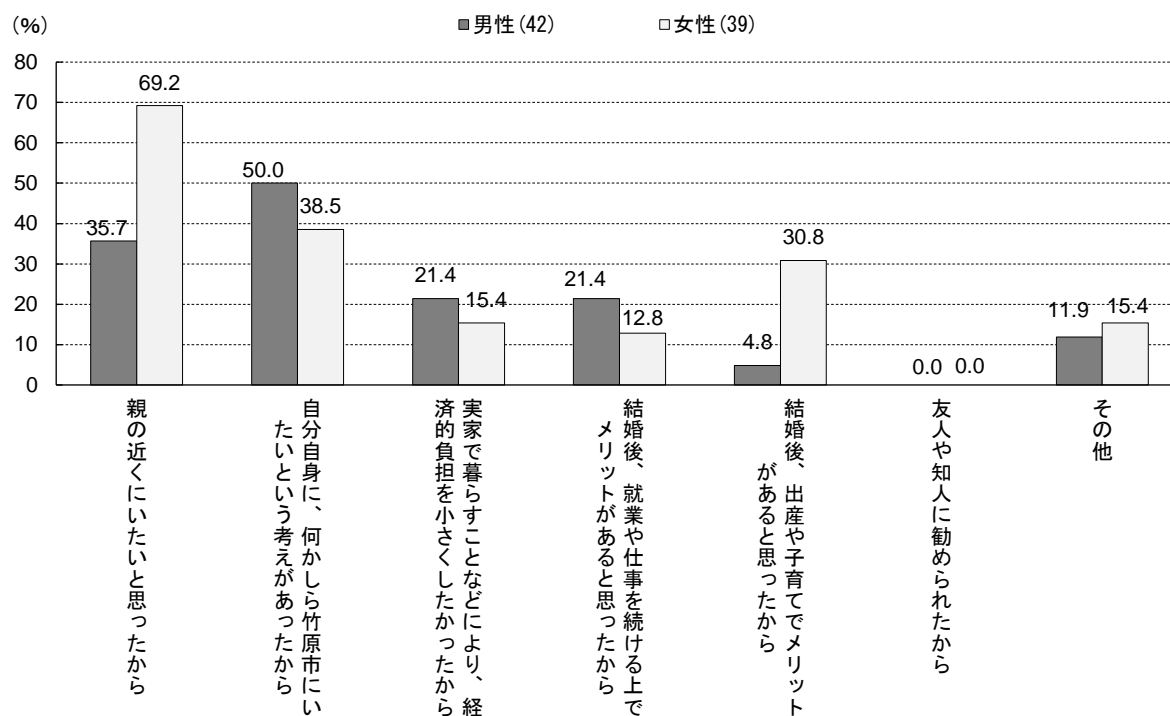
問3 2 問3 1で「2.」または「3.」に○印を付けられた方にお聞きします。

「竹原市がよい」「竹原市にいたい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。（○印はいくつでも）

「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」と思った理由（図Ⅱ－37）では、男女を合わせると、「親の近くにいたいと思ったから」（男性35.7%、女性69.2%）という回答が最も多く、次いで、「自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから」（男性50.0%、女性38.5%）という回答が多い。

「親の近くにいたいと思ったから」（男性35.7%、女性69.2%）、「結婚後、出産や子育てでメリットがあると思ったから」（男性4.8%、女性30.8%）という回答は、男女で差があり、女性が男性に比べ、かなり高い。

図Ⅱ－37 「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」と思った理由（複数）





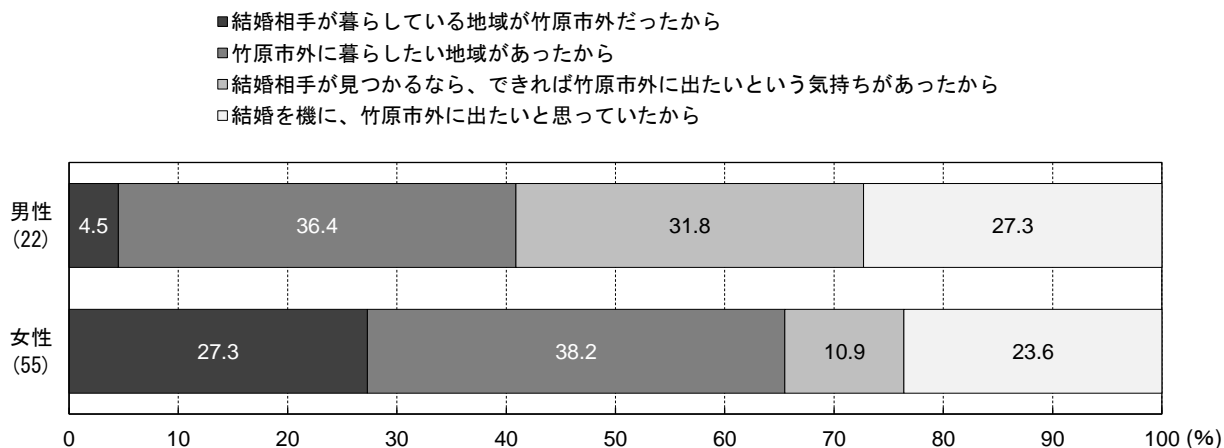
問33 問30で「3.」～「5.」に○印を付けられた方にお聞きます。

結婚後に竹原市外で暮らしたかった（戻りたいと思わなかった）理由についてご回答ください。

結婚後に竹原市外で暮らしたかった（戻りたいと思わなかった）理由（図Ⅱ-38）では、男女とも「竹原市外に暮らしたい地域があったから」（男性36.4%、女性38.2%）という回答が最も多い。

「結婚相手が暮らしている地域が竹原市外だったから」（男性4.5%、女性27.3%）という回答は、女性は約3割あり、男性に比べ、20ポイント以上高い。

図Ⅱ-38 結婚後に竹原市外で暮らしたかった（戻りたいと思わなかった）理由（単数）

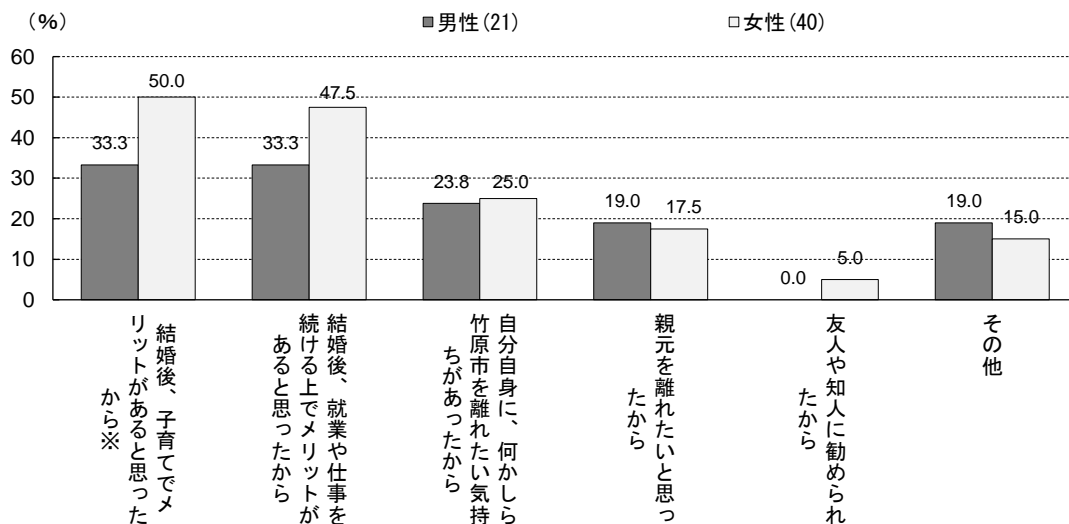


問34 問33で「2.」～「4.」に○印を付けられた方にお聞きます。

「竹原市外に出たい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。（○印はいくつでも）

「竹原市外に出たい」と思った理由（図Ⅱ-39）では、男女とも「結婚後、子育てでメリットがあると思ったから」（男性33.3%、女性50.0%）という回答が最も多く、次いで、「結婚後、就業や仕事を続ける上でメリットがあると思ったから」（男性33.3%、女性47.5%）という回答が多い。

図Ⅱ-39 「竹原市外に出たい」と思った理由（複数）



※調査票選択肢では、「結婚後、結婚や子育てでメリットがあると思ったから」という記載であったが、回答者は、「結婚後、子育てでメリットがあると思ったから」と解釈し回答したものと推測されるため、本グラフの表記においては、修正し記載している。

問 3 5 現在結婚されている方、結婚経験のある方にお聞きます。

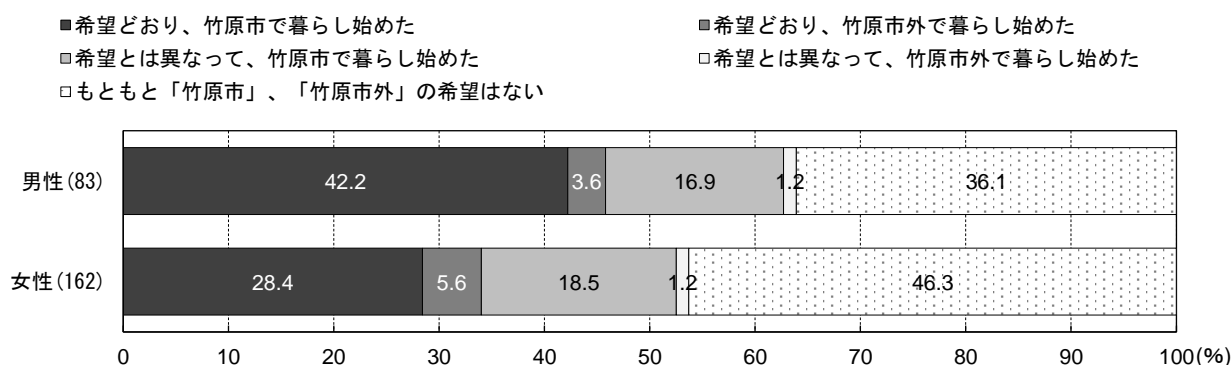
「竹原市」、「竹原市外」という見方をすると、結婚後に暮らし始めた地域は希望どおりでしたか。

結婚後に暮らし始めた地域の希望の実現について聞いたところ（図Ⅱ－４０）、男性は、「希望どおり、竹原市で暮らし始めた」（42.2%）という回答が最も多く、次いで、「もともと「竹原市」、  
「竹原市外」の希望はない」（36.1%）という回答が多い。

女性は、「もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない」（46.3%）という回答が最も多く、次いで、「希望どおり、竹原市で暮らし始めた」（28.4%）という回答が多い。

希望の実現状況で見ると、「希望どおり、竹原市で暮らし始めた」（男性 42.2%、女性 28.4%）又は「希望どおり、竹原市外で暮らし始めた」（男性 3.6%、女性 5.6%）という回答の合計は、男性 45.8%、女性 34.0%で、男性は4割を超え、女性に比べ、10ポイント以上高い。

図Ⅱ－４０ 結婚後に暮らし始めた地域の希望の実現（単数）



問36 現在結婚されている方、結婚経験のある方にお聞きます。

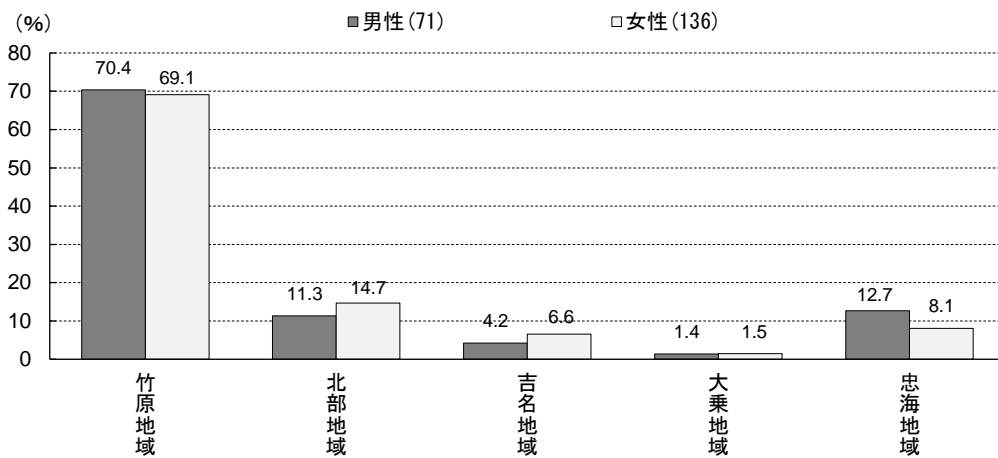
結婚後に暮らし始めた地域について、ご回答ください。

結婚後に暮らし始めた地域について聞いたところ、市内（図Ⅱ-4 1）は、男女とも「竹原地域」（男性70.4%、女性69.1%）という回答が最も多く、約7割ある。

一方、市外（図Ⅱ-4 2）は、「県内」、「県外」（男性7.1%、女性34.6%）で見ると、「県内」という回答が多い。

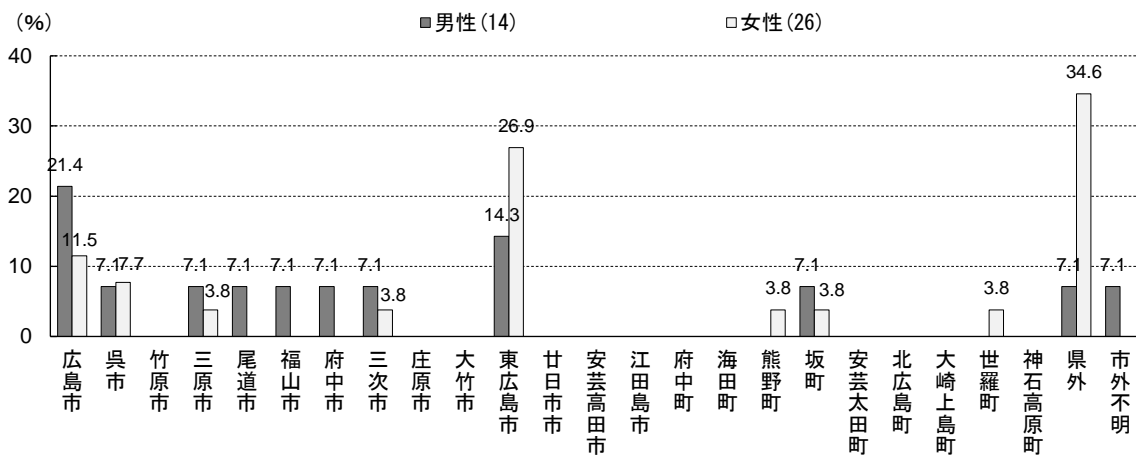
「県内」は、男女を合わせると、「東広島市」（男性14.3%、女性26.9%）という回答が最も多く、次いで、「広島市」（男性21.4%、女性11.5%）という回答が多い。

図Ⅱ-4 1 結婚後に暮らし始めた地域（市内）（単数）



図Ⅱ-4 2 結婚後に暮らし始めた地域（市外）（単数）

（市区町村）



9 結婚や子どもの成長に伴う住居地の選択について

問37 現在結婚されている方、結婚経験のある方、また、これから結婚希望がある方にお聞きます。  
結婚時の住居地を決めたとき、どのような地域特性を重視されましたか。次の①～⑭のそれぞれの項目について、選択肢からご回答ください。これから結婚を希望される方は、現在の希望をご回答ください。（○印はそれぞれ1つだけ）

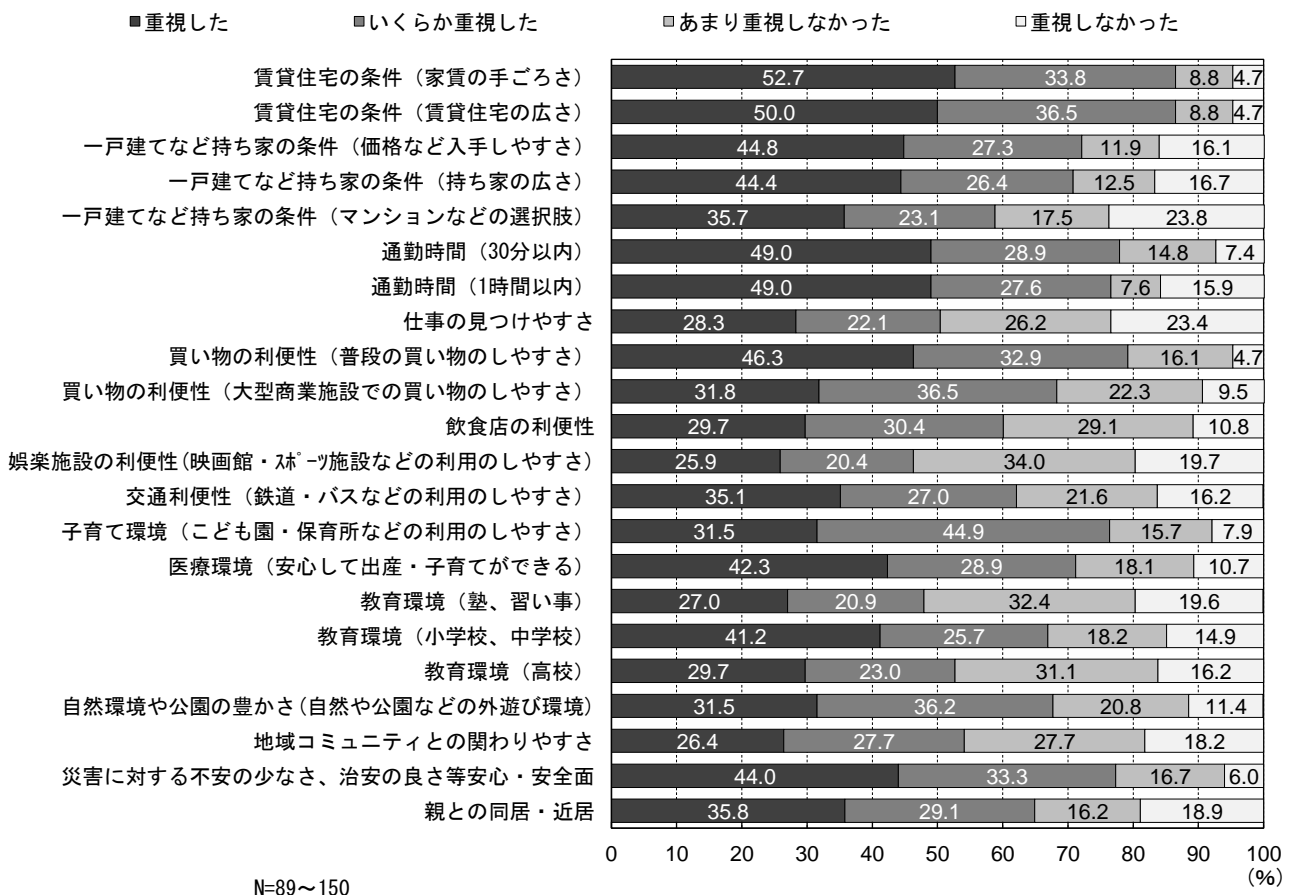
結婚時の住居地を決めたときの地域特性の重視について聞いたところ（図Ⅱ－43）、「重視した」という回答は、男性では、「賃貸住宅の条件（家賃の手ごろさ）」（52.7%）が最も多く、次いで、「賃貸住宅の条件（賃貸住宅の広さ）」（50.0%）、「通勤時間（30分以内）」（49.0%）、「通勤時間（1時間以内）」（49.0%）が多い。

女性では、「賃貸住宅の条件（家賃の手ごろさ）」（62.9%）が最も多く、次いで、「通勤時間（30分以内）」（54.9%）、「賃貸住宅の条件（賃貸住宅の広さ）」（51.8%）が多い。

また、「重視した」又は「いくらか重視した」という回答の合計は、男女とも「賃貸住宅の条件（家賃の手ごろさ）」（男性86.5%、女性90.2%）が最も多く、次いで、「賃貸住宅の条件（賃貸住宅の広さ）」（男性86.5%、女性89.1%）が多い。

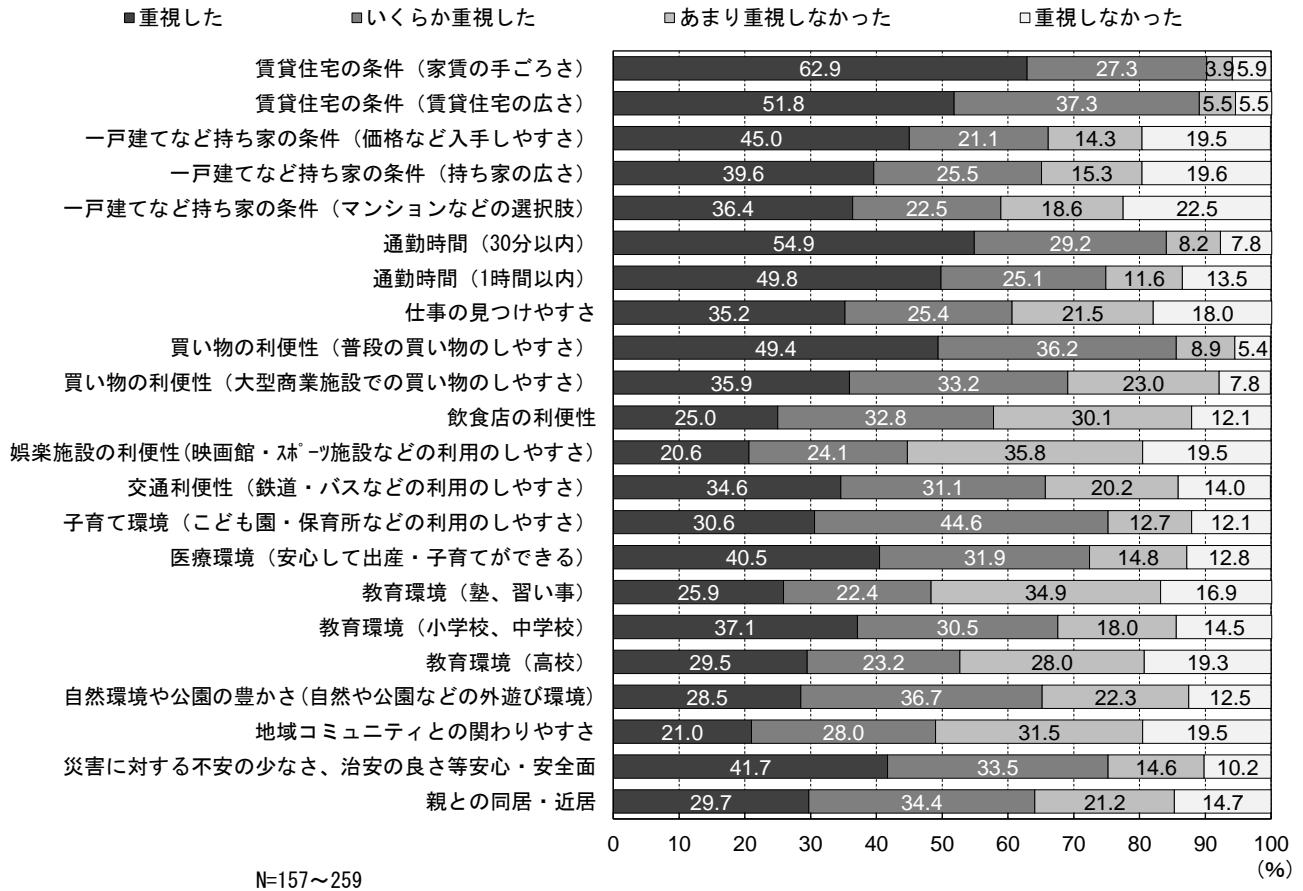
図Ⅱ－43 結婚時の住居地を決めたときの地域特性の重視（単数）

（男性）



図Ⅱ－４３（続き） 結婚時の住居地を決めたときの地域特性の重視（単数）

（女性）

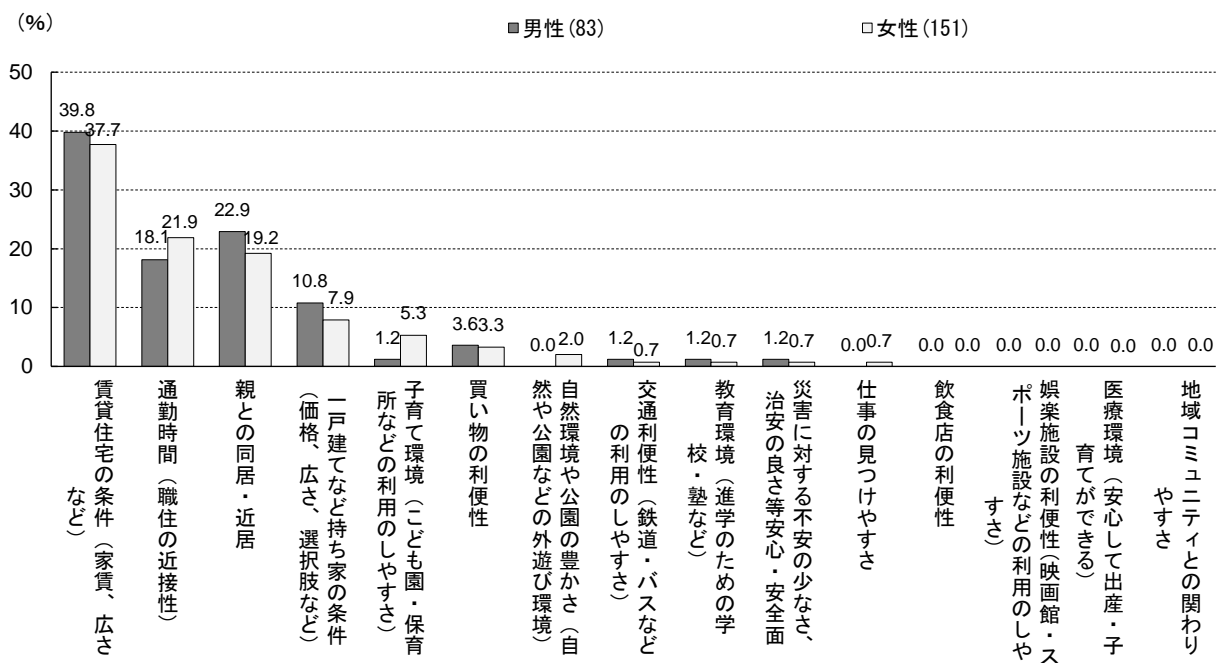


問38 現在結婚されている方、結婚経験のある方で、問37で「1」または「2」に1つでも○印を付けられた方にお聞きます。

問37で「1（重視した）」または「2（いづれか重視した）」に○印を付けた地域特性のうち、結婚時の住居地を選んだ一番の決め手はどれでしたか。

結婚時の住居地を選んだ一番の決め手について聞いたところ（図Ⅱ-44）、男女とも「賃貸住宅の条件（家賃、広さなど）」（男性39.8%、女性37.7%）という回答が最も多く、約4割あり、次いで、男女を合わせると、「通勤時間（職住の近接性）」（男性18.1%、女性21.9%）、「親との同居・近居」（男性22.9%、女性19.2%）という回答が多い。

図Ⅱ-44 結婚時の住居地を選んだ一番の決め手（単数）



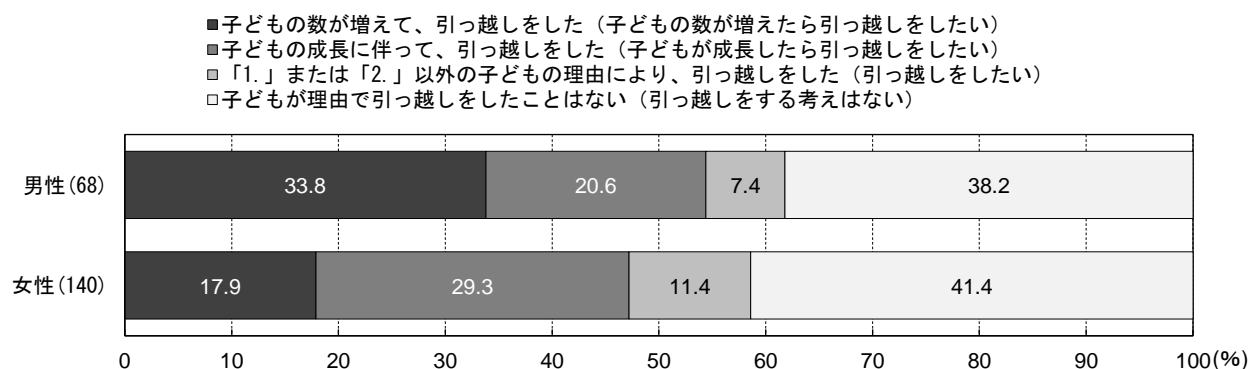
問39 現在子育てをされている方にお聞きます。

子どもの出生や成長に伴って、引っ越しをされたことがありますか。また、希望がありますか。

子どもの出生や成長に伴って、引っ越しをしたことがあるかについて聞いたところ（図Ⅱ-45）、男女とも「子どもが理由で引っ越しをしたことはない（引っ越しをする考えはない）」（男性38.2%、女性41.4%）という回答が最も多い。

一方、「子どもの数が増えて、引っ越しをした（子どもの数が増えたら引っ越しをしたい）」（男性33.8%、女性17.9%）、「子どもの成長に伴って、引っ越しをした（子どもが成長したら引っ越しをしたい）」（男性20.6%、女性29.3%）又は「1.」（子どもの数が増えて）または「2.」（子どもの成長に伴って）以外の子どもの理由により、引っ越しをした（引っ越しをしたい）」（男性7.4%、女性11.4%）という回答の合計は、男性61.8%、女性58.6%で、約6割あり、「子どもが理由で引っ越しをしたことはない（引っ越しをする考えはない）」という回答を上回る。

図Ⅱ-45 子どもの出生や成長に伴って、引っ越しをしたことがあるか（単数）



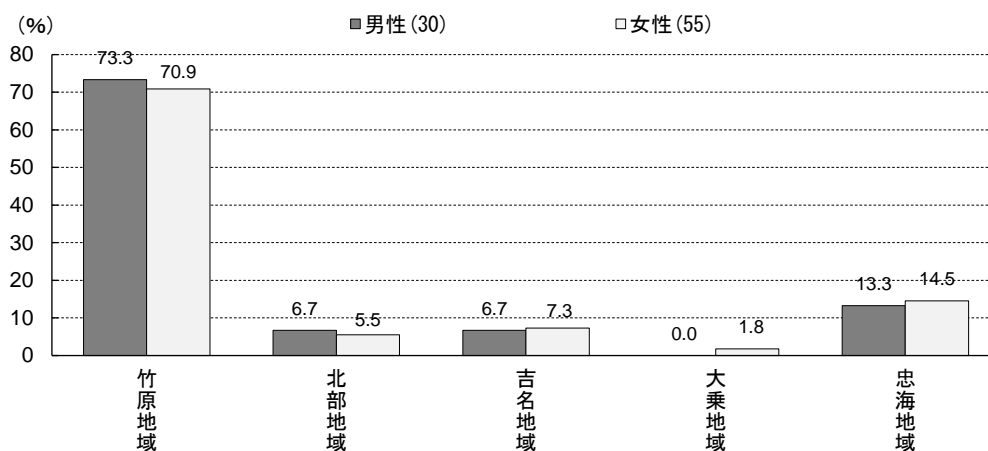
(注) 現在子育てをされている方は、子どもの数が0でない方とする

問40 問39で「1.」～「3.」に○印を付けられた方で、実際に引っ越しをされた方にお聞きます。  
 子どもの出生や成長などに伴っての引っ越し後に暮らし始めた地域について、ご回答ください。

子どもの出生や成長などに伴っての引っ越し後に暮らし始めた地域について聞いたところ、市内（図Ⅱ-46）は、男女とも「竹原地域」（男性73.3%、女性70.9%）という回答が最も多く、7割を超える。

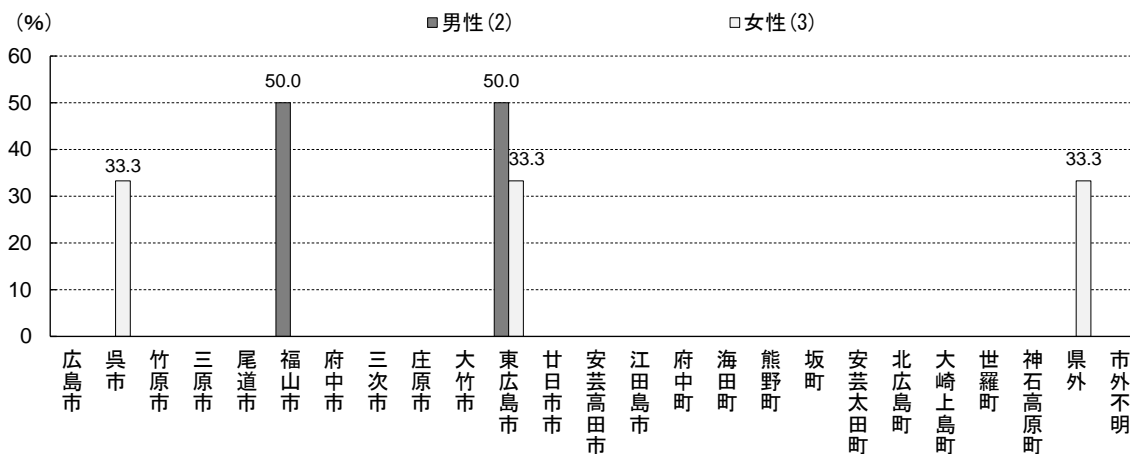
また、市民意識調査であることから、「市外」（図Ⅱ-47）という回答は少ない。

図Ⅱ-46 子どもの出生や成長などに伴っての引っ越し後に暮らし始めた地域(市内)(単数)



図Ⅱ-47 子どもの出生や成長などに伴っての引っ越し後に暮らし始めた地域(市外)(単数)

(市区町村)





問4 1 問3 9で「1.」～「3.」に○印を付けられた方にお聞きします。

子どもの出生や成長などに伴っての引っ越しで住居地を決めたとき、どのような地域特性を重視されましたか。次の①～②のそれぞれの項目について、選択肢からご回答ください。これから引っ越しを希望される方は、現在の希望をご回答ください。（○印はそれぞれ1つだけ）

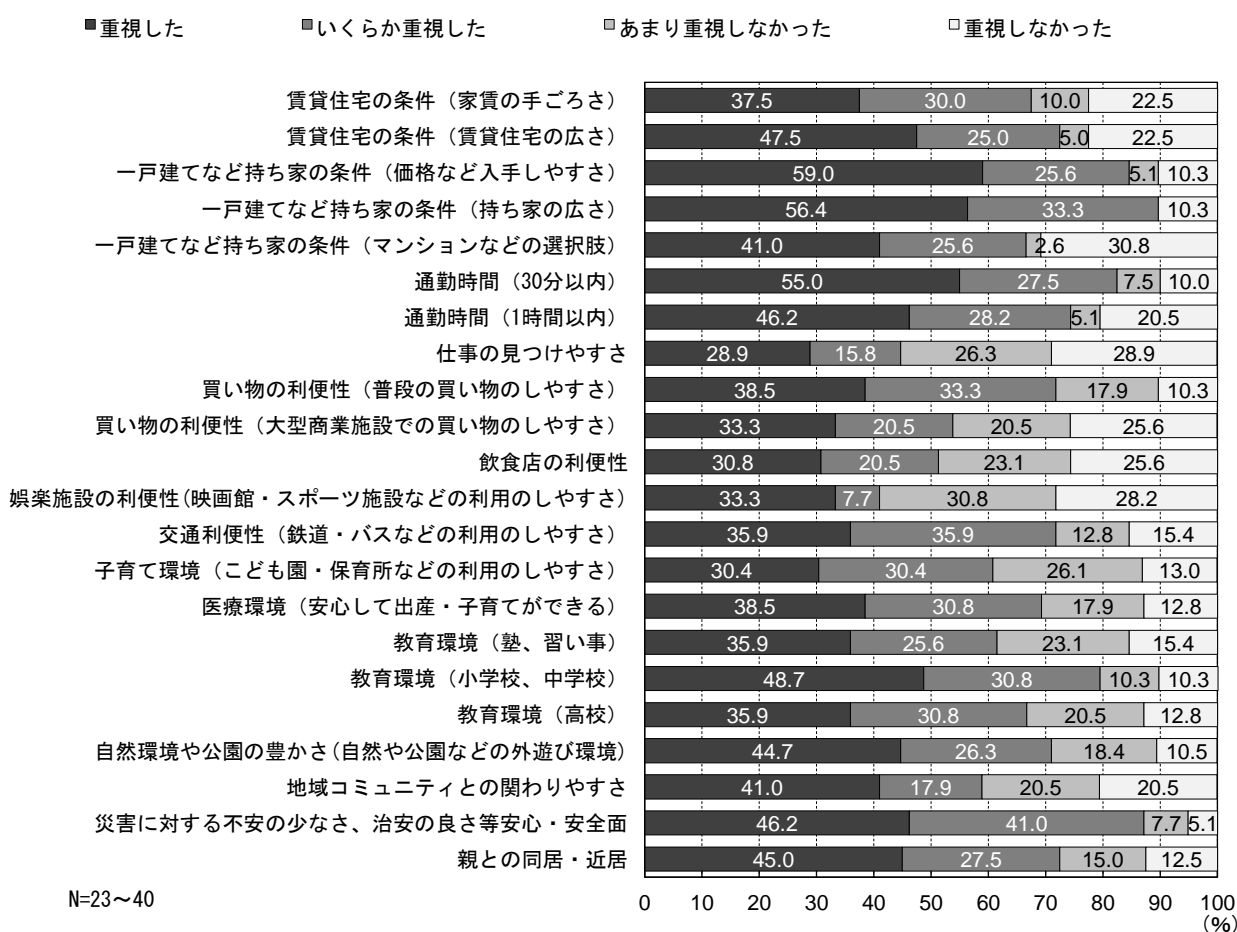
子どもの出生や成長などに伴っての引っ越しで住居地を決めたときの地域特性の重視について聞いたところ（図Ⅱ－48）、「重視した」という回答は、男性では、「一戸建てなど持ち家の条件（価格など入手しやすさ）」（59.0%）が最も多く、次いで、「一戸建てなど持ち家の条件（持ち家の広さ）」（56.4%）、「通勤時間（30分以内）」（55.0%）が多い。

女性では、「一戸建てなど持ち家の条件（持ち家の広さ）」（56.0%）が最も多く、次いで、「一戸建てなど持ち家の条件（価格など入手しやすさ）」（51.3%）、「通勤時間（30分以内）」（48.7%）が多い。

また、「重視した」又は「いくらか重視した」という回答の合計は、男性では「一戸建てなど持ち家の条件（持ち家の広さ）」（89.7%）、女性では「通勤時間（30分以内）」（88.2%）が最も多い。

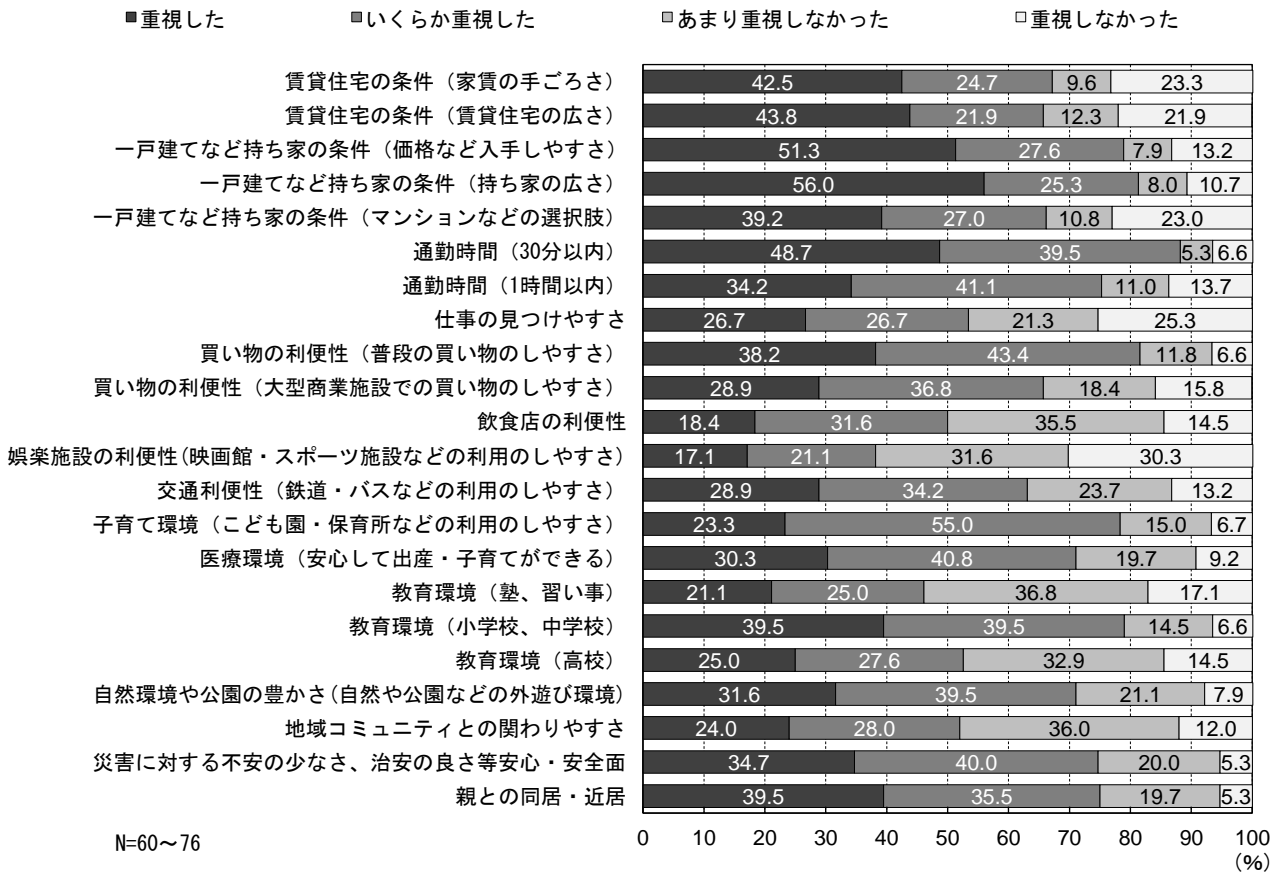
図Ⅱ－48 子どもの出生や成長などに伴っての引っ越しで住居地を決めたときの地域特性の重視（単数）

（男性）



図Ⅱ－４８（続き） 子どもの出生や成長などに伴っての引っ越しで住居地を決めたときの地域特性の重視(単数)

(女性)

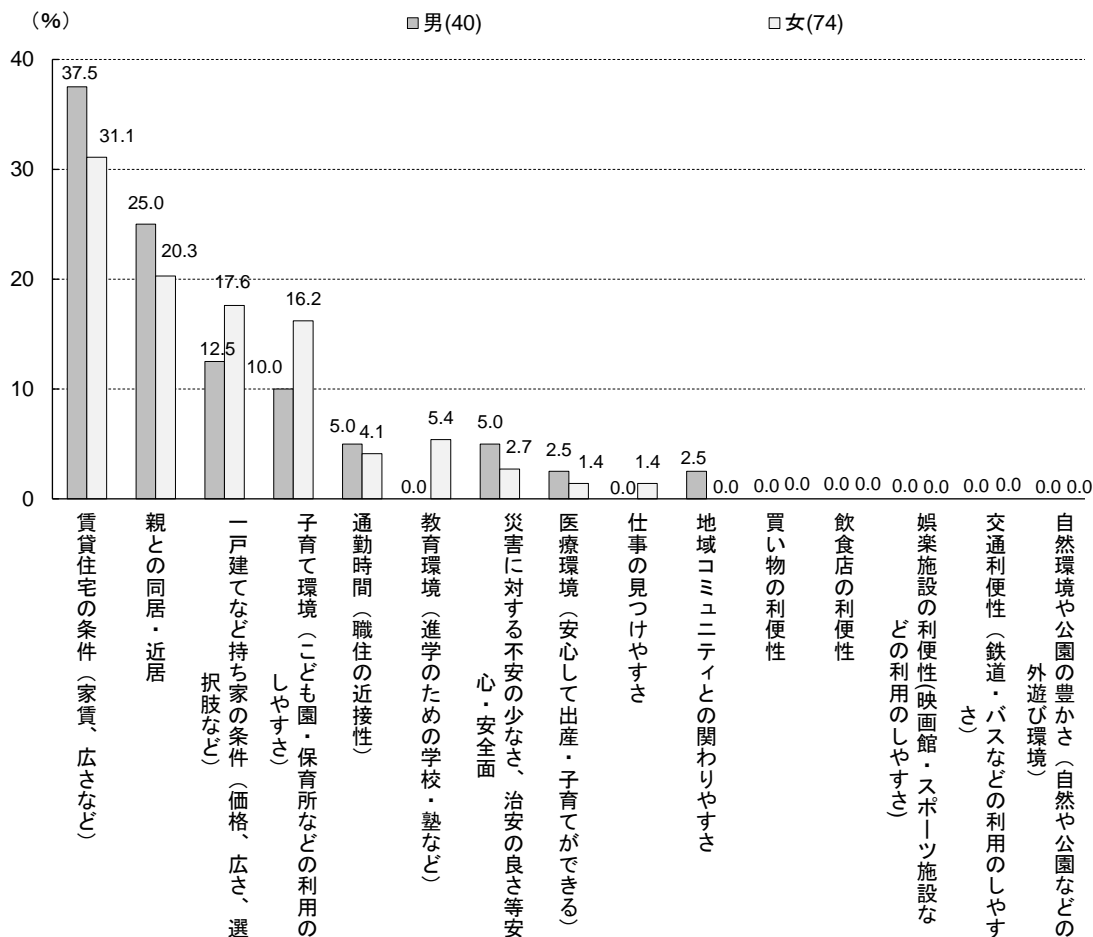


問4 2 問4 1で「1」または「2」に1つでも○印を付けられた方にお聞きます。

問4 1で「1（重視した）」または「2（いづれか重視した）」に○印を付けた地域特性のうち、子どもの出生や成長などに伴っての引っ越しで、住居地を選んだ一番の決め手はどれでしたか。

子どもの出生や成長などに伴っての引っ越しで住居地を選んだ一番の決め手について聞いたところ（図Ⅱ-49）、男女とも「賃貸住宅の条件（家賃、広さなど）」（男性37.5%、女性31.1%）という回答が最も多く、次いで、「親との同居・近居」（男性25.0%、女性20.3%）、「一戸建てなど持ち家の条件（価格、広さ、選択肢など）」（男性12.5%、女性17.6%）、「子育て環境（こども園・保育所などの利用のしやすさ）」（男性10.0%、女性16.2%）という回答が多い。

図Ⅱ-49 子どもの出生や成長などに伴っての引っ越しで住居地を選んだ一番の決め手(単数)



10 結婚、子どもを持つこと、地元との関わりなどへの意見に対する考えについて

問43 最後に、すべての方にお聞きします。

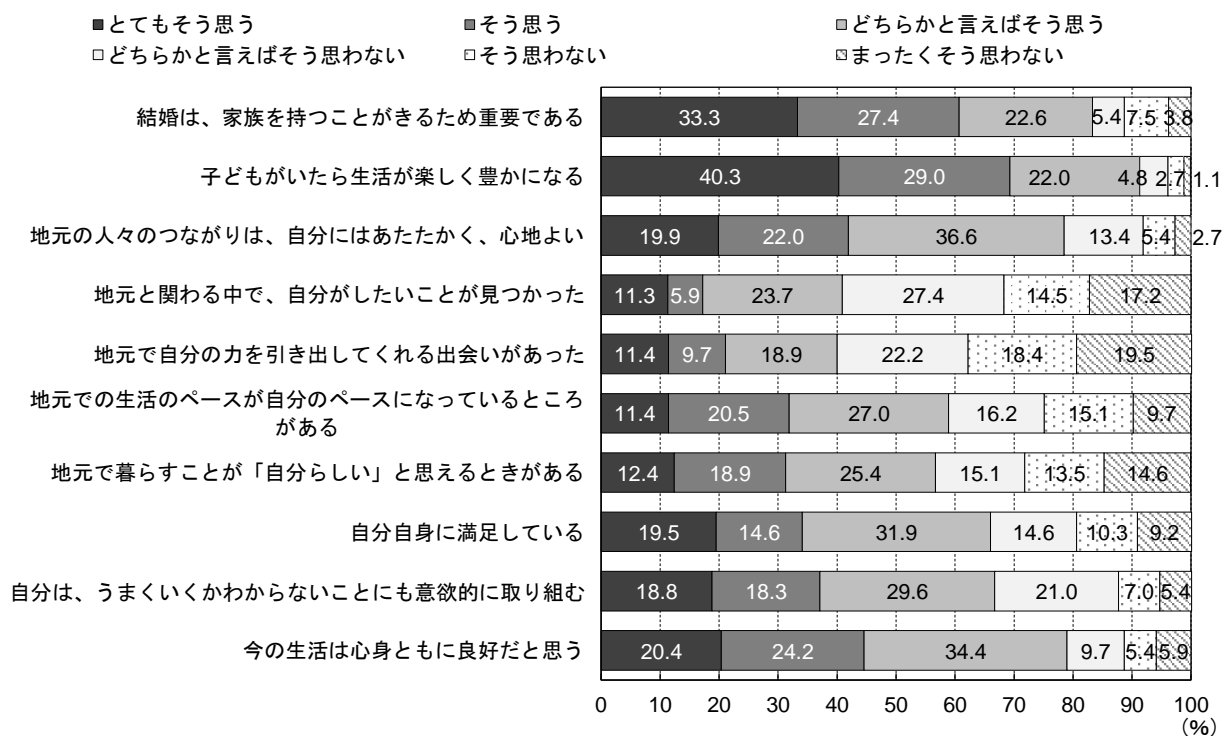
次の意見について、どのように考えられているかご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

結婚、子どもを持つこと、地元との関わりなどへの意見に対する考えについて聞いたところ(図Ⅱ-50)、「とてもそう思う」又は「そう思う」という回答の合計は、男女とも「子どもがいたら生活が楽しく豊かになる」(男性69.3%、女性63.7%)が最も多く、次いで、「結婚は、家族を持つことができるため重要である」(男性60.7%、女性47.4%)が多い。

また、「とてもそう思う」、「そう思う」、又は「どちらかと言えばそう思う」という回答の合計は、男女とも「子どもがいたら生活が楽しく豊かになる」(男性91.3%、女性90.3%)が最も多く、9割を超え、次いで、「結婚は、家族を持つことができるため重要である」(男性83.3%、女性80.1%)、「今の生活は心身ともに良好だと思う」(男性79.0%、女性75.7%)、「地元の人々とのつながりは、自分にはあたたかく、心地よい」(男性78.5%、女性72.8%)が多い。

図Ⅱ-50 結婚、子どもを持つこと、地元との関わりなどへの意見に対する考え(単数)

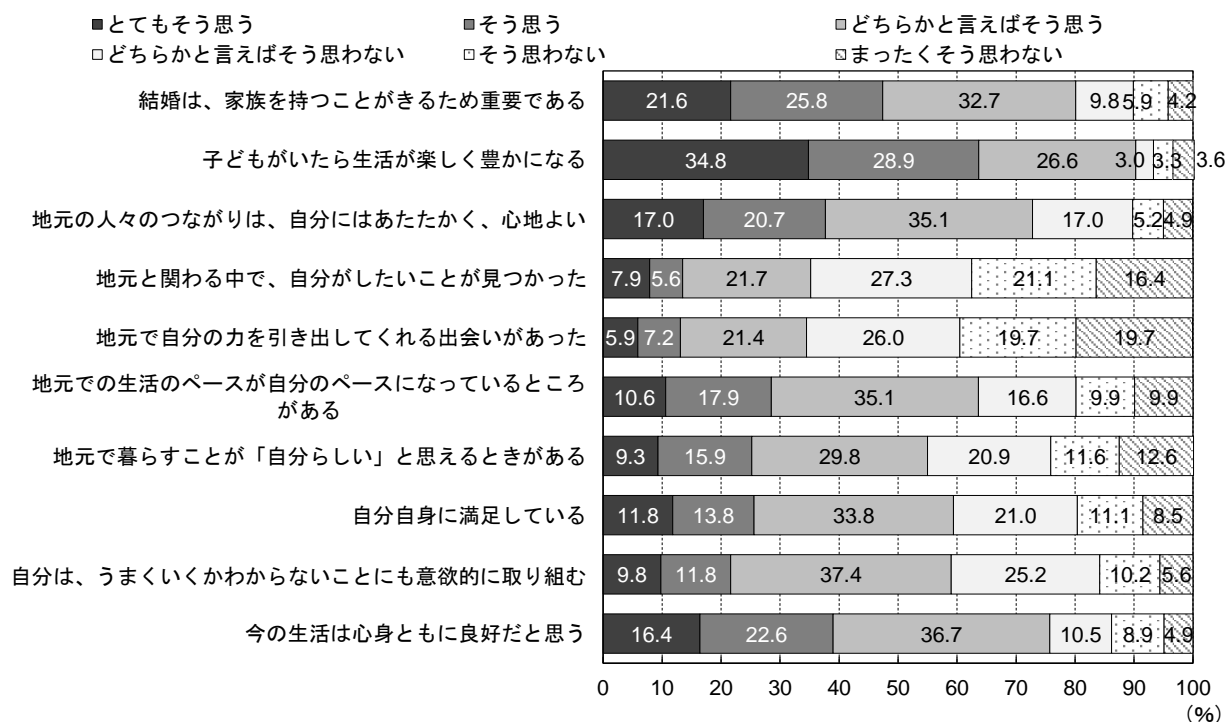
(男性)



N=185~186

図Ⅱ－５０（続き） 結婚、子どもを持つこと、地元との関わりなどへの意見に対する考え（単数）

（女性）



N=302~306

## Ⅱ－２ 結果分析

### 1 結婚について

#### (1) 結婚意思とその理由

結婚意思について聞いたところ、未婚男性の 82.7%、未婚女性の 81.1%に、結婚意思があり、8割を超えた。

また、「ある程度の年齢までに結婚したい」という回答は、未婚男性 29.6%、未婚女性 28.4%で、男女とも、約3割に、結婚に対する年齢志向（希望する結婚年齢がある）があることが分かる。

加えて、「年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい」という回答は、未婚男性 37.8%、未婚女性 40.5%で、男女とも、約4割に、相手志向（結婚したい相手が見つかることが結婚条件になる）があることが分かる。

年齢志向と相手志向を比べると、相手志向の割合が多い。相手志向は、年齢志向よりも結婚意欲が弱いと考えられ、結婚したい相手が見つかることが結婚条件となることから、出会いの機会をつくることが重要となることが分かる。

一方で、未婚男性の 15.3%、未婚女性の 18.3%に、結婚意思がなかった。このうち、「一生、結婚するつもりはない（生涯非婚）」という回答は、男性 10.2%、女性 8.8%で、約1割あった。ただし、国立社会保障・人口問題研究所が令和3年6月に実施した「第16回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」において、「一生結婚するつもりはない」と回答した未婚者は、男性 17.3%、女性 14.6%で、全国調査に比べると、低いことが分かる。

結婚意思がある者に、その理由を聞いたところ、男女とも「自分の子どもや家族を持てるから」（男性 49.0%、女性 55.4%）という回答が最も多かった。

結婚意思がない者に、その理由を聞いたところ、男女を合わせると、「結婚することを重視していないから」（男性 36.8%、女性 62.1%）という回答が最も多く、特に女性は6割を超え、結婚観が理由となっていることが分かる。次いで、「行動や生き方の自由が失われるから」（男性 31.6%、女性 48.3%）、「自分の時間が制約されるから」（男性 26.3%、女性 48.3%）、「家族を支える責任が生じ、気楽さが失われるから」（男性 42.1%、女性 20.7%）という回答が多かったが、男女で差があり、結婚に対する背景に、ジェンダーギャップがあることが考えられる。

#### (2) 理想の結婚年齢

理想の結婚年齢について聞いたところ、男性の 45.2%、女性の 60.1%に、理想の結婚年齢があった。男性に比べ、女性が約15ポイント高く、妊娠・出産、子育てを見据えた回答であることが考えられる。

また、理想の結婚年齢の平均値は、男性 27.9歳、女性 26.3歳で、男女とも、令和3年広島県人口動態統計年報における広島県の平均初婚年齢（男性 29.6歳、女性 28.4歳）を下回っている。これは、理想の結婚年齢において、結婚希望が実現できていない可能性があると考えられる。

#### (3) 結婚の見通しとその理由

結婚の見通しについて聞いたところ、「ほぼ、理想の年齢で結婚できそう」という回答は、

未婚男性 13.5%、未婚女性 12.3%で、約1割あった。

また、「結婚できそうにない」（未婚男性 28.1%、未婚女性 35.6%）又は「理想の年齢よりも遅くなりそう」（未婚男性 31.3%、未婚女性 27.4%）という回答を「結婚希望の実現困難」としてまとめると、2つの回答の合計は、未婚男性 59.4%、未婚女性 63.0%で、男女とも約6割あった。

「結婚希望の実現は困難」又は「結婚するつもりはない」と回答した未婚者に、その理由を聞いたところ、男女とも「結婚したいと思う相手と出会えそうにないから」（男性 58.3%、女性 62.1%）という回答が最も多く、出会いの機会をつくることが重要となることが分かる。次いで、男性では、「所得に不安があるから」（46.7%）という回答が多く、女性（18.4%）に比べ、約30ポイント高かった。所得が、男性の結婚の見通しに大きな影響を及ぼしていることが分かる。また、男女で差がある背景には、男女の役割分担意識があることが考えられる。

## 2 子どもを持つことについて

### (1) 希望の子ども数とその理由

希望の子ども数について聞いたところ、男女とも「二人」（男性 45.2%、女性 49.8%）という回答が最も多く、ほぼ半数を占めた。次いで、「三人」（男性 24.2%、女性 25.9%）という回答が多かった。

一方で、「子どもはほしくない」（男性 10.2%、女性 11.8%）という回答が、男女とも1割を超えた。

希望する子ども数の平均値を算出すると、男性 2.01人、女性 2.03人、全体では 2.02人となった。わが国における合計特殊出生率の人口置換水準（概ね 2.07）に近い数値となっており、低い数値でないことが分かる。

「希望の子ども数は一人以上」と回答した者に、その理由を聞いたところ、男女とも「生活が楽しく心が豊かになるから」（男性 57.1%、女性 52.0%）という回答が最も多く、次いで、「子どもが好きだから」（男性 41.0%、女性 44.6%）という回答が多かった。子どもを持つことがもたらす幸福感やウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること）が理由となっていることが分かる。

「希望の子ども数は一人」又は「子どもはほしくない」と回答した者に、その理由を聞いたところ、男性は、「金銭的な裕福さが失われるから」（52.4%）という回答が最も多く、次いで「子育てに自信がないから」（26.2%）という回答が多かった。女性は、「子育てに自信がないから」（44.3%）という回答が最も多く、次いで、「妊娠・出産に対して自信がないから」（34.4%）という回答が多かった。男性は、主に金銭面への影響、女性は、妊娠・出産、子育てへの不安が理由となっていることが分かる。また、女性の理由からは、プレコンセプションケア（妊娠前の健康管理）を含めた支援が必要であることが分かる。

### (2) 現実に持てると思う子ども数とその理由

現実に持てると思う子ども数について聞いたところ、希望の子ども数と同様で、男女とも「二人」（男性 41.7%、女性 49.4%）という回答が最も多かった。次いで、希望では、「三人」という回答が多かったが、現実では、「一人」（男性 25.7%、女性 19.1%）という回答が多くなり、希望に比べ、10ポイント以上増加した。

また、「子どもを持つ予定はない」（男性 15.0%、女性 14.0%）という回答も、希望に比べ増加した。

現実には持っていると思う子ども数の平均値を算出すると、男性 1.67 人、女性 1.74 人、全体では 1.71 人となり、希望に比べ、男性は 0.34 ポイント、女性は 0.29 ポイント、全体では 0.31 ポイント減少した。

「希望の子ども数は一人」、「子どもはほしくない」又は「現実には持っていると思う子ども数が希望の子ども数より少ない」と回答した者に、その理由を聞いたところ、男女を合わせると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（男性 39.5%、女性 53.1%）という回答が最も多く、次いで、「所得に不安があるから」（男性 44.7%、女性 38.8%）という回答が多かった。経済的負担が、現実には持っていると思う子ども数に大きな影響を及ぼしていることが分かる。

また、女性は、「妊娠・出産・子育ては肉体的・精神的な負担が大きいから」（44.9%）という回答が、2 番目に多く、男性に比べ、30 ポイント以上高かった。加えて、「自分に自信が持てないから」（32.7%）という回答も、男性に比べ、20 ポイント以上高かった。女性が、妊娠・出産、子育ての負担や不安を強く感じていること、また、プレコンセプションケア（妊娠前の健康管理）を含めた女性への支援が必要であることが分かる。

### 3 あなたのたどるライフコース（一生の間にとどる道筋）について

#### (1) 希望するライフコースで重視すること

希望するライフコースで重視することについて聞いたところ、男女とも「暮らしの穏やかさ、生活の落ち着き」（男性 96.3%、女性 96.5%）を最も重視し、次いで、男性は、「長く続けられる仕事を持つこと」（90.5%）、「多くの収入が得られること」（90.5%）、女性は、「背伸びしないで、自分に見合った仕事を持つこと」（93.9%）、「多くの収入が得られること」（91.4%）を重視していた。回答の割合は、いずれも 9 割を超え、男女とも、穏やかで落ち着いた暮らしを送るために、安定した仕事を持つことを望んでいることが分かる。

#### (2) 希望するライフコースの実現可能性

希望するライフコースの竹原市での実現可能性について聞いたところ、男性の 61.3%、女性の 60.5%が、「竹原市で希望するライフコースの実現は困難」と回答し、男女とも 6 割を超えた。この回答は、住んでいる地域への希望を表わしているとも考えることもできる。

### 4 男女の出会いについて

#### (1) 交際相手の有無

独身者に、交際相手の有無について聞いたところ、「いる」という回答は、男性 19.0%、女性の 31.7%にとどまり、男性の約 8 割、女性の約 7 割に交際相手がいなかった。

男性の 36.0%、女性の 22.4%は、「これまでも出会いの機会がなかった」と回答し、4 割近い男性に交際経験がないことが分かる。

#### (2) 交際や結婚につながる異性との出会い

既婚者と現在交際中の者に、現在の配偶者又は交際相手との出会いについて聞いたところ、男女を合わせると、「職場や仕事の関係で（アルバイトを含む）」（男性 26.0%、女性 29.9%）という回答が最も多く、次いで、「学校で」（男性 27.0%、女性 25.1%）、「友人や兄弟姉妹を



通じて」(男性 22.0%、女性 22.5%)という回答が多かった。職縁、学縁、地域縁が主な出会いとなっていることが分かる。

一方、現在独身で交際中でない者に、交際や結婚につながる異性との出会いについて聞いたところ、男女とも、全ての項目において、「ないと思う」という回答が、「あると思う」という回答を上回った。

「あると思う」という出会いでは、男女とも「SNS等、インターネットを通じて」(男性 47.4%、女性 46.8%)という回答が最も多く、約半数あった。SNSやマッチングアプリの普及などにより、出会いの機会が大きく変化していることが分かる。

また、現在独身で交際中でない者に、交際や結婚につながる異性との出会いが「ないと思う」理由を聞いたところ、男女を合わせると「自分が地域の交流活動に積極的でないから」(男性 36.4%、女性 51.1%)という回答が最も多く、次いで、「自分がスポーツ、文化、余暇等の活動を通じた交遊に積極的でないから」(男性 34.8%、女性 46.6%)、「友人が少ないから」(男性 37.9%、女性 36.4%)、「職場に若手の従業員が少ないから」(男性 30.3%、女性 39.8%)、「若者が出会い交流する地域活動が活発でないから」(男性 42.4%、女性 30.7%)という回答が多かった。男女とも、自分自身が積極的に活動しなければ、出会いはないと思っていることが分かり、出会いの機会をつくることが重要となることが分かる。

### (3) 出会いづくりの機会の利用希望

出会いづくりの機会の利用希望について聞いたところ、男女とも「民間の結婚相談」、「マッチングアプリ」、「公的な出会いづくりの場(市主催の婚活イベントなど)」のいずれの項目においても、「関心がない」という回答が最も多かった。

ただし、「関心がない」という回答を除くと、男女とも「利用したい」又は「機会があれば利用しても良い」という回答の合計が、「利用したくない」という回答を上回った。男性は「公的な出会いづくりの場(市主催の婚活イベントなど)」(44.9%)、女性は「マッチングアプリ」(42.6%)の利用希望が最も多かった。

また、「公的な出会いづくりの場(市主催の婚活イベントなど)」の利用希望者に、その理由を聞いたところ、男女とも「公的な機関が主催であれば安心感があるから」(男性 66.7%、女性 69.0%)という回答が最も多く、次いで、「地理的に遠くない人と知り合えるから」(男性 46.2%、女性 43.1%)という回答が多かった。「地理的に遠くない人と知り合えるから」という回答は、男女とも4割を超え、異性との出会いに、地理的な希望が影響していることが分かる。

## 5 ワークライフバランスについて

### (1) 職場での結婚、妊娠・出産、子育てと仕事の両立に対する配慮

会社等で働いている者に、職場での結婚、妊娠・出産、子育てと仕事の両立に対する配慮について聞いたところ、「結婚」(男性 75.3%、女性 84.5%)、「妊娠・出産」(男性 72.6%、女性 81.4%)、「子育て」(男性 74.2%、女性 81.8%)のいずれの項目においても、男性の7割以上、女性の8割以上が、「配慮がある」と回答した。

一方で、男性の2割以上、女性の2割近くが、「配慮が不足」又は「配慮がない」と回答し、ワークライフバランスの実現に課題も見られる。

## 6 就業と地域選択について

### (1) 初めて就業する地域の希望とその理由

初めて就業する地域の希望について聞いたところ、竹原市での就業希望は、男性 32.0%、女性 31.1%で、男女とも3割を超え、竹原市外での就業希望（男性 19.9%、女性 29.5%）を上回った。男性は、竹原市での就業希望が、10ポイント以上高かった。一方で、女性は、竹原市外での就業希望が約3割あり、男性に比べ、約10ポイント高かった。

また、男女とも「働きたい仕事であれば、働く地域にこだわりはなかった」（男性 48.1%、女性 39.5%）という回答が最も多く、男性では約半数近くあった。

### (2) 竹原市で働きたかった理由

竹原市での就業希望者に、その理由を聞いたところ、男性は、「竹原市にいたいと思っていたから」（44.6%）、女性は、「働きたい仕事が竹原市にあるなら、できれば竹原市がよいという気持ちがあったから」（44.6%）という回答が最も多かった。男女とも「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」という竹原市への愛着や地元志向が理由となっていることが分かる。

加えて、「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」という理由を聞いたところ、男性は、「自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから」（57.9%）という回答が最も多く、次いで、「親の近くにいたいと思ったから」（42.1%）という回答が多かった。男性の「自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから」という回答は、女性（20.5%）に比べ、約40ポイント高く、男性の方が、竹原市への愛着や地元志向が強いことが分かる。

女性は、「親の近くにいたいと思ったから」（41.1%）という回答が最も多く、次いで、「実家で暮らすことなどにより、経済的負担を小さくしたかったから」（37.0%）という回答が多かった。

### (3) 竹原市外で働きたかった理由

竹原市外での就業希望者に、その理由を聞いたところ、男性は、「竹原市外に出たいと思っていたから」（40.0%）という回答が最も多く、次いで、「竹原市外に暮らしたい地域があったから」（25.7%）という回答が多かった。

女性は、「竹原市外に就職したい企業、働きたい仕事があったから」（34.5%）という回答が最も多く、次いで、「竹原市外に出たいと思っていたから」（28.7%）という回答が多かった。女性の「竹原市外に就職したい企業、働きたい仕事があったから」という回答は、男性（14.3%）に比べ、20ポイント以上高く、女性が就職したい企業、働きたい仕事が、竹原市に少ない可能性が考えられる。

加えて、「竹原市外に出たい」という理由を聞いたところ、男女とも「自分自身に、何かしら竹原市を離れたい気持ちがあったから」（男性 40.0%、女性 40.4%）という回答が最も多く、4割あった。

### (4) 就業した地域の希望の実現状況とその理由

就業した地域について、「竹原市」、「竹原市外」の希望の実現状況について聞いたところ、男女とも「もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない」（男性 39.6%、女性 34.0%）という回答が最も多く、希望の問いへの回答と同様であった。

希望の実現状況で見ると、「希望どおり、竹原市で就業した」（男性 28.7%、女性 30.2%）又は「希望どおり、竹原市外で就業した」（13.4%、女性 16.5%）という回答の合計は、男性

42.1%、女性 46.7%で、男女とも 4 割以上が、希望を実現していた。

また、「希望とは異なって、竹原市外で就業した」（男性 9.8%、女性 9.1%）という回答も、男女とも約 1 割あった。

就業した地域が希望どおりにならなかった者に、その理由を聞いたところ、「その他」を除くと、男女とも「就職したい企業、働きたい仕事が多かったから」（男性 40.0%、女性 41.8%）という回答が最も多く、就業する地域の希望よりも就職したい企業や働きたい仕事を優先していることが分かる。

## 7 結婚と地域選択について

### (1) 結婚後に暮らし始める地域の希望とその理由

結婚後に暮らし始める地域の希望について聞いたところ、男女とも「竹原市」（男性 41.0%、女性 30.5%）という希望が、「竹原市外」（男性 15.1%、女性 22.1%）という希望を上回った。男性は、25 ポイント以上高く、「竹原市」の希望が強いことが分かる。

また、男女とも「結婚相手の希望に合わせるなど、結婚後に暮らす地域にこだわりはなかった」（男性 43.7%、女性 47.5%）という回答が最も多く、4 割を超えた。

### (2) 結婚後も竹原市で暮らしたかった理由

結婚後も竹原市で暮らすこと（結婚を機に竹原市に戻ることを希望した者に、その理由を聞いたところ、男性は、「竹原市にいたいと思っていたから」（60.7%）という回答が最も多く、次いで、「竹原市に結婚する相手がいたから」（27.9%）という回答が多かった。男性の「竹原市にいたいと思っていたから」という回答は、女性（34.2%）に比べ、25 ポイント以上高く、男性の方が、竹原市への愛着や地元志向が強いことが分かる。

女性は、「竹原市に結婚する相手がいたから」（48.1%）という回答が最も多く、次いで、「竹原市にいたいと思っていたから」（34.2%）という回答が多かった。女性の「竹原市に結婚する相手がいたから」という回答は、男性（27.9%）に比べ、20 ポイント以上高く、女性の方が、結婚後に暮らし始める地域を結婚相手に合わせる傾向が強いことが分かる。

加えて、「竹原市がよい」、「竹原市にいたい」という理由を聞いたところ、男性は、「自分自身に何かしら竹原市にいたいという考えがあったから」（50.0%）という回答が最も多く、次いで、「親の近くにいたいと思ったから」（35.7%）という回答が多かった。

女性は、「親の近くにいたいと思ったから」（69.2%）という回答が最も多く、次いで、「自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから」（38.5%）、「結婚後、出産や子育てでメリットがあると思ったから」（30.8%）という回答が多かった。女性の「親の近くにいたいと思ったから」、「結婚後、出産や子育てでメリットがあると思ったから」という回答は、男性に比べ、約 30 ポイント高く、女性は、親との同居・近居など、出産や子育てのことを考え、結婚後に暮らし始める地域を希望する可能性があることが考えられる。

### (3) 結婚後に竹原市外で暮らしたかった理由

結婚後に竹原市外で暮らすこと（結婚を機に竹原市に戻らないこと）を希望した者に、その理由を聞いたところ、男女とも「竹原市外に暮らしたい地域があったから」（男性 36.4%、女性 38.2%）という回答が最も多かった。

「結婚相手が暮らしている地域が竹原市外だったから」（男性 4.5%、女性 27.3%）という

回答は、女性が20ポイント以上高く、女性の方が、結婚後に暮らし始める地域を結婚相手に合わせる傾向が強いことが分かる。

加えて、「竹原市外に出たい」という理由を聞いたところ、男女とも「結婚後、子育てでメリットがあると思ったから」（男性33.3%、女性50.0%）という回答が最も多く、次いで、「結婚後、就業や仕事を続ける上でメリットがあると思ったから」（男性33.3%、女性47.5%）という回答が多かった。女性の回答は、男性に比べ、約15ポイント高く、竹原市外に出ることと想定されるメリットが理由となっていることが分かる。

#### (4) 結婚後に暮らした地域の希望の実現状況

結婚後に暮らし始めた地域について、「竹原市」、「竹原市外」の希望の実現状況について聞いたところ、男性は、「希望どおり、竹原市で暮らし始めた」（42.2%）という回答が最も多く、次いで、「もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない」（36.1%）という回答が多かった。

女性は、「もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない」（46.3%）という回答が最も多く、次いで、「希望どおり、竹原市で暮らし始めた」（28.4%）という回答が多かった。

「もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない」という回答は、男性では4割近くあり、女性では4割を超えた。

希望の実現状況で見ると、「希望どおり、竹原市で暮らし始めた」（男性42.2%、女性28.4%）又は「希望どおり、竹原市外で暮らし始めた」（男性3.6%、女性5.6%）という回答の合計は、男性45.8%、女性34.0%で、男性は、半数近くが希望を実現していた。女性は、男性に比べ、10ポイント以上低く、女性の方が、結婚後に暮らし始める地域を結婚相手に合わせる傾向が強いためであると考えられる。

#### (5) 結婚後に暮らし始めた地域

結婚後に暮らし始めた地域について聞いたところ、市内では、男女とも「竹原地域」（男性70.4%、女性69.1%）という回答が最も多く、約7割あった。事業所や賃貸住宅などが、市中心部である「竹原地域」に集中しているためであると考えられる。

市民意識調査であることから、市外という回答は少なかったが、市外では、男性は「広島市」（21.4%）、女性は「県外」（34.6%）という回答が最も多かった。

## 8 結婚や子どもの成長に伴う住居地の選択について

### (1) 結婚時の住居地を決めたときの地域特性の重視

結婚時の住居地を決めたときに、重視した地域特性について聞いたところ、男女とも「賃貸住宅の条件（家賃の手ごろさ）」（男性86.5%、女性90.2%）という回答が最も多く、次いで、「賃貸住宅の条件（賃貸住宅の広さ）」（男性86.5%、女性89.1%）、「買い物の利便性（普段の買い物のしやすさ）」（男性79.2%、女性85.6%）、「通勤時間（30分以内）」（男性77.9%、女性84.1%）という回答が多かった。

また、重視した地域特性のうち、結婚時の住居地を選んだ一番の決め手について聞いたところ、男女とも「賃貸住宅の条件（家賃、広さなど）」（男性39.8%、女性37.7%）という回答が最も多く、次いで、男女を合わせると、「通勤時間（職住の近接性）」（男性18.1%、女性21.9%）、「親との同居・近居」（男性22.9%、女性19.2%）という回答が多かった。

「賃貸住宅の条件（家賃、広さなど）」という回答が、男女とも約4割あり、結婚時の住居地選択では、家賃の手ごろさなど、経済的負担を重視していることが考えられる。

(2) 子どもの出生や成長などに伴う引っ越しの有無とその地域

子どもの出生や成長などに伴う引っ越しの有無について聞いたところ、「子どもの出生や成長に伴って、引っ越しをした（引っ越しをしたい）」又は「子どもの出生や成長以外の子どもの理由により、引っ越しをした（引っ越しをしたい）」という回答の合計は、男性61.8%、女性58.6%で、約6割あり、「子どもが理由で引っ越しをしたことはない（引っ越しをする考えはない）」（男性38.2%、女性41.4%）という回答を上回った。

結婚に加え、子どもの出生や成長なども、住居地を変える一つの機会となっていることが分かる。

また、子どもの出生や成長などに伴う引っ越し後に暮らし始めた地域について聞いたところ、市内では、男女とも「竹原地域」（男性73.3%、女性70.9%）という回答が最も多く、7割を超えた。事業所や賃貸住宅、整備された住宅用地などが、市中心部である「竹原地域」に集中しているためであると考えられる。

市民意識調査であることから、市外という回答は少なかった。

(3) 子どもの出生や成長などに伴う引っ越しで住居地を決めたときの地域特性の重視

子どもの出生や成長などに伴う引っ越しで住居地を決めたときに、重視した地域特性について聞いたところ、男性は、「一戸建てなど持ち家の条件（持ち家の広さ）」（89.7%）という回答が最も多く、次いで、「災害に対する不安の少なさ、治安の良さ等安心・安全面」（87.2%）、「一戸建てなど持ち家の条件（価格など入手しやすさ）」（84.6%）、「通勤時間（30分以内）」（82.5%）、「教育環境（小学校、中学校）」（79.5%）という回答が多かった。

女性は、「通勤時間（30分以内）」（88.2%）という回答が最も多く、次いで、「買い物の利便性（普段の買い物のしやすさ）」（81.6%）、「一戸建てなど持ち家の条件（持ち家の広さ）」（81.3%）、「教育環境（小学校、中学校）」（79.0%）、「一戸建てなど持ち家の条件（価格など入手しやすさ）」（78.9%）という回答が多かった。

結婚時とは異なり、「一戸建てなど持ち家の条件」や「教育環境（小学校、中学校）」なども重視していることが分かる。

また、重視した地域特性のうち、子どもの出生や成長などに伴う引っ越しで住居地を選んだ一番の決め手について聞いたところ、男女とも「賃貸住宅の条件（家賃、広さなど）」（男性37.5%、女性31.1%）という回答が最も多く、次いで、「親との同居・近居」（男性25.0%、女性20.3%）、「一戸建てなど持ち家の条件（価格、広さ、選択肢など）」（男性12.5%、女性17.6%）という回答が多かった。

結婚時の回答に比べ、「親との同居・近居」、「一戸建てなど持ち家の条件（価格、広さ、選択肢など）」の回答の割合が増えており、子どもの出生や成長などに伴う住居地選択では、子育てしやすい環境を重視していることが分かる。

## 9 結婚、子どもを持つこと、地元との関わりなどへの意見に対する考えについて

(1) 結婚、子どもを持つこと、地元との関わりなどへの意見に対する考え

結婚、子どもを持つこと、地元との関わりなどへの意見に対する考えについて聞いたとこ

ろ、男女とも「子どもがいたら生活が楽しく豊かになる」（男性 91.3%、女性 90.3%）という意見への賛同が最も多く、9割を超え、次いで、「結婚は、家族を持つことができるため重要である」（男性 83.3%、女性 80.1%）、「今の生活は心身ともに良好だと思う」（男性 79.0%、女性 75.7%）、「地元の人々とのつながりは、自分にはあたたかく、心地よい」（男性 78.5%、女性 72.8%）という意見への賛同が多かった。

結婚、家族、子どもを持つこと、また、地元での居心地のよさや今の生活について、肯定的な考えが多いことが分かる。

## II - 3 資 料

## 1 回答者の属性

### 年齢

(実数)

(人)

性別	全体	18～ 19歳	20～ 21歳	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳	40～ 41歳	42～ 43歳	44～ 45歳	46～ 47歳	48～ 49歳
男	189	11	17	13	15	13	8	20	19	20	27	26	-	-	-	-	-
女	314	19	21	21	24	23	18	35	33	28	37	49	3	1	2	-	-
合計	503	30	38	34	39	36	26	55	52	48	64	75	3	1	2	-	-

(構成比)

(%)

性別	全体	18～ 19歳	20～ 21歳	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳	40～ 41歳	42～ 43歳	44～ 45歳	46～ 47歳	48～ 49歳
男	100.0	5.8	9.0	6.9	7.9	6.9	4.2	10.6	10.1	10.6	14.3	13.8	-	-	-	-	-
女	100.0	6.1	6.7	6.7	7.6	7.3	5.7	11.1	10.5	8.9	11.8	15.6	1.0	0.3	0.6	-	-
合計	100.0	6.0	7.6	6.8	7.8	7.2	5.2	10.9	10.3	9.5	12.7	14.9	0.6	0.2	0.4	-	-

### 竹原市居住年数

(実数)

(人)

性別	全体	4年 未満	5～ 9年	10～ 14年	15～ 19年	20～ 24年	25～ 29年	30～ 34年	35～ 39年	40～ 44年	45～ 49年
男	188	39	21	12	22	30	28	18	18	-	-
女	310	69	37	29	30	49	35	33	26	2	-
合計	498	108	58	41	52	79	63	51	44	2	-

(構成比)

(%)

性別	全体	4年 未満	5～ 9年	10～ 14年	15～ 19年	20～ 24年	25～ 29年	30～ 34年	35～ 39年	40～ 44年	45～ 49年
男	100.0	20.7	11.2	6.4	11.7	16.0	14.9	9.6	9.6	-	-
女	100.0	22.3	11.9	9.4	9.7	15.8	11.3	10.6	8.4	0.6	-
合計	100.0	21.7	11.6	8.2	10.4	15.9	12.7	10.2	8.8	0.4	-



## 出身地

(実数)

(人)

性別	全体	竹原市	竹原市以外
男	185	108	77
女	303	184	119
合計	488	292	196

(構成比)

(%)

性別	全体	竹原市	竹原市以外
男	100.0	58.4	41.6
女	100.0	60.7	39.3
合計	100.0	59.8	40.2

## 現在の居住地

(実数)

(人)

性別	全体	竹原地域	北部地域	吉名地域	大乘地域	忠海地域
男	186	124	20	10	6	26
女	313	192	44	22	19	36
合計	499	316	64	32	25	62

(構成比)

(%)

性別	全体	竹原地域	北部地域	吉名地域	大乘地域	忠海地域
男	100.0	66.7	10.8	5.4	3.2	14.0
女	100.0	61.3	14.1	7.0	6.1	11.5
合計	100.0	63.3	12.8	6.4	5.0	12.4

## 就労状況

(実数)

(人)

性別	全体	正規の職員・従業員	会社などの役員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約職員	自営業主・家族従業者	家庭での内職	失業中	家事	学生	その他
男	190	130	2	11	6	9	-	6	-	23	3
女	313	139	1	68	14	5	1	9	37	34	5
合計	503	269	3	79	20	14	1	15	37	57	8

(構成比)

(%)

性別	全体	正規の職員・従業員	会社などの役員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約職員	自営業主・家族従業者	家庭での内職	失業中	家事	学生	その他
男	100.0	68.4	1.1	5.8	3.2	4.7	-	3.2	-	12.1	1.6
女	100.0	44.4	0.3	21.7	4.5	1.6	0.3	2.9	11.8	10.9	1.6
合計	100.0	53.5	0.6	15.7	4.0	2.8	0.2	3.0	7.4	11.3	1.6

## 昨年の年収

(実数)

(人)

性別	全体	100万円未満	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円以上	なし
男	187	13	9	17	33	47	25	15	-	2	1	1	24
女	307	64	45	54	58	21	11	2	1	-	-	-	51
合計	494	77	54	71	91	68	36	17	1	2	1	1	75

(構成比)

(%)

性別	全体	100万円未満	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円以上	なし
男	100.0	7.0	4.8	9.1	17.6	25.1	13.4	8.0	-	1.1	0.5	0.5	12.8
女	100.0	20.8	14.7	17.6	18.9	6.8	3.6	0.7	0.3	-	-	-	16.6
合計	100.0	15.6	10.9	14.4	18.4	13.8	7.3	3.4	0.2	0.4	0.2	0.2	15.2

## 配偶者の状況

(実数)

(人)

性別	全体	未婚（結婚したことがない）	配偶者あり	配偶者なし（離別・死別）
男	187	99	84	4
女	312	148	148	16
合計	499	247	232	20

(構成比)

(%)

性別	全体	未婚（結婚したことがない）	配偶者あり	配偶者なし（離別・死別）
男	100.0	52.9	44.9	2.1
女	100.0	47.4	47.4	5.1
合計	100.0	49.5	46.5	4.0

## 就業場所

(実数)

(人)

性別	全体	市内						市外					
		竹原地域	北部地域	吉名地域	大乘地域	忠海地域	その他	東広島市	広島市	三原市	福山市	呉市	その他
男	165	79	6	1	1	13	1	17	3	28	-	6	10
女	255	131	10	8	3	27	-	34	5	28	-	6	3
合計	420	210	16	9	4	40	1	51	8	56	-	12	13

(構成比)

(%)

性別	全体	市内						市外					
		竹原地域	北部地域	吉名地域	大乘地域	忠海地域	その他	東広島市	広島市	三原市	福山市	呉市	その他
男	100.0	47.9	3.6	0.6	0.6	7.9	0.6	10.3	1.8	17.0	-	3.6	6.1
女	100.0	51.4	3.9	3.1	1.2	10.6	-	13.3	2.0	11.0	-	2.4	1.2
合計	100.0	50.0	3.8	2.1	1.0	9.5	0.2	12.1	1.9	13.3	-	2.9	3.1

### 通勤時間（片道）

（実数）

（人）

性別	全体	10分未満	10～19分	20～29分	30～39分	40～49分	50～59分	60分以上
男	153	38	49	18	22	11	6	9
女	227	47	72	50	25	16	4	13
合計	380	85	121	68	47	27	10	22

（構成比）

（%）

性別	全体	10分未満	10～19分	20～29分	30～39分	40～49分	50～59分	60分以上
男	100.0	24.8	32.0	11.8	14.4	7.2	3.9	5.9
女	100.0	20.7	31.7	22.0	11.0	7.0	1.8	5.7
合計	100.0	22.4	31.8	17.9	12.4	7.1	2.6	5.8

### 主な交通手段

（実数）

（人）

性別	全体	徒歩	自転車	自動車・バイク	鉄道・バス	その他	通勤なし
男	167	25	24	103	7	2	6
女	255	45	19	169	9	3	10
合計	422	70	43	272	16	5	16

（構成比）

（%）

性別	全体	徒歩	自転車	自動車・バイク	鉄道・バス	その他	通勤なし
男	100.0	15.0	14.4	61.7	4.2	1.2	3.6
女	100.0	17.6	7.5	66.3	3.5	1.2	3.9
合計	100.0	16.6	10.2	64.5	3.8	1.2	3.8

## 初婚年齢

(実数)

(人)

性別	全体	16～ 17歳	18～ 19歳	20～ 21歳	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳	40～ 41歳	42～ 43歳	44～ 45歳	46～ 47歳
男	85	-	-	5	9	15	20	14	12	8	2	-	-	-	-	-	-
女	162	2	4	15	12	40	31	27	12	9	6	3	-	-	1	-	-
合計	247	2	4	20	21	55	51	41	24	17	8	3	-	-	1	-	-

(構成比)

(%)

性別	全体	18～ 19歳	18～ 19歳	20～ 21歳	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳	40～ 41歳	42～ 43歳	44～ 45歳	46～ 47歳
男	100.0	-	-	5.9	10.6	17.6	23.5	16.5	14.1	9.4	2.4	-	-	-	-	-	-
女	100.0	1.2	2.5	9.3	7.4	24.7	19.1	16.7	7.4	5.6	3.7	1.9	-	-	0.6	-	-
合計	100.0	0.8	1.6	8.1	8.5	22.3	20.6	16.6	9.7	6.9	3.2	1.2	-	-	0.4	-	-

## 配偶者の年齢

(実数)

(人)

性別	全体	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳	40～ 41歳	42～ 43歳	44～ 45歳	46～ 47歳	48～ 49歳	50～ 51歳	52～ 53歳
男	82	-	4	10	8	14	9	6	16	7	5	3	-	-	-	-	-
女	143	2	4	8	7	12	15	25	15	17	16	4	7	5	2	2	2
合計	225	2	8	18	15	26	24	31	31	24	21	7	7	5	2	2	2

(構成比)

(%)

性別	全体	22～ 23歳	24～ 25歳	26～ 27歳	28～ 29歳	30～ 31歳	32～ 33歳	34～ 35歳	36～ 37歳	38～ 39歳	40～ 41歳	42～ 43歳	44～ 45歳	46～ 47歳	48～ 49歳	50～ 51歳	52～ 53歳
男	100.0	-	4.9	12.2	9.8	17.1	11.0	7.3	19.5	8.5	6.1	3.7	-	-	-	-	-
女	100.0	1.4	2.8	5.6	4.9	8.4	10.5	17.5	10.5	11.9	11.2	2.8	4.9	3.5	1.4	1.4	1.4
合計	100.0	0.9	3.6	8.0	6.7	11.6	10.7	13.8	13.8	10.7	9.3	3.1	3.1	2.2	0.9	0.9	0.9

## 配偶者の就労状況

(実数)

(人)

性別	全体	正規の職員・従業員	会社などの役員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約職員	自営業主・家族従業者	家庭での内職	失業中	家事	学生	その他
男	117	69	-	26	1	3	-	1	17	-	-
女	215	190	6	3	1	10	-	1	1	-	3
合計	332	259	6	29	2	13	-	2	18	-	3

(構成比)

(%)

性別	全体	正規の職員・従業員	会社などの役員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約職員	自営業主・家族従業者	家庭での内職	失業中	家事	学生	その他
男	100.0	59.0	-	22.2	0.9	2.6	-	0.9	14.5	-	-
女	100.0	88.4	2.8	1.4	0.5	4.7	-	0.5	0.5	-	1.4
合計	100.0	78.0	1.8	8.7	0.6	3.9	-	0.6	5.4	-	0.9

## 配偶者の昨年の年収

(実数)

(人)

性別	全体	100万円未満	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円以上	なし
男	82	23	11	11	17	6	3	-	1	-	-	-	10
女	131	-	1	10	32	40	28	13	4	1	1	1	-
合計	213	23	12	21	49	46	31	13	5	1	1	1	10

(構成比)

(%)

性別	全体	100万円未満	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円以上	なし
男	100.0	28.0	13.4	13.4	20.7	7.3	3.7	-	1.2	-	-	-	12.2
女	100.0	-	0.8	7.6	24.4	30.5	21.4	9.9	3.1	0.8	0.8	0.8	-
合計	100.0	10.8	5.6	9.9	23.0	21.6	14.6	6.1	2.3	0.5	0.5	0.5	4.7

## 子どもの数

(実数)

(人)

性別	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人
男	178	107	25	28	13	3	2
女	304	160	46	65	25	7	1
合計	482	267	71	93	38	10	3

(構成比)

(%)

性別	全体	0人	1人	2人	3人	4人	5人
男	100.0	60.1	14.0	15.7	7.3	1.7	1.1
女	100.0	52.6	15.1	21.4	8.2	2.3	0.3
合計	100.0	55.4	14.7	19.3	7.9	2.1	0.6

## 一番下の子どもの年齢

(実数)

(人)

性別	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13～18歳
男	69	15	15	11	5	2	8	3	2	1	3	1	1	-	2
女	141	27	24	12	13	19	16	7	5	3	2	3	3	3	4
合計	210	42	39	23	18	21	24	10	7	4	5	4	4	3	6

(構成比)

(%)

性別	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13～18歳
男	100.0	21.7	21.7	15.9	7.2	2.9	11.6	4.3	2.9	1.4	4.3	1.4	1.4	-	2.9
女	100.0	19.1	17.0	8.5	9.2	13.5	11.3	5.0	3.5	2.1	1.4	2.1	2.1	2.1	2.8
合計	100.0	20.0	18.6	11.0	8.6	10.0	11.4	4.8	3.3	1.9	2.4	1.9	1.9	1.4	2.9

### 最初の子どもを持ったときの年齢（本人）

（実数）

（人）

性別	全体	20歳未満	20～21歳	22～23歳	24～25歳	26～27歳	28～29歳	30～31歳	32～33歳	34～35歳	36～37歳	38～39歳	40歳以上
男	70	-	1	8	5	13	12	13	8	6	3	1	-
女	140	5	12	12	12	35	21	16	12	9	5	-	1
合計	210	5	13	20	17	48	33	29	20	15	8	1	1

（構成比）

（%）

性別	全体	20歳未満	20～21歳	22～23歳	24～25歳	26～27歳	28～29歳	30～31歳	32～33歳	34～35歳	36～37歳	38～39歳	40歳以上
男	100.0	-	1.4	11.4	7.1	18.6	17.1	18.6	11.4	8.6	4.3	1.4	-
女	100.0	3.6	8.6	8.6	8.6	25.0	15.0	11.4	8.6	6.4	3.6	-	0.7
合計	100.0	2.4	6.2	9.5	8.1	22.9	15.7	13.8	9.5	7.1	3.8	0.5	0.5

### 最初の子どもを持ったときの年齢（配偶者）

（実数）

（人）

性別	全体	20歳未満	20～21歳	22～23歳	24～25歳	26～27歳	28～29歳	30～31歳	32～33歳	34～35歳	36～37歳	38～39歳	40歳以上
男	70	1	1	9	7	18	9	13	4	2	5	1	-
女	129	2	5	8	14	22	14	21	14	12	5	4	8
合計	199	3	6	17	21	40	23	34	18	14	10	5	8

（構成比）

（%）

性別	全体	20歳未満	20～21歳	22～23歳	24～25歳	26～27歳	28～29歳	30～31歳	32～33歳	34～35歳	36～37歳	38～39歳	40歳以上
男	100.0	1.4	1.4	12.9	10.0	25.7	12.9	18.6	5.7	2.9	7.1	1.4	-
女	100.0	1.6	3.9	6.2	10.9	17.1	10.9	16.3	10.9	9.3	3.9	3.1	6.2
合計	100.0	1.5	3.0	8.5	10.6	20.1	11.6	17.1	9.0	7.0	5.0	2.5	4.0



## 親との同居や近居の状況

(実数)

(人)

性別	全体	自分または配偶者の親と同居している	自分または配偶者の親と日常的に行き来できるところに住んでいる	自分または配偶者の親と日常的に行き来できるところに住んでいない	自分、配偶者の両親とも亡くなった
男	137	40	68	29	-
女	225	73	120	32	-
合計	362	113	188	61	-

(構成比)

(%)

性別	全体	自分または配偶者の親と同居している	自分または配偶者の親と日常的に行き来できるところに住んでいる	自分または配偶者の親と日常的に行き来できるところに住んでいない	自分、配偶者の両親とも亡くなった
男	100.0	29.2	49.6	21.2	-
女	100.0	32.4	53.3	14.2	-
合計	100.0	31.2	51.9	16.9	-

## 住居形態

(実数)

(人)

性別	全体	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンションなど集合住宅）	民間の賃貸（一戸建て）	民間の賃貸（アパート、マンションなどの集合住宅）	公営住宅（市・県営住宅）	社宅、公務員住宅	その他
男	139	88	2	2	34	1	10	2
女	229	145	-	8	54	8	12	2
合計	368	233	2	10	88	9	22	4

(構成比)

(%)

性別	全体	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンションなど集合住宅）	民間の賃貸（一戸建て）	民間の賃貸（アパート、マンションなどの集合住宅）	公営住宅（市・県営住宅）	社宅、公務員住宅	その他
男	100.0	63.3	1.4	1.4	24.5	0.7	7.2	1.4
女	100.0	63.3	-	3.5	23.6	3.5	5.2	0.9
合計	100.0	63.3	0.5	2.7	23.9	2.4	6.0	1.1

## 竹原市の少子化対策の取組に生かします 結婚、出産、子育てに関する意識調査

### ●本調査の趣旨とご協力をお願い●

平素から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

人口減少、少子高齢化が進展する中で、本市においても、出生率の低下、出生数の減少が大きな課題となっています。そこで、少子化対策を検討するに当たり、現在、本市にお住まいの皆様のご結婚、出産、子育てに関するご意見などを施策に生かすため、意識調査を実施することといたしました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和5年8月 竹原市

### 【本調査について】

- 本調査は、竹原市に在住する18歳から39歳の方2,500人を無作為に抽出し、ご協力をお願いしております。封筒の宛名の方がご回答くださいますようお願いいたします。
- 本調査は、令和5年8月31日現在の状況をご回答ください。
- 本調査は、お名前をご記入いただく必要はありません。本調査により個人が特定されることはありません。

### 【回答方法について】

- 本調査票に直接記入いただく方法のほか、パソコン、スマートフォン、タブレット等を使用してオンラインにより簡単に回答することもできます。
- ご回答は、数字を記入したり、選択肢を選んだりするようになっています。ご自身のことに最も近いと思われる選択肢の番号をご回答ください。

### 【返送・入力方法について】

- 本調査票に直接ご記入いただいた場合は、お手数ではございますが、同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。切手は不要です。
- オンラインで回答される場合は、下記のURLを入力して回答ページにアクセスされるか、QRコード®※によりアクセスしてください。  
URL <https://www.city.takehara.lg.jp/cgi-bin/inquiry.php/66>



※QRコード®は、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- ◆**令和5年9月15日（金）まで**にご返送（ご回答）いただきますようお願いいたします。  
調査票への記入かオンラインでの入力か、どちらか1つを選んでご回答ください。

### 【問い合わせ】

竹原市総務企画部企画政策課 TEL0846-22-0942（直通） 担当：平本、大川

# 1. あなたご自身について

問1 あなたご自身の状況についてご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

質 問	選 択 肢			
(1)性別	1. 男                      2. 女			
(2)年齢	(                      ) 歳			
(3)竹原市居住年数	(                      ) 年			
(4)出身地	1. 竹原市 ※小学校・中学校・高校の期間を主に竹原市で過ごした方 2. 竹原市以外			
(5)現在お住まいの地域	1. 竹原地域 (中央、本町、田ノ浦、港町、塩町、竹原町、下野町、小梨町) 2. 北部地域 (東野町、新庄町、西野町、仁賀町、田万里町) 3. 吉名地域              4. 大乘地域 (高崎町、福田町)              5. 忠海地域			
(6)お仕事の状況 (主なものを1つ)	1. 正規の職員・従業員 2. 会社などの役員 3. パート・アルバイト 4. 派遣・嘱託・契約職員 5. 自営業主・家族従業者		6. 家庭での内職 } 問1(9)~(11)も 7. 失業中 8. 家事 9. 学生 10. その他	
(7)昨年の年収 (税込)	1. 100万円未満	4. 300万円台	7. 600万円台	10. 900万円台
	2. 100万円台	5. 400万円台	8. 700万円台	11. 1,000万円以上
	3. 200万円台	6. 500万円台	9. 800万円台	12. なし
(8)配偶者の状況	1. 未婚 (結婚したことがない)		3. 配偶者なし (離別・死別)	
	2. 配偶者あり			
<b>【現在働かれている方は、以下の(9)~(11)もご回答ください。】</b>				
(9)おつとめの場所	市内	1. 竹原地域 (中央、本町、田ノ浦、港町、塩町、竹原町、下野町、小梨町) 2. 北部地域 (東野町、新庄町、西野町、仁賀町、田万里町) 3. 吉名地域              4. 大乘地域 (高崎町、福田町)              5. 忠海地域		
	市外	(                      ) 都・道・府・県 (                      ) 市・区・町・村		
(10)通勤時間 (片道)	(                      ) 分 (通勤がない場合は「0」を記入)			
(11)主な通勤手段	1. 徒歩                                      3. 自動車・バイク              5. その他 (                      ) 2. 自転車                                      4. 鉄道・バス                      6. 通勤なし			

問2 **結婚されたことがある方、現在結婚されている方にお聞きします。(問1(8)で「2.」または「3.」に○印を付けられた方)**

あなたの初婚年齢及び配偶者の状況についてご回答ください。(○印は1つだけ)

質 問	選 択 肢			
(1)あなたの初婚年齢	(                      ) 歳			
<b>【現在結婚されている方は、以下の(2)~(4)もご回答ください。】</b>				
(2)配偶者の現在の年齢	(                      ) 歳			
(3)配偶者のお仕事の状況	1. 正規の職員・従業員 2. 会社などの役員 3. パート・アルバイト 4. 派遣・嘱託・契約職員 5. 自営業主・家族従業者		6. 家庭での内職 7. 失業中 8. 家事 9. 学生 10. その他	
(4)配偶者の昨年の年収 (税込)	1. 100万円未満	4. 300万円台	7. 600万円台	10. 900万円台
	2. 100万円台	5. 400万円台	8. 700万円台	11. 1,000万円以上
	3. 200万円台	6. 500万円台	9. 800万円台	12. なし    13. 不明



問6 **すべての方にお聞きします。**

ご自身の結婚について理想とする年齢がありますか。理想とする年齢を過ぎた方や結婚されたことがある方は、理想があったかどうかをお聞かせください。(○印は1つだけ)

1. おおよその理想がある (理想があった) 理想の年齢 ( ) 歳	2. 特に理想はない (理想はなかった)	3. 結婚するつもりはない (結婚するつもりはなかった)
---------------------------------------	----------------------	------------------------------

問7 **すべての方にお聞きします。**

ご自身の結婚の見通し (結婚されたことがある方は実現状況) をご回答ください。(○印は1つだけ)

	未婚の方	結婚されたことがある方	
問9へ	1. ほぼ、理想の年齢で結婚できそう	1. ほぼ、理想どおりの年齢であった	問9へ
	2. 理想の年齢よりも早くなりそう	2. もっと遅く結婚したかった	
	3. 結婚年齢に理想はないが、結婚できると思う	3. もっと早く結婚したかった	問8へ
問8へ	4. 理想の年齢よりも遅くなりそう	4. 結婚できそうにないと思っていた	
	5. 結婚できそうにない	5. 結婚するつもりはなかった	
	6. 結婚するつもりはない		

問8 **次の方にお聞きします。**

・問7で、未婚の方のうち、「4.」～「6.」に○印を付けられた方

・問7で、結婚されたことがある方のうち、「3.」～「5.」に○印を付けられた方

「理想の結婚年齢よりも遅くなりそう」「もっと早く結婚したかった」「結婚できそうにない (と思っていた)」「結婚するつもりはない (なかった)」と思う理由をご回答ください。(○印はいくつでも)

1. 結婚したいと思う相手と出会えそうにないから	8. 出産や子育てに不安があるから
2. 異性とうまく付き合えないから	9. 経済環境・社会環境が不安定・不透明だから (コロナ禍の影響を除く)
3. 自分の仕事や生き方と結婚を両立できそうにないから	10. コロナ禍で生活に悪影響があったから コロナ禍で将来が不透明になったから
4. 自分の就業・雇用が不安定だから	11. その他 ( )
5. 所得に不安があるから	12. 希望が実現できない理由はない(希望どおりである)
6. 自分の健康面の不安や身体的な理由から	
7. 自分に自信が持てないから	

**3. 子どもを持つことについて**

問9 **すべての方にお聞きします。**

希望する子どもの数は何人ですか。(○印は1つだけ)

1. 一人 【問10・問11へ】	3. 三人 【問10へ】	5. 五人以上 【問10へ】
2. 二人 【問10へ】	4. 四人 【問10へ】	6. 子どもはほしくない 【問11へ】

問10 **問9で「1.」～「5.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

子どもが欲しいと思う (思った) 理由をご回答ください。(○印は3つまで)

1. 自然なことだから	6. 将来、社会の支えになるから
2. 子どもが好きだから	7. 夫婦関係を安定させるから
3. 周囲に認められるから	8. 好きな人の子どもを持ちたいから
4. 生活が楽しく心が豊かになるから	9. 周囲が望むから
5. 老後の支えになるから	10. その他 ( )

問 1 1 **問 9 で「1.」または「6.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

「希望する子どもの数は一人」「子どもはほしくない」という理由をご回答ください。(○印は3つまで)

1. 子どもを持つ積極的な意味が見出せないから	8. 現在の家族とのつながりが保ちにくくなるから
2. 行動や生き方の自由が失われるから	9. 妊娠・出産に対して自信がないから
3. 自分の時間が制約されるから	10. 子育てに自信がないから
4. 金銭的な裕福さが失われるから	11. あまり子どもが好きではないから
5. 住宅や周囲の住環境の選択の幅が小さくなるから	12. 結婚するつもりがないから
6. 職業を持たず、社会とのつながりが保ちにくくなるから	13. その他 ( )
7. 子どもを養う責任が増え、気楽さが失われるから	14. 特になし

問 1 2 **すべての方にお聞きします。**

希望とは別に、現実には持っていると思う子どもの数は何人ですか。(○印は1つだけ)

1. 一人	3. 三人	5. 五人以上
2. 二人	4. 四人	6. 子どもを持つ予定はない

問 1 3 **次の方にお聞きします。**

・問 9 で「1. 希望する子どもの数は一人」または「6. 子どもはほしくない」に○印を付けられた方

・問 1 2 で回答した「現実には持っていると思う子どもの数」が、問 9 の「希望する子どもの数」より少ない方

「希望する子どもの数は一人」「子どもはほしくない」という理由、または、「現実には持っていると思う子どもの数が希望する子どもの数より少ない」理由をご回答ください。(○印はいくつでも)

1. 結婚が遅くなりそうだから	11. 希望するこども園・保育所等に預けられそうにないから
2. 自分や配偶者の年齢が高いから	12. 子どもを持つことを重視していないから
3. 自分の仕事や生き方と結婚を両立できそうにないから	13. 自分に自信が持てないから
4. 自分や配偶者の就業・雇用が不安定だから	14. 配偶者が望まないから
5. 所得に不安があるから	15. 経済環境・社会環境が不安定・不透明だから (コロナ禍の影響を除く)
6. 自分や配偶者の健康面の不安や身体的な不安があるから	16. コロナ禍で生活に悪影響があったから コロナ禍で将来が不透明になったから
7. 住宅事情が厳しいから	17. その他 ( )
8. 家事や子育ての協力者がいないから	18. 希望が実現できない理由はない(希望どおりである)
9. 妊娠・出産・子育ては肉体的・精神的な負担が大きいため	
10. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから	

**4. あなたのたどるライフコース（一生の間にたどる道筋）について**

**問 1 5 まですべての方にお聞きします。**

問 1 4 あなたが希望するライフコースでは、どのようなことを重視されますか。次の①～⑯のそれぞれの項目について、選択肢からご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

項 目	選 択 肢					
	優先度は とても高 い	優先度は 高い	どちらか と言えば 優先度は 高い	どちらか と言えば 優先度は 低い	優先度は 低い	優先度は かなり低 い
①大学や大学院に進学し、高度な教育を受けること	1	2	3	4	5	6
②専門的知識や高度な技能を生かせる仕事	1	2	3	4	5	6
③経営者・起業家あるいは組織の中核での成功	1	2	3	4	5	6
④仕事での新しい挑戦、先端分野での活躍	1	2	3	4	5	6
⑤親が取り組んできたことを受け継ぐこと	1	2	3	4	5	6
⑥地域が培ってきた産業に就けること	1	2	3	4	5	6
⑦長く続けられる仕事を持つこと	1	2	3	4	5	6

【項目つづき】

項目	選択肢					
	優先度はとても高い	優先度は高い	どちらかと言えば優先度は高い	どちらかと言えば優先度は低い	優先度は低い	優先度はかなり低い
⑧背伸びしないで、自分に見合った仕事を持つこと	1	2	3	4	5	6
⑨多くの収入が得られること	1	2	3	4	5	6
⑩親や知人のいる生まれ育った地域で過ごすこと	1	2	3	4	5	6
⑪暮らしの穏やかさ、生活の落ち着き	1	2	3	4	5	6
⑫暮らしの面白さ、まちなのにぎやかさ	1	2	3	4	5	6

問15 竹原市であなたが希望するライフコースを実現できると考えられますか。(○印は1つだけ)

1. とてもそう思う	4. どちらかと言えばそう思わない
2. そう思う	5. そう思わない
3. どちらかと言えばそう思う	6. まったくそう思わない

5. 男女の出会いについて

問16 **現在独身の方にお聞きします。**

現在、交際している方はいますか。(○印は1つだけ)

問17へ	1. いる	2. 今はいない(過去はいた)	問18へ
		3. これまでも出会いの機会がなかった	

問17 **現在結婚されている方と、現在交際中の方(問16で「1.」に○印を付けられた方)にお聞きします。**

現在の配偶者とはどのように出会われましたか。現在交際中の方は、交際されている方との出会いについてご回答ください。(○印は1つだけ)

1. 学校で	8. 民間の対面の結婚相談サービスで
2. 職場や仕事の関係で(アルバイトを含む)	9. マッチングアプリなどオンラインによる民間の結婚相談サービスで
3. 幼なじみ・隣人関係	10. 公的な出会いづくりの場(市主催の婚活イベントなど)で
4. 学校以外のサークル活動、趣味や習い事で	11. まちなかや旅先で
5. 地域活動やコミュニティ活動で	12. 結婚相談サービス以外のSNS等、インターネットを通じて
6. 友人や兄弟姉妹を通じて	13. その他( )
7. 見合いで(親戚や上役などの紹介を含む)	

問18 **現在独身で交際中でない方にお聞きします。(問16で「2.」または「3.」に○印を付けられた方)**

あなたの周囲では、交際や結婚につながるような相手との出会いはありますか。次の①～⑧のそれぞれの項目について、選択肢からご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

項目	選択肢			
	あると思う	どちらかと言えばあると思う	どちらかと言えばないと思う	ないと思う
①学校や習い事の関係	1	2	3	4
②職場や仕事の関係	1	2	3	4
③地域活動やコミュニティ活動で	1	2	3	4
④文化、スポーツ等の余暇・レジャーで	1	2	3	4
⑤ボランティア活動で	1	2	3	4
⑥友人、兄弟姉妹、親戚を通じて	1	2	3	4
⑦SNS等、インターネットを通じて	1	2	3	4
⑧あなたの周囲全般	1	2	3	4

全て「1」または「2」に○印の方は、問20へ

1つでも「3」または「4」に○印があれば、問19へ

問19 **問18で「3」または「4」に1つでも○印を付けられた方にお聞きします。**

「ないと思う」理由をご回答ください。(○印はいくつでも)

1. 職場に若手の従業員が少ないから	8. 自分がスポーツ、文化、余暇等の活動を通じた交遊に積極的でないから
2. 職場の従業員の男女比に偏りがあるから	9. 自分が地域の交流活動に積極的でないから
3. 仕事の関係で外部との交流が少ないから	10. 友人が少ないから
4. 若者が出会い交流する地域活動が活発でないから	11. 自分がSNS等を通じた交流に積極的でないから
5. 地域の若年人口の男女比に偏りがあるから	12. その他 ( )
6. ボランティア活動の担い手が年配者に偏っているから	
7. 地域の若年人口が減少しているから	

問20 **すべての方にお聞きします。**

民間の結婚相談、マッチングアプリ、公的な出会いづくりといった機会を利用したいと思われますか。結婚されている方は結婚前を思い出してご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

項目	選択肢			
	利用したい	機会があれば利用しても良い	利用したくない	関心がない
①民間の結婚相談	1	2	3	4
②マッチングアプリ	1	2	3	4
③公的な出会いづくりの場(市主催の婚活イベントなど)	1	2	3	4

「③公的な出会いづくりの場」について、「1」または「2」に○印の方は、問21へ  
 「③公的な出会いづくりの場」について、「3」または「4」に○印の方は、問22へ

問21 **問20③で「1」または「2」に○印を付けられた方にお聞きします。**

市主催の婚活イベントなどの「公的な出会いづくりの場」を「利用したい」と思う理由をご回答ください。(○印はいくつでも)

1. 公的な機関が主催であれば安心感があるから	4. 参加費などが高額でないイメージがあるから
2. 利用について家族に相談しやすいから	5. その他 ( )
3. 地理的に遠くない人と知り合えるから	

**6. ワークライフバランスについて**

問22 **会社・団体等で働かれている方にお聞きします。**

あなたが働いている職場では、出産・子育てと仕事の両立に対して十分な配慮があると考えられますか。(○印はそれぞれ1つだけ)

項目	選択肢	
①結婚	1. 十分な配慮がある 2. どちらかと言えば配慮がある	3. どちらかと言えば配慮が不足している 4. まったく配慮がない
②妊娠・出産	1. 十分な配慮がある 2. どちらかと言えば配慮がある	3. どちらかと言えば配慮が不足している 4. まったく配慮がない
③子育て	1. 十分な配慮がある 2. どちらかと言えば配慮がある	3. どちらかと言えば配慮が不足している 4. まったく配慮がない

**7. 就業と地域選択について**

問23 **現在働いている方、これまで働いたことがある方、また、これから就業希望がある方にお聞きします。**

高校や大学等の卒業後、初めて就業する地域について、あなたは、「竹原市」と「竹原市外」で希望はありましたか。これから就業を希望される方は、現在の希望をご回答ください。(○印は1つだけ)

問24へ	1. 竹原市で働きたかった	4. 竹原市外で働きたかった	問26へ 問28へ
問26へ	2. どちらかと言えば、竹原市で働きたかった	5. 働きたい仕事であれば、働く地域にこだわりはなかった	
	3. どちらかと言えば、竹原市外で働きたかった		



問24 **問23で「1.」または「2.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

竹原市で働きたかった理由についてご回答ください。(○印は1つだけ)

- 問28へ {  
問25へ {
1. 竹原市に就職したい企業、働きたい仕事があったから
  2. 働きたい仕事があるなら、できれば竹原市がよいという気持ちがあったから
  3. 竹原市にいたいと思っていたから

問25 **問24で「2.」または「3.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

「竹原市がよい」「竹原市にいたい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。(○印はいくつでも)

1. 自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから
2. 親の近くにいたいと思ったから
3. 教師、友人や知人に勧められたから
4. 実家で暮らすことなどにより、経済的負担を小さくしたかったから
5. 就職したい企業を見つけるのは地元(竹原市)が有利になると思ったから
6. 仕事をうまく進めたり、起業・開業したりするには、地元(竹原市)が有利になると思ったから
7. 就職後、結婚、子育てでメリットがあると思ったから
8. その他( )

問26 **問23で「3.」または「4.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

竹原市外で働きたかった理由についてご回答ください。(○印は1つだけ)

- 問28へ {  
問27へ {
1. 竹原市外に就職したい企業、働きたい仕事があったから
  2. 竹原市外に暮らしたい地域があったから
  3. 働きたい仕事があるなら、できれば竹原市外に出たいという気持ちがあったから
  4. 竹原市外に出たいと思っていたから

問27 **問26で「2.」～「4.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

「竹原市外に出たい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。(○印はいくつでも)

1. 自分自身に、何かしら竹原市を離れたい気持ちがあったから
2. 親元を離れたいと思ったから
3. 教師、友人や知人に勧められたから
4. 就職したい企業を見つけるのは竹原市外が有利になると思ったから
5. 仕事をうまく進めたり、起業・開業したりするには、竹原市外が有利になると思ったから
6. 就職後、結婚、子育てでメリットがあると思ったから
7. その他( )

問28 **現在働いている方、これまで働いたことがある方にお聞きします。**

「竹原市」、「竹原市外」という見方をすると、就業した地域は希望どおりでしたか。(○印は1つだけ)

1. 希望どおり、竹原市で就業した
2. 希望どおり、竹原市外で就業した
3. 希望とは異なって、竹原市で就業した
4. 希望とは異なって、竹原市外で就業した
5. もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない

問29へ }

問29 **問28で「3.」または「4.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

希望どおりにならなかった理由をご回答ください。(○印はいくつでも)

1. 就職したい企業、働きたい仕事なかったから
2. 自分を採用してくれる企業がなかったから
3. 親の希望でやむを得なかったから
4. 経済的な事情から
5. その他( )

## 8. 結婚と地域選択について

問30 **現在結婚している方、結婚経験のある方、また、これから結婚希望がある方にお聞きします。**

結婚後に暮らし始める地域について、あなたは、「竹原市」と「竹原市外」で希望はありましたか。これから結婚を希望される方は、現在の希望をご回答ください。(○印は1つだけ)

- |      |  |                                       |      |
|------|--|---------------------------------------|------|
| 問31へ | 1. 結婚後も竹原市で暮らしたかった(結婚を機に竹原市に戻りたかった)          | 4. 結婚を機に竹原市外に出たかった                    | 問33へ |
|      | 2. どちらかと言えば、結婚後も竹原市で暮らしたかった(結婚を機に竹原市に戻りたかった) | 5. 竹原市を転出しており、結婚を機に竹原市に戻りたいとは思っていなかった |      |
| 問33へ | 3. どちらかと言えば、結婚を機に竹原市外に出たかった                  | 6. 結婚相手の希望に合わせるなど、結婚後に暮らす地域にこだわりはなかった | 問35へ |

問31 **問30で「1.」または「2.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

「結婚後も竹原市で暮らしたかった(結婚を機に竹原市に戻りたかった)」理由についてご回答ください。(○印は1つだけ)

- |      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 問35へ | 1. 竹原市に結婚する相手がいたから                    |
| 問32へ | 2. 結婚相手が見つかるなら、できれば竹原市がよいという気持ちがあったから |
|      | 3. 竹原市にいたいと思っていたから                    |

問32 **問31で「2.」または「3.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

「竹原市がよい」「竹原市にいたい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。(○印はいくつでも)

- |                                   |                              |
|-----------------------------------|------------------------------|
| 1. 自分自身に、何かしら竹原市にいたいという考えがあったから   | 5. 結婚後、就業や仕事を続ける上でメリットがあったから |
| 2. 親の近くにいたいと思ったから                 | 6. 結婚後、出産や子育てでメリットがあったから     |
| 3. 友人や知人に勧められたから                  | 7. その他( )                    |
| 4. 実家で暮らすことなどにより、経済的負担を小さくしたかったから |                              |

問33 **問30で「3.」～「5.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

結婚後に竹原市外で暮らしたかった(戻りたいと思わなかった)理由についてご回答ください。(○印は1つだけ)

- |      |   |
|------|---|
| 問35へ | 1. 結婚相手が暮らしている地域が竹原市外だったから              |
| 問34へ | 2. 竹原市外に暮らしたい地域があったから                   |
|      | 3. 結婚相手が見つかるなら、できれば竹原市外に出たいという気持ちがあったから |
|      | 4. 結婚を機に、竹原市外に出たいと思っていたから               |

問34 **問33で「2.」～「4.」に○印を付けられた方にお聞きします。**

「竹原市外に出たい」という気持ちがあったのは、どのような理由からでしょうか。当時を振り返って、いま思う理由でもかまいません。(○印はいくつでも)

- |                                |                              |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 自分自身に、何かしら竹原市を離れたい気持ちがあったから | 4. 結婚後、就業や仕事を続ける上でメリットがあったから |
| 2. 親元を離れたいと思ったから               | 5. 結婚後、結婚や子育てでメリットがあったから     |
| 3. 友人や知人に勧められたから               | 6. その他( )                    |

問35 **現在結婚されている方、結婚経験のある方にお聞きします。**

「竹原市」、「竹原市外」という見方をすると、結婚後に暮らし始めた地域は希望どおりでしたか。(○印は1つだけ)

- |                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 希望どおり、竹原市で暮らし始めた  | 3. 希望とは異なって、竹原市で暮らし始めた    |
| 2. 希望どおり、竹原市外で暮らし始めた | 4. 希望とは異なって、竹原市外で暮らし始めた   |
|                      | 5. もともと「竹原市」、「竹原市外」の希望はない |

問36 **現在結婚されている方、結婚経験のある方にお聞きします。**

結婚後に暮らし始めた地域について、ご回答ください。(市内の場合は、○印は1つだけ)

結婚後に暮らし始めた地域	市内	1. 竹原地域 (中央、本町、田ノ浦、港町、塩町、竹原町、下野町、小梨町) 2. 北部地域 (東野町、新庄町、西野町、仁賀町、田万里町) 3. 吉名地域      4. 大乘地域 (高崎町、福田町)      5. 忠海地域
	市外	(                      ) 都・道・府・県 (                      ) 市・区・町・村

**9. 結婚や子どもの成長に伴う住居地の選択について**

問37 **現在結婚されている方、結婚経験のある方、また、これから結婚希望がある方にお聞きします。**

結婚時の住居地を決めたとき、どのような地域特性を重視されましたか。次の①～⑳のそれぞれの項目について、選択肢からご回答ください。これから結婚を希望される方は、現在の希望をご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

項目	選択肢			
	重視した	いくらか重視した	あまり重視しなかった	重視しなかった
①賃貸住宅の条件 (家賃の手ごろさ)	1	2	3	4
②賃貸住宅の条件 (賃貸住宅の広さ)	1	2	3	4
③一戸建てなど持ち家の条件 (価格など入手しやすさ)	1	2	3	4
④一戸建てなど持ち家の条件 (持ち家の広さ)	1	2	3	4
⑤一戸建てなど持ち家の条件 (マンションなどの選択肢)	1	2	3	4
⑥通勤時間 (30分以内)	1	2	3	4
⑦通勤時間 (1時間以内)	1	2	3	4
⑧仕事の見つけやすさ	1	2	3	4
⑨買い物の利便性 (普段の買い物のしやすさ)	1	2	3	4
⑩買い物の利便性 (大型商業施設での買い物のしやすさ)	1	2	3	4
⑪飲食店の利便性	1	2	3	4
⑫娯楽施設の利便性 (映画館・スポーツ施設などの利用のしやすさ)	1	2	3	4
⑬交通利便性 (鉄道・バスなどの利用のしやすさ)	1	2	3	4
⑭子育て環境 (こども園・保育所などの利用のしやすさ)	1	2	3	4
⑮医療環境 (安心して出産・子育てができる)	1	2	3	4
⑯教育環境 (塾、習い事)	1	2	3	4
⑰教育環境 (小学校、中学校)	1	2	3	4
⑱教育環境 (高校)	1	2	3	4
⑲自然環境や公園の豊かさ (自然や公園などの外遊び環境)	1	2	3	4
⑳地域コミュニティとの関わりやすさ	1	2	3	4
㉑災害に対する不安の少なさ、治安の良さ等安心・安全面	1	2	3	4
㉒親との同居・近居	1	2	3	4

【現在結婚されている方・結婚経験のある方】  
1つでも「1」または「2」に○印があれば、問38へ

問38 **現在結婚されている方、結婚経験のある方で、問37で「1」または「2」に1つでも○印を付けられた方にお聞きします。**

問37で「1 (重視した)」または「2 (いくらか重視した)」に○印を付けた地域特性のうち、結婚時の住居地を選んだ一番の決め手はどれでしたか。(○印は1つだけ)

1. 賃貸住宅の条件 (家賃、広さなど)	9. 子育て環境 (こども園・保育所などの利用のしやすさ)
2. 一戸建てなど持ち家の条件 (価格、広さ、選択肢など)	10. 医療環境 (安心して出産・子育てができる)
3. 通勤時間 (職住の近接性)	11. 教育環境 (進学のための学校・塾など)
4. 仕事の見つけやすさ	12. 自然環境や公園の豊かさ (自然や公園などの外遊び環境)
5. 買い物の利便性	13. 地域コミュニティとの関わりやすさ
6. 飲食店の利便性	14. 災害に対する不安の少なさ、治安の良さ等安心・安全面
7. 娯楽施設の利便性 (映画館・スポーツ施設などの利用のしやすさ)	15. 親との同居・近居
8. 交通利便性 (鉄道・バスなどの利用のしやすさ)	

**問39 現在子育てをされている方にお聞きします。**

子どもの出生や成長に伴って、引っ越しをされたことがありますか。また、希望がありますか。(〇印は1つだけ)

1. 子どもの数が増えて、引っ越しをした(子どもの数が増えたら引っ越しをしたい) 2. 子どもの成長に伴って、引っ越しをした(子どもが成長したら引っ越しをしたい) 3. 「1.」または「2.」以外の子どもの理由により、引っ越しをした(引っ越しをしたい) 4. 子どもが理由で引っ越しをしたことはない(引っ越しをする考えはない)	} 実際引っ越しをされ方は、問40へ 希望のみの方は、問41へ } 問43へ
--	--

**問40 問39で「1.」～「3.」に〇印を付けられた方で、実際に引っ越しをされた方にお聞きします。**

子どもの出生や成長などに伴っての引っ越し後に暮らし始めた地域について、ご回答ください。

(市内の場合は、〇印は1つだけ)

子どもの出生や成長などに伴っての引っ越し後に暮らし始めた地域	市内	1. 竹原地域 (中央、本町、田ノ浦、港町、塩町、竹原町、下野町、小梨町) 2. 北部地域 (東野町、新庄町、西野町、仁賀町、田万里町) 3. 吉名地域      4. 大乘地域 (高崎町、福田町)      5. 忠海地域
	市外	(                      ) 都・道・府・県 (                      ) 市・区・町・村

**問41 問39で「1.」～「3.」に〇印を付けられた方にお聞きします。**

子どもの出生や成長などに伴っての引っ越しで住居地を決めたとき、どのような地域特性を重視されましたか。次の①～⑳のそれぞれの項目について、選択肢からご回答ください。これから引っ越しを希望される方は、現在の希望をご回答ください。(〇印はそれぞれ1つだけ)

項 目	選択肢			
	重視した	いくらか重視した	あまり重視しなかった	重視しなかった
①賃貸住宅の条件 (家賃の手ごろさ)	1	2	3	4
②賃貸住宅の条件 (賃貸住宅の広さ)	1	2	3	4
③一戸建てなど持ち家の条件 (価格など入手しやすさ)	1	2	3	4
④一戸建てなど持ち家の条件 (持ち家の広さ)	1	2	3	4
⑤一戸建てなど持ち家の条件 (マンションなどの選択肢)	1	2	3	4
⑥通勤時間 (30分以内)	1	2	3	4
⑦通勤時間 (1時間以内)	1	2	3	4
⑧仕事の見つけやすさ	1	2	3	4
⑨買い物の利便性 (普段の買い物のしやすさ)	1	2	3	4
⑩買い物の利便性 (大型商業施設での買い物のしやすさ)	1	2	3	4
⑪飲食店の利便性	1	2	3	4
⑫娯楽施設の利便性 (映画館・スポーツ施設などの利用のしやすさ)	1	2	3	4
⑬交通利便性 (鉄道・バスなどの利用のしやすさ)	1	2	3	4
⑭子育て環境 (こども園・保育所などの利用のしやすさ)	1	2	3	4
⑮医療環境 (安心して出産・子育てができる)	1	2	3	4
⑯教育環境 (塾、習い事)	1	2	3	4
⑰教育環境 (小学校、中学校)	1	2	3	4
⑱教育環境 (高校)	1	2	3	4
⑲自然環境や公園の豊かさ (自然や公園などの外遊び環境)	1	2	3	4
⑳地域コミュニティとの関わりやすさ	1	2	3	4
㉑災害に対する不安の少なさ、治安の良さ等安心・安全面	1	2	3	4
㉒親との同居・近居	1	2	3	4

1つでも「1」または「2」に〇印があれば、問42へ

問 4 2 **問 4 1 で「1」または「2」に1つでも○印を付けられた方にお聞きします。**

問 4 1 で「1（重視した）」または「2（いくらか重視した）」に○印を付けた地域特性のうち、子どもの出生や成長などに伴っての引っ越しで、住居地を選んだ一番の決め手はどれでしたか。

(○印は1つだけ)

1. 賃貸住宅の条件（家賃、広さなど）	9. 子育て環境（こども園・保育所などの利用のしやすさ）
2. 一戸建てなど持ち家の条件（価格、広さ、選択肢など）	10. 医療環境（安心して出産・子育てができる）
3. 通勤時間（職住の近接性）	11. 教育環境（進学のための学校・塾など）
4. 仕事の見つけやすさ	12. 自然環境や公園の豊かさ（自然や公園などの外遊び環境）
5. 買い物の利便性	13. 地域コミュニティとの関わりやすさ
6. 飲食店の利便性	14. 災害に対する不安の少なさ、治安の良さ等安心・安全面
7. 娯楽施設の利便性（映画館・スポーツ施設などの利用のしやすさ）	15. 親との同居・近居
8. 交通利便性（鉄道・バスなどの利用のしやすさ）	

**10. 結婚、子どもを持つこと、地元との関わりなどへの意見に対する考えについて**

問 4 3 **最後に、すべての方にお聞きします。**

次の意見について、どのように考えられているかご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

項目	とてもそう思う	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	まったくそう思わない
①結婚は、家族を持つことができるため重要である	1	2	3	4	5	6
②子どもがいたら生活が楽しく豊かになる	1	2	3	4	5	6
③地元の人々のつながりは、自分にはあたたかく、心地よい	1	2	3	4	5	6
④地元と関わる中で、自分がしたいことが見つかった	1	2	3	4	5	6
⑤地元で自分の力を引き出してくれる出会いがあった	1	2	3	4	5	6
⑥地元での生活のペースが自分のペースになっているところがある	1	2	3	4	5	6
⑦地元で暮らすことが「自分らしい」と思えるときがある	1	2	3	4	5	6
⑧自分自身に満足している	1	2	3	4	5	6
⑨自分は、うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	1	2	3	4	5	6
⑩今の生活は心身ともに良好だと思う	1	2	3	4	5	6

◆ **最後に、竹原市のまちづくりや少子化対策についてのご意見・ご提言がありましたら、ご自由にご記入ください。**

質問は以上です。ご協力誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、令和5年9月15日（金）までに、ポストに投函してください。

(切手は不要です。また、お名前・ご住所をご記入いただく必要はありません。)

